

データ公開用システム

テーブル一覧

No.	論理テーブル名	物理テーブル名	備考
1	核種マスタ	MELEMENT	
2	食品マスタ	MFOOD	
3	食品試料大分類マスタ	MFOOD_LARGE	
4	食品試料中分類マスタ	MFOOD_MIDDLE	
5	都道府県マスタ	MPREFECTURE	
6	試料マスタ	MSAMPLE	
7	試料テーブル系列マスタ	MSAMPLESERIES	
8	試料種別マスタ	MSAMPLETYPE	
9	調査名マスタ	MSURVEY	
10	単位マスタ	MUNIT	
11	連続系データ格納テーブル	OCMEASURE	

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	核種マスタ		
物理テーブル名	MELEMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (16)			
3	食品フラグ	FOOD_FLG	char (1)			食品と放射能HPIに表示する核種かどうかの判断フラグ 1: 表示
4	KNAME	KNAME	varchar (20)			
5	FOOD_DAILY_INTAKE_FLG	FOOD_DAILY_INTAKE_FLG	char (1)			
6	英語名	ENAME	varchar (25)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MELEMENT_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MELEMENT_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	食品マスタ		
物理テーブル名	MFOOD		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (7)	Yes (PK)		
2	食品試料大分類コード	FOODCD_L	char (3)			
3	食品試料中分類コード	FOODCD_M	char (3)			
4	名称	NAME	varchar (40)			
5	略称	SNAME	varchar (14)			
6	登録日	INS_DATE	datetime2			
7	更新日	UPD_DATE	datetime2			
8	英語名	ENAME	varchar (70)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	食品試料大分類マスタ		
物理テーブル名	MFOOD_LARGE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (40)			
3	デフォルト核種コー	DEF_ELEMENTCD	char (3)			
4	英語名	ENAME	varchar (70)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_LARGE PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_LARGE PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	食品試料中分類マスタ		
物理テーブル名	MFOOD_MIDDLE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	食品試料大分類 コー	FOODCD_L	char (3)	Yes (PK)		
3	名称	NAME	varchar (40)			
4	英語名	ENAME	varchar (70)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_MIDDL E_PK	CODE, FOODCD_L	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_MIDDL E_PK	PRIMARY KEY	CODE, FOODCD_L

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	都道府県マスタ		
物理テーブル名	MPREFECTURE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (8)			
3	名称 (軍艦用)	WSNAME	varchar (20)			KindCode3=1の場合のみ値を設定
4	地域コード	STATECODE	numeric (2, 0)			1~7の地域を保持
5	地域名称	STATENAME	varchar (20)			1: 北海道・東北 2: 関東 3: 中部 4: 近畿 5: 中国 6: 四国 7: 九州・沖縄
6	対象調査種別コード2	KINDCODE2	char (1)			対象調査種別が「原子力施設周辺」の場合に表示する都道府県に“1”を設定
7	対象調査種別コード3	KINDCODE3	char (1)			対象調査種別が「原子力軍艦」の場合に表示する都道府県に“1”を設定
8	食品用地域コード	FOOD_STATECODE	numeric (2, 0)			食品と放射能HPで使用する1~9の地域を保持
9	食品用地域名称	FOOD_STATENAME	varchar (20)			食品と放射能HPで使用する 1: 北海道 2: 東北 3: 関東 4: 北陸・甲信越 5: 東海 6: 近畿 7: 中国 8: 四国 9: 九州・沖縄
10	英語名	ENAME	varchar (10)			サイト英語化時に追加
11	地域名称 (英語)	ESTATENAME	varchar (40)			サイト英語化時に追加
12	食品用地域名称 (英語)	EFOOD_STATENAME	varchar (40)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MPREFECTURE_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MPREFECTURE_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	試料マスタ		
物理テーブル名	MSAMPLE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料種別コード	SAMPLETYPECODE	char (2)	Yes (PK)		
2	コード	CODE	char (4)	Yes (PK)		
3	名称	NAME	varchar (26)			
4	DISPNO	DISPNO	numeric (2, 0)			
5	FIGUREFG	FIGUREFG	char (1)			
6	英語名	ENAME	varchar (50)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MSAMPLE_PK	SAMPLETYPECODE, CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MSAMPLE_PK	PRIMARY KEY	SAMPLETYPECODE, CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	試料テーブル系列マスタ		
物理テーブル名	MSAMPLESERIES		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	テーブル系列	TABLESERIES	varchar (1)	Yes		S:環境試料系, C:連続測定系, N:非連続測定系

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSAMPLESERIES	SAMPLETYPECD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSAMPLESERIES	PRIMARY KEY	SAMPLETYPECD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	試料種別マスタ		
物理テーブル名	MSAMPLETYPE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (26)			
3	表示順序	SORTNO	numeric (3, 0)			
4	対象調査フラグ	TARGETSURVEYFG	char (1)			
5	FIGUREFG	FIGUREFG	char (1)			
6	英語名	ENAME	varchar (60)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MSAMPLETYPE_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MSAMPLETYPE_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	調査名マスタ		
物理テーブル名	MSURVEY		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (40)			
3	略称	SNAME	varchar (20)			
4	対象調査種別コード	KINDCODE	char (1)			1 : 一般環境 2 : 原子力施設周辺 3 : 原子力軍艦
5	PREFNOTFG	PREFNOTFG	char (1)			
6	作表作図表示フラグ	FIGUREFG	char (1)			1 : 条件画面に表示する
7	英語名	ENAME	varchar (120)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MSURVEY_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MSURVEY_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	単位マスタ		
物理テーブル名	MUNIT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料種別コード	SAMPLETYPECODE	char (2)	Yes (PK)		
2	コード	CODE	char (8)	Yes (PK)		
3	名称	NAME	varchar (15)			
4	SORTNO	SORTNO	numeric (3, 0)			
5	英語名	ENAME	varchar (20)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MUNIT_PK	SAMPLETYPECODE, CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MUNIT_PK	PRIMARY KEY	SAMPLETYPECODE, CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索条件表示用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MAIN		
スキーマ名	DB_MAIN		
論理テーブル名	連続系データ格納テーブル		
物理テーブル名	OCMEASURE		
備考	本テーブルは現在未使用。		

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	測定番号	MEASURENO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
2	集計番号	STATISTICSNO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
3	県コード	PREFCD	char(2)			
4	県名称	PREFNAME	varchar(8)			
5	報告機関名	REPLABNAME	varchar(60)			
6	測定機関名	MEASURELABNAME	varchar(60)			
7	調査名コード	SURVEYCD	char(2)			
8	調査名	SURVEYNAME	varchar(40)			
9	記載試料名	LCSAMPLENAME	varchar(60)			
10	試料種別名	SAMPLETYPECD	char(2)			
11	試料種別名	SAMPLETYPENAME	varchar(26)			
12	試料コード	SAMPLECD	char(4)			
13	試料名	SAMPLENAME	varchar(26)			
14	測定年	MEASUREPYEAR	numeric(9, 0)			
15	測定年度	MEASUREYEAR	numeric(9, 0)			
16	閲覧用記載測定地点名	LCMEASUREREADPOINTNAME	varchar(60)			
17	測定点コード	MEASUREPOINTCD	char(9)			
18	緯度	SLATITUDE	char(9)			
19	経度	SLONGITUDE	char(10)			
20	設置場所	PLACE	varchar(20)			
21	高さ	HEIGHT	float(53)			モニタリングポストの場合のみ使用
22	高さ単位	HEIGHTUT	varchar(15)			モニタリングポストの場合のみ使用
23	計測器名	INSTRUMENTNAME	varchar(50)			
24	宇宙線含除	COSMICRAYFG	char(1)			モニタリングポストの場合のみ使用
25	集計単位名称	SUMUNITNAME	varchar(15)			
26	分析項目コード	ELEMENTCD	char(3)			
27	分析項目名	ELEMENTNAME	varchar(16)			
28	欠測フラグ	MEASUREFG	char(1)			大気浮遊じんの場合のみ使用
29	測定四半期	MEASUREQUARTER	numeric(9, 0)			
30	測定月	MEASUREMONTH	numeric(9, 0)			
31	測定開始日	MEASURESDATE	char(10)			
32	測定開始時刻	MEASURESTIME	char(8)			
33	測定終了日	MEASUREEDATE	char(10)			
34	測定終了時刻	MEASUREETIME	char(8)			大気浮遊じんの場合のみ使用
35	測定期間	MEASURELENGTH	float(53)			
36	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	varchar(15)			
37	入力値最大値	INPUTACTIVITYMAX	float(53)			
38	入力値最小値	INPUTACTIVITYMIN	float(53)			
39	入力値平均値	INPUTACTIVITYAVG	float(53)			
40	入力値単位	INPUTACTIVITYUT	varchar(15)			
41	報告値最大値	REPACTIVITYMAX	float(53)			
42	報告値最小値	REPACTIVITYMIN	float(53)			
43	報告値平均値	REPACTIVITYAVG	float(53)			
44	報告値単位コード	REPACTIVITYUTCD	char(8)			
45	報告値単位	REPACTIVITYUT	varchar(15)			
46	報告値最大値文字	REPACTIVITYMAXTEX	varchar(30)			
47	報告値最小値文字	REPACTIVITYMINTEX	varchar(30)			
48	報告値平均値文字	REPACTIVITYAVGTEX	varchar(30)			
49	報告値単位文字列	REPACTIVITYUTTEXT	char(16)			
50	報告書番号	REPORTCD	varchar(6)			
51	報告書名	REPORTNAME	varchar(200)			
52	ページ情報	PAGEINFO	numeric(9, 0)			
53	備考	REMARK	varchar(255)			
54	登録日	INS_DATE	datetime2			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	OCMEASURE_PK	MEASURENO, STATISTICSNO	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	OCMEASURE_PK	PRIMARY KEY	MEASURENO, STATISTICSNO

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル一覧

No.	論理テーブル名	物理テーブル名	備考
1	福島事故関連モニタリングデータ格納	FJKKDATA	
2	核種マスタ	MELEMENT	
3	都道府県マスタ	MPREFECTURE	
4	試料種別マスタ	MSAMPLETYPE	
5	調査名マスタ	MSURVEY	

テーブル情報

論理DB名	福島事故関連DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MONI		
スキーマ名	DB_MONI		
論理テーブル名	福島事故関連モニタリングデータ格納データ		
物理テーブル名	FJKKDATA		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	調査名コード	SURVEYCD	char (2)			
2	調査実施機関名	SURVLABNAME	varchar (60)			
3	試料種別コード	SAMPLETYPECD	char (2)			
4	試料名	SAMPLENAME	varchar (26)			
5	都道府県コード	PREFCODE	char (2)	Yes		
6	試料採取開始日 (表示用)	SMPLSTDATEDISP	varchar (20)			
7	試料採取開始年度	SMPLSTYEARED	numeric (4, 0)			
8	試料採取開始年	SMPLSTYYYY	numeric (4, 0)			
9	試料採取開始月	SMPLSTMM	numeric (2, 0)			
10	試料採取開始日	SMPLSTDD	numeric (2, 0)			
11	試料採取開始時	SMPLSTHH	numeric (2, 0)			
12	試料採取開始分	SMPLSTMI	numeric (2, 0)			
13	試料採取終了日 (表示用)	SMPLEDDATEDISP	varchar (20)			
14	試料採取終了年度	SMPLEDEYEAED	numeric (4, 0)			
15	試料採取終了年	SMPLEDEYYYY	numeric (4, 0)			
16	試料採取終了月	SMPLEDEMM	numeric (2, 0)			
17	試料採取終了日	SMPLEDEDD	numeric (2, 0)			
18	試料採取終了時	SMPLEDEHH	numeric (2, 0)			
19	試料採取終了分	SMPLEDEMI	numeric (2, 0)			
20	試料採取地点	SAMPLEPOINTCD	varchar (60)			
21	緯度	LATITUDEI	varchar (20)			
22	経度	LONGITUDEK	varchar (20)			
23	試料採取機関名	SAMPLABNAME	varchar (60)			
24	測定方法	MMETHOD	varchar (200)			
25	測定機関名	MEASURELABNAME	varchar (60)			
26	核種コード	ELEMENTCD	char (3)			
27	報告値	REPACTIVITY	float (53)			
28	報告値誤差	REPACTIVITYERR	float (53)			
29	報告値単位	REPACTIVITYUT	varchar (15)			
30	検出下限値	DETECTLOWLV	varchar (50)			
31	NDフラグ	NDFLG	char (1)			0 : NOT ND (報告値を表示) 1 : ND (「不検出」と表示) 欠測フラグが「1」の場合はnull
32	欠測フラグ	KSFLG	char (1)			NULL : 欠測でない 1 : 欠測 (「欠測」と表示) NDフラグが「0」、「1」の場合はnull
33	備考 1	NOTE1BK	varchar (500)			
34	備考 2	NOTE2BK	varchar (500)			
35	備考 3	NOTE3BK	varchar (500)			
36	備考 4	NOTE4BK	varchar (500)			
37	備考 5	NOTE5BK	varchar (500)			
38	削除フラグ	DELFG	char (1)	Yes		0 : 管理対象 1 : 管理対象外
39	登録者	INS_NAME	varchar (20)			
40	登録日	INS_DATE	datetime2			
41	更新者	UPD_NAME	varchar (20)			
42	更新日	UPD_DATE	datetime2			
43	ID	ROWID	uniqueidentifier	Yes	newid()	
44	調査実施機関名 (英語)	ESURVLABNAME	varchar (100)			
45	試料名 (英語)	ESAMPLENAME	varchar (50)			
46	試料採取地点 (英語)	ESAMPLEPOINTCD	varchar (100)			
47	報告値単位 (英語)	EREPACTIVITYUT	varchar (20)			
48	備考 1 (英語)	ENOTE1BK	varchar (500)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	ROWID\$INDEX	ROWID		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
-----	-----	----	------

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	備考
1	InsteadOfInsertOn\$F JKKDATA	Insert	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため 無効化中
2	InsteadOfUpdateOn\$F JKKDATA	Update	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため 無効化中

テーブル情報

論理DB名	福島事故関連DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MONI		
スキーマ名	DB_MONI		
論理テーブル名	核種マスタ		
物理テーブル名	MELEMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	核種コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	核種名称	NAME	varchar (16)			
3	表示順	SORTNO	numeric (3, 0)			
4	削除フラグ	DELFG	char (1)			0 : 管理対象 1 : 管理対象外
5	登録者	INS_NAME	varchar (20)			
6	登録日	INS_DATE	datetime2			
7	更新者	UPD_NAME	varchar (20)			
8	更新日	UPD_DATE	datetime2			
9	ID	ROWID	uniqueidentifier	Yes	newid()	
10	英語名	ENAME	varchar (25)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MELEMENT_PK	CODE	Yes	Yes	
2	ROWID\$INDEX	ROWID		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MELEMENT_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	備考
1	InsteadOfInsertOn\$MELEMENT	Insert	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中
2	InsteadOfUpdateOn\$MELEMENT	Update	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中

テーブル情報

論理DB名	福島事関連DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MONI		
スキーマ名	DB_MONI		
論理テーブル名	都道府県マスタ		
物理テーブル名	MPREFECTURE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	都道府県コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	都道府県名称	NAME	varchar (8)			
3	地域コード	STATECODE	numeric (2, 0)			
4	地域名称	STATENAME	varchar (20)			
5	削除フラグ	DELFG	char (1)			0 : 管理対象 1 : 管理対象外
6	登録者	INS_NAME	varchar (20)			
7	登録日	INS_DATE	datetime2			
8	更新者	UPD_NAME	varchar (20)			
9	更新日	UPD_DATE	datetime2			
10	ID	ROWID	unique identifier	Yes	newid()	
11	都道府県名称(英語)	ENAME	varchar (10)			
12	地域名称(英語)	ESTATENAME	varchar (40)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MPREFECTURE_PK	CODE	Yes	Yes	
2	ROWID\$INDEX	ROWID		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MPREFECTURE_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報(PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	備考
1	InsteadOfInsertOn\$M PREFECTURE	Insert	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため 無効化中
2	InsteadOfUpdateOn\$M PREFECTURE	Update	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため 無効化中

テーブル情報

論理DB名	福島事故関連DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MONI		
スキーマ名	DB_MONI		
論理テーブル名	試料種別マスタ		
物理テーブル名	MSAMPLETYPE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料種別名コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	試料種別名称	NAME	varchar (26)			
3	表示順序	SORTNO	numeric (3, 0)			
4	調査対象フラグ	TARGETSURVEYFG	char (1)			0: 対象外 (非表示) 1~3: 既存機能で利用 4: 福島事故関連
5	削除フラグ	DELFG	char (1)			0: 管理対象 1: 管理対象外
6	登録者	INS_NAME	nvarchar (20)			
7	登録日	INS_DATE	datetime2			
8	更新者	UPD_NAME	nvarchar (20)			
9	更新日	UPD_DATE	datetime2			
10	ID	ROWID	uniqueidentifier	Yes	newid()	
11	英語名	ENAME	varchar (30)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MSAMPLETYPE_PK	CODE	Yes	Yes	
2	ROWID\$INDEX	ROWID		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MSAMPLETYPE_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	備考
1	InsteadOfInsertOn\$MSAMPLETYPE	Insert	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中
2	InsteadOfUpdateOn\$MSAMPLETYPE	Update	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中

テーブル情報

論理DB名	福島事故関連DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	DB_MONI		
スキーマ名	DB_MONI		
論理テーブル名	調査名マスタ		
物理テーブル名	MSURVEY		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	調査名コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	調査名名称	NAME	varchar (80)			
3	調査名略称	SNAME	varchar (40)			
4	調査月数	SPERIOD	numeric (5, 0)			0 : 毎日 1 : 毎月 2 : 2ヶ月間 3 : 3ヶ月間 ...
5	削除フラグ	DELFG	char (1)			0 : 管理対象 1 : 管理対象外
6	登録者	INS_NAME	varchar (20)			
7	登録日	INS_DATE	datetime2			
8	更新者	UPD_NAME	varchar (20)			
9	更新日	UPD_DATE	datetime2			
10	ID	ROWID	unique identifier	Yes	newid ()	
11	英語名	ENAME	varchar (120)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MSURVEY_PK	CODE	Yes	Yes	
2	ROWID\$INDEX	ROWID		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MSURVEY_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	備考
1	InsteadOfInsertOn\$MSURVEY	Insert	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中
2	InsteadOfUpdateOn\$MSURVEY	Update	Instead of	英語化によるテーブル内容変更のため無効化中

テーブル一覧

No.	論理テーブル名	物理テーブル名	備考
1	線量係数マスタ	DB_MAIN_MDOSE_COEFFICIENT	
2	核種マスタ	DB_MAIN_MELEMENT	サイト英語化時にカラム追加
3	食品マスタ	DB_MAIN_MFOOD	サイト英語化時にカラム追加
4	食品コード変換マスタ	DB_MAIN_MFOOD_CONVERT	
5	食品単位変換マスタ	DB_MAIN_MFOOD_CONVERT_UNIT	
6	食品群小分類マスタ	DB_MAIN_MFOOD_INTAKE	
7	食品試料大分類マスタ	DB_MAIN_MFOOD_LARGE	
8	食品試料中分類マスタ	DB_MAIN_MFOOD_MIDDLE	
9	食品群別食品コードマスタ	DB_MAIN_MFOODGRP	
10	都道府県マスタ	DB_MAIN_MPREFECTURE	サイト英語化時にカラム追加
11	入港情報	IMPORT	サイト英語化時にカラム追加
12	M公開用地点名変換表	MCHANGEPOINT	サイト英語化時にカラム追加
13	M化学分離法	MCHEMSEPAR	
14	M核種	MELEMENT	
15	M食品	MFOOD	
16	M計測器	MINSTRUMENT	
17	M機関	MLABORATORY	
18	M生物	MLIFE	
19	M地点	MPOINT	
20	M都道府県	MPREFECTURE	
21	M前処理法	MPRETREATMENT	
22	M試料	MSAMPLE	
23	M試料テーブル系列	MSAMPLESERIES	
24	M試料種別	MSAMPLETYPE	
25	M採取法	MSAMPLING	
26	M部位	MSECTION	
27	M調査	MSURVEY	
28	M単位	MUNIT	
29	M軍艦	MWARSHIP	
30	M軍艦地点	MWSPPOINT	
31	報告書	REPORT	モニタリングポストデータ保存のため オリジナルのDBからの変更あり
32	分析	TANALYSIS	
33	連続測定	TCMEASURE	モニタリングポストデータ保存のため オリジナルのDBからの変更あり
34	非連続測定	TNMEASURE	
35	環境試料	TSAMPLE	
36	モニタリングポスト測定地点	T_MonitoringPost_Point	

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	線量係数マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MDOSE_COEFFICIENT		
備考 実効線量の計算に使用する			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	核種コード	ELEMENTCD	char (3)	Yes (PK)		
2	サブコード	SUBCD	char (3)	Yes (PK)		
3	核種名	NAME	varchar (16)			
4	線量係数	DOSE_COEFFICIENT	float (53)			単位 : mSv/Bq
5	自然核種フラグ	NATURALFG	char (1)			1 : 自然核種 0 : 人工核種
6	計算フラグ	CALCFG	char (1)			1 : 実効線量係数計算対象 0 : 計算対象外
7	備考	REMARK	varchar (240)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MDOSE_COEFFICIENT_PK	ELEMENTCD, SUBCD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MDOSE_COEFFICIENT_PK	PRIMARY KEY	ELEMENTCD, SUBCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	核種マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MELEMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (16)			
3	食品フラグ	FOOD_FLG	char (1)			
4	カナ名	KNAME	varchar (20)			
5	FOOD_DAILY_INTAKE_FLG	FOOD_DAILY_INTAKE_FLG	char (1)			
6	英語名	ENAME	varchar (25)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	MELEMENT_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	MELEMENT_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (7)	Yes (PK)		
2	食品試料大分類コード	FOODCD_L	char (3)			
3	食品試料中分類コード	FOODCD_M	char (3)			
4	名称	NAME	varchar (40)			
5	略称	SNAME	varchar (14)			
6	登録日	INS_DATE	datetime2			
7	更新日	UPD_DATE	datetime2			
8	英語名	ENAME	varchar (25)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品コード変換マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD_CONVERT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	変換前コード	PRECODE	char (7)	Yes (PK)		
2	変換後コード	NEWCODE	char (7)	Yes		
3	登録日	INS_DATE	datetime2			
4	更新日	UPD_DATE	datetime2			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_CONVE RT_PK	PRECODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_CONVE RT_PK	PRIMARY KEY	PRECODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品単位変換マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD_CONVERT_UNIT		
備考			

コラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	変換前単位コード	PRECODE	char (8)	Yes (PK)		単位変換前の単位コード
2	変換前単位名称	PRENAME	varchar (15)			
3	変換後単位コード	NEWCODE	char (8)	Yes		単位変換を行う単位コード
4	変換後単位名称	NEWNAME	varchar (15)			
5	換算係数率	CONVERT_RATE	numeric (10, 5)			放射能濃度を変換する際に、乗算する係数率
6	登録日	INS_DATE	datetime2			
7	更新日	UPD_DATE	datetime2			

インデックス情報

No.	インデックス名	コラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_CONVE RT_UNIT_PK	PRECODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_CONVE RT_UNIT_PK	PRIMARY KEY	PRECODE

外部キー情報

No.	外部キー名	コラムリスト	参照先テーブル名	参照先コラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	コラムリスト	参照元テーブル名	参照元コラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品群小分類マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD_INTAKE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	食品群コード	FOODGRPCD	char (3)	Yes (PK)		
2	食品群大分類コード	FOODGRPCD L	char (3)			
3	食品群中分類コード	FOODGRPCD M	char (3)			
4	名称	NAME	varchar (40)			
5	略称	SNAME	varchar (40)			
6	摂取量	FOOD_INTAKE	float (53)			
7	預託実効線量	COMMITTED_EFFECTIVE DOSE	float (53)			
8	対象食品数	FOODCNT	float (53)			
9	登録日	INS_DATE	datetime2			
10	更新日	UPD_DATE	datetime2			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_INTAKE PK	FOODGRPCD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_INTAKE PK	PRIMARY KEY	FOODGRPCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品試料大分類マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD_LARGE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (40)			
3	デフォルト核種コード	DEF_ELEMENTCD	char (3)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_LARGE_PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_LARGE_PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品試料中分類マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOOD_MIDDLE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (3)	Yes (PK)		
2	食品試料大分類コード	FOODCD_L	char (3)	Yes (PK)		
3	名称	NAME	varchar (40)			

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOOD_MIDDLE PK	CODE, FOODCD_L	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOOD_MIDDLE PK	PRIMARY KEY	CODE, FOODCD_L

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	食品群別食品コードマスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MFOODGRP		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	食品コード	FOODCD	char (7)	Yes (PK)		食品マスタと同じ
2	食品名称	FOODNAME	varchar (40)			食品マスタと同じ
3	食品群コード	FOODGRPCD	char (3)			食品群別摂取量マスタ
4	食品カテゴリコード	FOODCATCD	char (3)			食品カテゴリ別摂取量マスタ

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MFOODGRP_PK	FOODCD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MFOODGRP_PK	PRIMARY KEY	FOODCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	都道府県マスタ		
物理テーブル名	DB_MAIN_MPREFECTURE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	コード	CODE	char (2)	Yes (PK)		
2	名称	NAME	varchar (8)			
3	名称 (軍艦用)	WSNAME	varchar (20)			
4	地域コード	STATECODE	numeric (2, 0)			
5	地域名称	STATENAME	varchar (20)			
6	対象調査種別コード2	KINDCODE2	char (1)			
7	対象調査種別コード3	KINDCODE3	char (1)			
8	食品用地域コード	FOOD_STATECODE	numeric (2, 0)			
9	食品用地域名称	FOOD_STATENAME	varchar (20)			
10	英語名	ENAME	varchar (10)			サイト英語化時に追加
11	食品用地域名称 (英語)	EFOOD_STATENAME	varchar (40)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	DB_MAIN_MPREFECTURE PK	CODE	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	DB_MAIN_MPREFECTURE PK	PRIMARY KEY	CODE

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	入港情報		
物理テーブル名	INPORT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	報告書番号	REPORTCD	varchar (6)	Yes (PK)		
2	入港名	INPORTNAME	varchar (50)	Yes		
3	軍艦コード	WSCD	varchar (4)	Yes		
4	入港日	ENTERDATE	varchar (10)	Yes		
5	出港日	EXITDATE	varchar (10)	Yes		
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	
10	英語名	ENAME	varchar (100)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_INPORT	REPORTCD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_INPORT	PRIMARY KEY	REPORTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M公開用地点名変換表		
物理テーブル名	MCHANGEPOINT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	地点コード	POINTCD	varchar (9)	Yes (PK)		
2	変換地点名	CHANGEPOINTNAME	varchar (30)	Yes		
3	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
4	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
5	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
6	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	
7	英語名	ENAME	varchar (100)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MCHANGEPOINT	POINTCD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MCHANGEPOINT	PRIMARY KEY	POINTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M化学分離法		
物理テーブル名	MCHEMSEPAR		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	化学分離法名	CHEMSEPARNAME	varchar (40)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (50)			
4	英語名	ENAME	varchar (80)			
5	略名	SNAME	varchar (30)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MCHEMSEPAR	CHEMSEPARCD	Yes	Yes	
2	MCHEMSEPAR_NK	CHEMSEPARNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MCHEMSEPAR	PRIMARY KEY	CHEMSEPARCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M核種		
物理テーブル名	MELEMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	核種コード	ELEMENTCD	varchar (3)	Yes (PK)		
2	核種名	ELEMENTNAME	varchar (16)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (20)			
4	英語名	ENAME	varchar (25)			
5	略名	SNAME	varchar (16)			
6	元素記号	ELEMENTSYMBOL	varchar (2)			
7	元素番号	ATOMICNUMBER	numeric (10, 0)			
8	質量番号	MASSNUMBER	numeric (10, 0)			
9	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
10	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
11	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
12	ROW VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MELEMENT	ELEMENTCD	Yes	Yes	
2	MELEMENT_NK	ELEMENTNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MELEMENT	PRIMARY KEY	ELEMENTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M食品		
物理テーブル名	MFOOD		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	食品コード	FOODCD	varchar (7)	Yes (PK)		
2	食品名	FOODNAME	varchar (40)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (30)			
4	英語名	ENAME	varchar (70)			
5	略名	SNAME	varchar (30)			
6	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
9	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MFOOD	FOODCD	Yes	Yes	
2	MFOOD_NK	FOODNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MFOOD	PRIMARY KEY	FOODCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M計測器		
物理テーブル名	MINSTRUMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	計測器コード	INSTRUMENTCD	varchar (3)	Yes (PK)		
2	計測器名	INSTRUMENTNAME	varchar (50)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (50)			
4	英語名	ENAME	varchar (80)			
5	略名	SNAME	varchar (30)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MINSTRUMENT	INSTRUMENTCD	Yes	Yes	
2	MINSTRUMENT_NK	INSTRUMENTNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MINSTRUMENT	PRIMARY KEY	INSTRUMENTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M機関		
物理テーブル名	MLABORATORY		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	機関コード	LABCD	varchar (4)	Yes (PK)		
2	機関名	LABNAME	varchar (60)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (50)			
4	英語名	ENAME	varchar (100)			
5	略名	SNAME	varchar (30)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MLABORATORY	LABCD	Yes	Yes	
2	MLABORATORY_NK	LABNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MLABORATORY	PRIMARY KEY	LABCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M生物		
物理テーブル名	MLIFE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	生物コード	LIFECD	varchar (12)	Yes (PK)		
2	生物名	LIFENAME	varchar (50)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (25)			
4	英語名	ENAME	varchar (50)			
5	略名	SNAME	varchar (20)			
6	学術名	GNAME	varchar (60)			
7	出典	BOOK	varchar (50)			
8	俗名	ZNAME	varchar (50)			
9	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
10	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
11	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
12	ROW VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MLIFE	LIFECD	Yes	Yes	
2	MLIFE_NK	LIFENAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MLIFE	PRIMARY KEY	LIFECD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M地点		
物理テーブル名	MPOINT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	地点コード	POINTCD	varchar (9)	Yes (PK)		
2	地点名	POINTNAME	varchar (50)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (60)			
4	英語名	ENAME	varchar (100)			
5	略名	SNAME	varchar (40)			
6	都道府県コード	PREFCD	varchar (2)	Yes		
7	ROW作成日時	ROW CRE_DT	datetime2			
8	ROW更新日時	ROW UPD_DT	datetime2			
9	ROW更新ユーザID	ROW UPD_USER_ID	varchar (50)			
10	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MPOINT	POINTCD	Yes	Yes	
2	MPOINT_IX1	PREFCD, POINTCD			
3	MPOINT_NK	POINTNAME			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MPOINT	PRIMARY KEY	POINTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M都道府県		
物理テーブル名	MPREFECTURE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	都道府県コード	PREFCD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	都道府県名	PREFNAME	varchar (8)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (10)			
4	英語名	ENAME	varchar (10)			
5	略名	SNAME	varchar (8)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MPREFECTURE	PREFCD	Yes	Yes	
2	MPREFECTURE_NK	PREFNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MPREFECTURE	PRIMARY KEY	PREFCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M前処理法		
物理テーブル名	MPRETREATMENT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	前処理法コード	PRETREATCD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	前処理法名	PRETREATNAME	varchar (20)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (20)			
4	英語名	ENAME	varchar (40)			
5	略名	SNAME	varchar (16)			
6	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
9	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MPRETREATMENT	PRETREATCD	Yes	Yes	
2	MPRETREATMENT_NK	PRETREATNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MPRETREATMENT	PRIMARY KEY	PRETREATCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M試料		
物理テーブル名	MSAMPLE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料コード	SAMPLECD	varchar (4)	Yes (PK)		
2	試料名	SAMPLENAME	varchar (26)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (20)			
4	英語名	ENAME	varchar (50)			
5	略名	SNAME	varchar (20)			
6	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar (2)	Yes		
7	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
8	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
9	ROW更新ユーザID	ROW UPD_USER_ID	varchar (50)			
10	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSAMPLE	SAMPLECD	Yes	Yes	
2	MSAMPLE_NK	SAMPLENAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSAMPLE	PRIMARY KEY	SAMPLECD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M試料テーブル系列		
物理テーブル名	MSAMPLESERIES		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	テーブル系列	TABLESERIES	varchar (1)	Yes (PK)		
2	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar (2)	Yes (PK)		
3	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
4	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
5	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
6	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSAMPLESERIES	TABLESERIES, SAMPLETYPECD	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSAMPLESERIES	PRIMARY KEY	TABLESERIES, SAMPLETYPECD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M試料種別		
物理テーブル名	MSAMPLETYPE		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	試料種別名	SAMPLETYPENAME	varchar (26)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (20)			
4	英語名	ENAME	varchar (30)			
5	略名	SNAME	varchar (20)			
6	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar (50)			
9	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSAMPLETYPE	SAMPLETYPECD	Yes	Yes	
2	MSAMPLETYPE_NK	SAMPLETYPENAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSAMPLETYPE	PRIMARY KEY	SAMPLETYPECD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M採取法		
物理テーブル名	MSAMPLING		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	採取法コード	SAMPLINGCD	varchar (3)	Yes (PK)		
2	採取法名	SAMPLINGNAME	varchar (40)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (30)			
4	英語名	ENAME	varchar (50)			
5	略名	SNAME	varchar (30)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSAMPLING	SAMPLINGCD	Yes	Yes	
2	MSAMPLING_NK	SAMPLINGNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSAMPLING	PRIMARY KEY	SAMPLINGCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M部位		
物理テーブル名	MSECTION		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	部位コード	SECTIONCD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	部位名	SECTIONNAME	varchar (20)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (15)			
4	英語名	ENAME	varchar (50)			
5	略名	SNAME	varchar (10)			
6	ROW作成日時	ROW CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSECTION	SECTIONCD	Yes	Yes	
2	MSECTION_NK	SECTIONNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSECTION	PRIMARY KEY	SECTIONCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M調査		
物理テーブル名	MSURVEY		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	調査コード	SURVEYCD	varchar (2)	Yes (PK)		
2	調査名	SURVEYNAME	varchar (40)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (40)			
4	英語名	ENAME	varchar (120)			
5	略名	SNAME	varchar (20)			
6	軍艦フラグ	WARSHIPFLG	varchar (1)	Yes	'0'	
7	DB登録対象外フラグ	DBIGNOREFLG	varchar (1)	Yes	'0'	
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
10	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
11	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MSURVEY	SURVEYCD	Yes	Yes	
2	MSURVEY_NK	SURVEYNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MSURVEY	PRIMARY KEY	SURVEYCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M単位		
物理テーブル名	MUNIT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	単位コード	UNITCD	varchar (8)	Yes (PK)		
2	単位名	UNITNAME	varchar (15)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (30)			
4	英語名	ENAME	varchar (20)			
5	略名	SNAME	varchar (15)			
6	単位系列コード	UNITSERIESCD	varchar (4)	Yes		
7	備考	REMARK	varchar (255)			
8	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
9	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
10	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
11	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MUNIT	UNITCD	Yes	Yes	
2	MUNIT_IX1	UNITSERIESCD, UNITCD			
3	MUNIT_NK	UNITNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MUNIT	PRIMARY KEY	UNITCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M軍艦		
物理テーブル名	MWARSHIP		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	軍艦コード	WSCD	varchar (4)	Yes (PK)		
2	軍艦名	WSNAME	varchar (60)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (30)			
4	英語名	ENAME	varchar (40)			
5	記号番号	SIGNNO	varchar (10)			
6	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MWARSHIP	WSCD	Yes	Yes	
2	MWARSHIP_NK	WSNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MWARSHIP	PRIMARY KEY	WSCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	M軍艦地点		
物理テーブル名	MWSPPOINT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	軍艦地点コード	WSPPOINTCD	varchar (4)	Yes (PK)		
2	軍艦地点名	WSPPOINTNAME	varchar (50)	Yes		
3	カナ名	KNAME	varchar (50)			
4	英語名	ENAME	varchar (50)			
5	略名	SNAME	varchar (16)			
6	ROW作成日時	ROW CRE_DT	datetime2			
7	ROW更新日時	ROW UPD_DT	datetime2			
8	ROW更新ユーザID	ROW UPD_USER_ID	varchar (50)			
9	ROW VER	ROW VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_MWSPPOINT	WSPPOINTCD	Yes	Yes	
2	MWSPPOINT_NK	WSPPOINTNAME		Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_MWSPPOINT	PRIMARY KEY	WSPPOINTCD

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	報告書		
物理テーブル名	REPORT		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	報告書番号	REPORTCD	varchar (9)	Yes (PK)		モニタリングポストデータ保存のため オリジナルのDBから下記を変更 ・主キー制約を削除 ・データ型をvarchar (6)から変更
2	報告書名	REPORTNAME	varchar (255)	Yes		
3	英語名	ENAME	varchar (255)			
4	調査コード	SURVEYCD	varchar (2)	Yes		
5	調査開始日	SURVEYSDATE	varchar (10)	Yes		
6	調査終了日	SURVEYEDATE	varchar (10)	Yes		
7	調査年度	SURVEYYEAR	numeric (4, 0)	Yes		
8	発行機関コード	REPLABCD	varchar (4)	Yes		
9	発行都道府県コード	REPPREFCD	varchar (2)			
10	発行日	PUBDATE	varchar (10)			
11	受付日	RECEPTDATE	varchar (10)			
12	VOL	VOL	numeric (10, 0)			
13	報告書備考	REPREMARK	varchar (255)			
14	管理ユーザID	MAN_USER_ID	varchar (50)			
15	機関担当者情報	LAB_CONTACT_INFO	nvarchar (max)			
16	初期採取都道府県 コード	INISAMPLEPREFCD	varchar (2)			
17	初期採取機関コード	INISAMPLABCD	varchar (4)			
18	初期分析機関コード	INIANALABCD	varchar (4)			
19	初期測定都道府県 コード	INIMEASUREPREFCD	varchar (2)			
20	初期測定機関コード	INIMEASURELABCD	varchar (4)			
21	削除フラグ	DELETEFLG	varchar (1)	Yes	'0'	0:通常, 1:削除
22	取込状態	IMP_STATUS	varchar (1)	Yes	'0'	
23	取込日時	IMP_DT	datetime2			
24	取込ユーザID	IMP_USER_ID	varchar (50)			
25	標準化状態	STDN_STATUS	varchar (1)	Yes	'0'	0:未実行, 1:成功, 2:エラー, 9:対象外
26	標準化日時	STDN_DT	datetime2			
27	標準化ユーザID	STDN_USER_ID	varchar (50)			
28	公開DL状態	PUB_DL_STATUS	varchar (1)	Yes	'0'	
29	公開DL日時	PUB_DL_DT	datetime2			
30	公開DLユーザID	PUB_DL_USER_ID	varchar (50)			
31	ROW作成日時	ROW_CRE_DT	datetime2			
32	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
33	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar (50)			
34	ROW_VER	ROW_VER	numeric (8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_REPORT	REPORTCD	Yes	Yes	モニタリングポストデータ保存のため オリジナルのDBから下記を変更 ・主キー制約を削除
2	REPORT_IX1	SURVEYYEAR, SURVEYSDATE, REPORTCD, DELETEFLG			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義	備考
1	PK_REPORT	PRIMARY KEY	REPORTCD	モニタリングポストデータ保存のため オリジナルのDBから下記を変更 ・主キー制約を削除

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	分析		
物理テーブル名	TANALYSIS		
備考 検索条件の試料(大分類)で「大気浮遊じん・大気」、「降下物」、「降水」、「陸水」、「土壌」、「堆積物」、「農林産物」、「牛乳」、「海水」、「水産物」、「食品」、「日常食」、「特定製品等」を選択した場合に検索されるデータが保存されたテーブル。検索時にはTSAMPLE(標準試料)と関連付けて出力される。			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	分析番号	ANALYSISNO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
2	試料番号	SAMPLENO	numeric(9, 0)	Yes		
3	分析明細番号	ANALYSISDTLNO	numeric(5, 0)	Yes		
4	分析機関コード	ANALABCD	varchar(4)			
5	Ca濃度	CALCIUM	float(53)			
6	Ca濃度単位	CALCIUMUT	varchar(8)			
7	K濃度	POTASSIUM	float(53)			
8	K濃度単位	POTASSIUMUT	varchar(8)			
9	前処理量	PRETREATVOL	float(53)			
10	前処理量単位	PRETREATVOLUT	varchar(8)			
11	分析供試量	MEASUREWEIGHT	float(53)			
12	分析供試量単位	MEASUREWEIGHTUT	varchar(8)			
13	前処理法コード	PRETREATCD	varchar(2)			
14	化学分離法コード	CHEMSEPARCD	varchar(2)			
15	計測器コード	INSTRUMENTCD	varchar(3)			
16	測定開始日	MEASURESDATE	varchar(10)			
17	測定開始時刻	MEASURESTIME	varchar(8)			
18	測定終了日	MEASUREEDATE	varchar(10)			
19	測定終了時刻	MEASUREETIME	varchar(8)			
20	測定迄の時間	UNTILMEASURE	float(53)			
21	測定迄の時間単位	UNTILMEASUREUT	varchar(8)			
22	測定時間	MEASURETIMES	float(53)			
23	測定時間単位	MEASURETIMESUT	varchar(8)			
24	核種コード	ELEMENTCD	varchar(3)			
25	記載報告値	REACTIVITYTEXT	varchar(30)			
26	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	varchar(16)			
27	公開報告値	REACTIVITY	float(53)			
28	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	float(53)			
29	公開報告値単位	REACTIVITYUT	varchar(8)			
30	NDフラグ	NDFG	varchar(1)	Yes	'0'	0:通常,1:ND
31	非公開フラグ	PRIVATEFLG	varchar(1)	Yes	'0'	0:公開,1:非公開
32	分析備考	ANAREMARK	varchar(255)			
33	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
34	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
35	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar(50)			
36	ROW VER	ROW VER	numeric(8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_TANALYSIS	ANALYSISNO	Yes	Yes	
2	TANALYSIS_IX1	SAMPLENO, ANALABCD, ELEMENTCD, REACTIVITYUT, ANALYSISNO, ANALYSISDTLNO, REACTIVITY, REACTIVITYERR			
3	TANALYSIS_NK	SAMPLENO, ANALYSISDTLNO, ANALYSISNO			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_TANALYSIS	PRIMARY KEY	ANALYSISNO

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	連続測定		
物理テーブル名	TCMEASURE		
備考 検索条件の試料(大分類)で「大気浮遊じん・大気(連続測定)」または「モニタリングポスト」を選択した場合に検索されるデータが保存されたテーブル。			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	測定番号	MEASURENO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
2	報告書番号	REPORTCD	varchar(9)	Yes		モニタリングポストデータ保存のためオリジナルのDBから下記を変更 ・データ型をvarchar(6)から変更
3	表データSEQ	SHEETSEQ	numeric(10, 0)	Yes		
4	行番号	LINENO	numeric(8, 0)	Yes		
5	標準化状態	STDN STATUS	varchar(1)	Yes	'0'	0:未実行, 1:成功, 2:エラー, 9:対象外
6	標準化エラーJSON	STDN ERROR JSON	nvarchar(max)			
7	基準日	BASEDATE	datetime2			
8	測定機関コード	MEASURELABCD	varchar(4)			
9	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar(2)			
10	記載試料名	LCSAMPLENAME	varchar(60)			記載の試料名(小分類)
11	試料コード	SAMPLECD	varchar(4)			
12	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	varchar(2)			
13	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	varchar(100)			
14	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	varchar(9)			
15	地点振込年度	POINTSETYEAR	numeric(4, 0)			
16	緯度(世界測地系)	SLATITUDE	nvarchar(20)			
17	経度(世界測地系)	SLONGITUDE	nvarchar(20)			
18	緯度(日本測地系)	LATITUDE	nvarchar(20)			
19	経度(日本測地系)	LONGITUDE	nvarchar(20)			
20	計測器コード	INSTRUMENTCD	varchar(3)			
21	宇宙線含除	COSMICRAYFG	varchar(1)	Yes	'0'	0:なし, 1:含む
22	高さ	HEIGHT	float(53)			
23	高さ単位	HEIGHTUT	varchar(8)			
24	核種コード	ELEMENTCD	varchar(3)			
25	集計単位コード	SUMUNITCD	varchar(2)			
26	測定開始日	MEASURESDATE	varchar(10)			
27	測定開始時刻	MEASURESTIME	varchar(8)			
28	測定終了日	MEASUREEDATE	varchar(10)			
29	測定終了時刻	MEASUREETIME	varchar(8)			
30	測定年度	MEASUREYEAR	numeric(4, 0)			
31	測定四半期	MEASUREQUARTER	numeric(1, 0)			
32	測定年	MEASUREPYEAR	numeric(4, 0)			
33	測定月	MEASUREMONTH	numeric(2, 0)			1-12
34	測定期間	MEASURELENGTH	numeric(9, 0)			
35	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	varchar(8)			
36	天気コード	WEATHERCD	varchar(5)			
37	欠測フラグ	MEASUREFG	varchar(1)	Yes	'0'	
38	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEX	varchar(30)			
39	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEX	varchar(30)			
40	記載報告値平均	REACTIVITYAVGTTEX	varchar(30)			
41	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	varchar(16)			
42	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	float(53)			
43	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	float(53)			
44	公開報告値平均	REACTIVITYAVG	float(53)			
45	公開報告値単位	REACTIVITYUT	varchar(8)			
46	非公開フラグ	PRIVATEFLG	varchar(1)	Yes	'0'	0:公開, 1:非公開
47	測定備考	MEAREMARK	varchar(255)			
48	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
49	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
50	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar(50)			
51	ROW VER	ROW VER	numeric(8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_TCMEASURE	MEASURENO	Yes	Yes	
2	TCMEASURE_IX1	REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, BASEDATE			
3	TCMEASURE_IX2	BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO			
4	TCMEASURE_IX3	STDN_STATUS, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASURELABCD, ELEMENTCD, REACTIVITYUT, BASEDATE, MEASUREPOINTCD, MEASURENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, REACTIVITYMAX, REACTIVITYMIN, REACTIVITYAVG			
5	TCMEASURE_IX4	SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, REPORTCD, BASEDATE			
6	TCMEASURE_IX5	MEASURELABCD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, LCMEASUREPOINTNAME, MEASUREPOINTCD, POINTSEYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, MEASUREYEAR			
7	TCMEASURE_NK	SHEETSEQ, LINENO			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_TCMEASURE	PRIMARY KEY	MEASURENO

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	非連続測定		
物理テーブル名	TNMEASURE		
備考 検索条件の試料(大分類)で「積算線量」、「サーベイメータ」、「中性子線量率」を選択した場合に検索されるデータが保存されたテーブル。			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	測定番号	MEASURENO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
2	報告書番号	REPORTCD	varchar(6)	Yes		
3	表データSEQ	SHEETSEQ	numeric(10, 0)	Yes		
4	行番号	LINENO	numeric(8, 0)	Yes		
5	標準化状態	STDN STATUS	varchar(1)	Yes	'0'	0:未実行, 1:成功, 2:エラー, 9:対象外
6	標準化エラーJSON	STDN ERROR JSON	nvarchar(max)			
7	基準日	BASEDATE	datetime2			
8	県試料番号	LOCALSAMPLENO	varchar(20)			
9	測定機関コード	MEASURELABCD	varchar(4)			
10	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar(2)			
11	記載試料名	LCSAMPLENAME	varchar(60)			記載の試料名(小分類)
12	試料コード	SAMPLECD	varchar(4)			
13	測定開始日	MEASURESDATE	varchar(10)			
14	測定開始時刻	MEASURESTIME	varchar(8)			
15	測定終了日	MEASUREEDATE	varchar(10)			
16	測定終了時刻	MEASUREETIME	varchar(8)			
17	測定年度	MEASUREYEAR	numeric(4, 0)			
18	測定四半期	MEASUREQUARTER	numeric(1, 0)			
19	測定年	MEASUREPYEAR	numeric(4, 0)			
20	測定月	MEASUREMONTH	numeric(2, 0)			1-12
21	測定期間	MEASURELENGTH	numeric(9, 0)			
22	測定期間単位	MEASURELENGTHUT	varchar(8)			
23	測定都道府県コード	MEASUREPREFCD	varchar(2)			
24	記載測定地点名	LCMEASUREPOINTNAM	varchar(100)			
25	測定地点コード	MEASUREPOINTCD	varchar(9)			
26	地点振込年度	POINTSETYEAR	numeric(4, 0)			
27	緯度(世界測地系)	SLATITUDE	nvarchar(20)			
28	経度(世界測地系)	SLONGITUDE	nvarchar(20)			
29	緯度(日本測地系)	LATITUDE	nvarchar(20)			
30	経度(日本測地系)	LONGITUDE	nvarchar(20)			
31	重層地点コード	WSPPOINTCD	varchar(4)			
32	測定ポイント番号	MEASUREPOINTNO	numeric(5, 0)			
33	計測器コード	INSTRUMENTCD	varchar(3)			
34	宇宙線含除	COSMICRAYFG	varchar(1)	Yes	'0'	0:なし, 1:含む
35	高さ	HEIGHT	float(53)			
36	高さ単位	HEIGHTUT	varchar(8)			
37	記載報告値最大	REACTIVITYMAXTEXT	varchar(30)			
38	記載報告値最小	REACTIVITYMINTEXT	varchar(30)			
39	記載報告値	REACTIVITYTEXT	varchar(30)			
40	記載報告値単位	REACTIVITYUTTEXT	varchar(16)			
41	公開報告値最大	REACTIVITYMAX	float(53)			
42	公開報告値最小	REACTIVITYMIN	float(53)			
43	公開報告値	REACTIVITY	float(53)			
44	公開報告値誤差	REACTIVITYERR	float(53)			
45	公開報告値単位	REACTIVITYUT	varchar(8)			
46	NDフラグ	NDFG	varchar(1)	Yes	'0'	0:通常, 1:ND
47	非公開フラグ	PRIVATEFLG	varchar(1)	Yes	'0'	0:公開, 1:非公開
48	測定備考	MEAREMARK	varchar(255)			
49	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			
50	ROW更新日時	ROW UPD DT	datetime2			
51	ROW更新ユーザID	ROW UPD USER ID	varchar(50)			
52	ROW VER	ROW VER	numeric(8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_TNMEASURE	MEASURENO	Yes	Yes	
2	TNMEASURE_IX1	REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, BASEDATE			
3	TNMEASURE_IX2	BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO			
4	TNMEASURE_IX3	STDN_STATUS, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, MEASURELABCD, REACTIVITYUT, BASEDATE, MEASUREPOINTCD, MEASURENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, REACTIVITYMAX, REACTIVITYMIN, REACTIVITY, REACTIVITYERR			
5	TNMEASURE_IX4	SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, REPORTCD, BASEDATE			
6	TNMEASURE_IX5	MEASURELABCD, SAMPLECD, MEASUREPREFCD, LCMEASUREPOINTNAME, MEASUREPOINTCD, POINTSETYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, MEASUREYEAR			
7	TNMEASURE_NK	SHEETSEQ, LINENO			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_TNMEASURE	PRIMARY KEY	MEASURENO

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

テーブル情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理テーブル名	環境試料		
物理テーブル名	TSAMPLE		
備考 検索条件の試料(大分類)で「大気浮遊じん・大気」、「降水物」、「降水」、「陸水」、「土壌」、「堆積物」、「農林産物」、「牛乳」、「海水」、「水産物」、「食品」、「日常食」、「特定製品等」を選択した場合に検索されるデータが保存されたテーブル。検索時にはTANALYSIS(分析テーブル)と関連付けて出力される。			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	試料番号	SAMPLENO	numeric(9, 0)	Yes (PK)		
2	報告書番号	REPORTCD	varchar(6)	Yes		
3	表データSEQ	SHEETSEQ	numeric(10, 0)	Yes		
4	行番号	LINENO	numeric(8, 0)	Yes		
5	標準化状態	STDN STATUS	varchar(1)	Yes	0	0:未実行,1:成功,2:エラー,9:対象外
6	標準化エラーJSON	STDN ERROR JSON	nvarchar(max)			標準化のエラー内容のJSON形式データ
7	基準日	BASEDATE	datetime2			
8	県試料番号	LOCALSAMPLENO	varchar(20)			
9	採取機関コード	SAMPLABCD	varchar(4)			
10	試料種別コード	SAMPLETYPECD	varchar(2)			
11	記載試料名	LCSAMPLENAME	varchar(60)			記載の試料名(小分類)
12	試料コード	SAMPLECD	varchar(4)			
13	生物コード	LIFECD	varchar(12)			
14	食品コード	FOODCD	varchar(7)			
15	部位コード	SECTIONCD	varchar(2)			
16	採取開始日	SAMPLESDATE	varchar(10)			YYYY/MM/DD
17	採取開始時刻	SAMPLESTIME	varchar(8)			HH:mm:ss
18	採取終了日	SAMPLEEDATE	varchar(10)			YYYY/MM/DD
19	採取終了時刻	SAMPLEETIME	varchar(8)			HH:mm:ss
20	採取年度	SAMPLEYEAR	numeric(4, 0)			
21	採取四半期	SAMPLEQUARTER	numeric(1, 0)			
22	採取年	SAMPLEYEAR	numeric(4, 0)			
23	採取月	SAMPLEMONTH	numeric(2, 0)			1-12
24	採取日数	SAMPLEDAY	numeric(9, 0)			
25	降雨開始日	RAINSDATE	varchar(10)			
26	降雨開始時刻	RAINSTIME	varchar(8)			
27	降雨終了日	RAINEDATE	varchar(10)			
28	降雨終了時刻	RAINE TIME	varchar(8)			
29	採取都道府県コード	SAMPLEPREFCD	varchar(2)			
30	記載採取地点名	LCSAMPLEPOINTNAME	varchar(100)			
31	採取地点コード	SAMPLEPOINTCD	varchar(9)			
32	地点振込年度	POINTSETYEAR	numeric(4, 0)			
33	緯度(世界測地系)	SLATITUDE	nvarchar(20)			
34	経度(世界測地系)	SLONGITUDE	nvarchar(20)			
35	緯度(日本測地系)	LATITUDE	nvarchar(20)			
36	経度(日本測地系)	LONGITUDE	nvarchar(20)			
37	重艦地点コード	WSPPOINTCD	varchar(4)			
38	採取法コード	SAMPLINGCD	varchar(3)			
39	採取面積	SAMPLEAREA	float(53)			
40	採取面積単位	SAMPLEAREAUT	varchar(8)			
41	水深	DEPTHWATER	float(53)			
42	水深単位	DEPTHWATERUT	varchar(8)			
43	採取層1	SAMPLELAYER1	float(53)			
44	採取層2	SAMPLELAYER2	float(53)			
45	採取層単位	SAMPLELAYERUT	varchar(8)			
46	採取層区分	SAMPLELAYERKBN	varchar(1)			
47	採取量1	SAMPLEVOL1	float(53)			
48	採取量1単位	SAMPLEVOL1UT	varchar(8)			
49	採取量2	SAMPLEVOL2	float(53)			
50	採取量2単位	SAMPLEVOL2UT	varchar(8)			
51	換算係数	CONVCOEFF	float(53)			
52	換算係数単位	CONVCOEFFUT	varchar(8)			
53	外観	APEARANCE	varchar(20)			
54	水温	WATERTEMP	float(53)			
55	水温単位	WATERTEMPUT	varchar(8)			
56	塩素	CHLORINITY	float(53)			
57	塩素単位	CHLORINITYUT	varchar(8)			
58	塩分	SALINITY	float(53)			
59	塩分単位	SALINITYUT	varchar(8)			
60	PH	PH	float(53)			
61	生産製造地	PRODUCT	varchar(50)			
62	試料備考	SAMREMARK	varchar(255)			
63	ROW作成日時	ROW CRE DT	datetime2			

64	ROW更新日時	ROW_UPD_DT	datetime2			
65	ROW更新ユーザID	ROW_UPD_USER_ID	varchar(50)			
66	ROW VER	ROW_VER	numeric(8, 0)	Yes	0	

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_TSAMPLE	SAMPLENO	Yes	Yes	
2	TSAMPLE_IX1	REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, SAMPLENO, BASEDATE			
3	TSAMPLE_IX2	BASEDATE, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO, SAMPLENO			
4	TSAMPLE_IX3	STDN_STATUS, SAMPLECD, SAMPLEPREFCD, BASEDATE, SAMPLEPOINTCD, SAMPLELAYERKBN, SAMPLENO, REPORTCD, SHEETSEQ, LINENO			
5	TSAMPLE_IX4	SAMPLETYPECD, LCSAMPLENAME, SAMPLECD, LIFECD, FOODCD, SECTIONCD, REPORTCD, BASEDATE			
6	TSAMPLE_IX5	SAMPLABCD, SAMPLECD, SAMPLEPREFCD, LCSAMPLEPOINTNAME, SAMPLEPOINTCD, POINTSEYEAR, SLATITUDE, SLONGITUDE, REPORTCD, SAMPLEYEAR			
7	TSAMPLE_NK	SHEETSEQ, LINENO			

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_TSAMPLE	PRIMARY KEY	SAMPLENO

外部キー情報

No.	外部キー名	カラムリスト	参照先テーブル名	参照先カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

外部キー情報 (PK側)

No.	外部キー名	カラムリスト	参照元テーブル名	参照元カラムリスト
-----	-------	--------	----------	-----------

トリガー情報

No.	トリガー名	イベント	タイミング	条件
-----	-------	------	-------	----

エンティティ情報

論理DB名	検索結果出力用DB	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	ERDBMS		
スキーマ名	ERDBMS		
論理エンティティ名	モニタリングポスト測定地点		
物理エンティティ名	T_MonitoringPost_Point		
備考	モニタリングポストデータの検索結果に測定地点名を出力するためのテーブル。 ※DB「SearchConditionList」にある同名テーブルからコピーして作成。		

カラム情報

No	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	測定地点コード	PointCode	char (9)	Y (PK)		ERDBMS. TCMEASURE. MEASUREPOINTCDに対応する9桁の数字。
2	都道府県コード	PrefectureCode	char (2)	Y		01~47。絞り込み用。
3	測定地点名	Name	nvarchar (64)	Y		文字コードはシフトJIS。 ※MPOINTの測定地点名とは別物。 ※サイズは適当。実データに合わせて今後大きくする可能性あり。
4	英語名	ENAME	varchar (150)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_T_MonitoringPost_Point	PointCode	Yes	Yes	クラスタ化インデックス
2	Point_01	PrefectureCode			絞り込み用。

リレーションシップ情報 (FK側)

No	動詞句	カラムリスト	参照先エンティティ名	参照先カラムリスト
----	-----	--------	------------	-----------

リレーションシップ情報 (PK側)

No	動詞句	カラムリスト	参照元エンティティ名	参照元カラムリスト
----	-----	--------	------------	-----------

テーブル一覧

No.	論理テーブル名	物理テーブル名	備考
1	測定データ	T_Data	
2	モニタリングポスト情報	T_Info	

テーブル情報

論理DB名	リアルタイムデータ	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	RealTimeData		
スキーマ名	dbo		
論理エンティティ名	測定データ		
物理エンティティ名	T_Data		
備考 テーブルの初期状態はレコード無し。 CSVファイルからこのテーブルに保存する。 各測定地点の最新データのみ保存するのでWEBではテーブル内のデータを全て表示する。古いデータは保存ソフトが削除する。			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	都道府県コード	PrefectureCode	char (2)	Y (PK)		01~47
2	モニタリングポストコード	MpCode	char (2)	Y (PK)		01~99(実際は2021/2/24時点で11が最大)
3	測定日時	DataTime	datetime	Y		年月日時分まで保存。秒とミリ秒は常に0。
4	線量率	DoseRate	float	Y		単位：nGy/h(GSV内はμGy/hのため変換して保存)

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_T_Data	PrefectureCode, MpCode	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_T_Data	PRIMARY KEY	PrefectureCode, MpCode

テーブル情報

論理DB名	リアルタイムデータ	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	RealTimeData		
スキーマ名	dbo		
論理エンティティ名	モニタリングポスト情報		
物理エンティティ名	T_Info		
備考			

カラム情報

No.	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	都道府県コード	PrefectureCode	char (2)	Yes (PK)		01~47
2	モニタリングポストコード	MpCode	char (2)	Yes (PK)		01~99(実際は2021/2/24時点で11が最大)
3	名称	Name	nvarchar (64)	Yes		文字コードはシフトJIS ※サイズは適当。実データに合わせて今後大きくする可能性あり。
4	緯度	Latitude	decimal (8, 6)	Yes		10進表記で00.000000の形式。
5	経度	Longitude	decimal (9, 6)	Yes		10進表記で000.000000の形式。
6	高度	Height	decimal (4, 2)	Yes		単位：m
7	測定地点コード	PointCode	char (9)	Yes		ERDBMS. TCMEASURE. MEASUREPOINTCDに 対応する9桁の数字。
8	英語名	ENAME	varchar (150)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No.	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_T_Info	PrefectureCode, MpCode	Yes	Yes	

制約情報

No.	制約名	種類	制約定義
1	PK_T_Info	PRIMARY KEY	PrefectureCode, MpCode

テーブル一覧

No.	論理テーブル名	物理テーブル名	備考
1	モニタリングポスト測定地点	T_MonitoringPost_Point	

エンティティ情報

論理DB名	検索条件一覧	RDBMS	Microsoft SQL Server 2019
物理DB名	SearchConditionList		
スキーマ名	dbo		
論理エンティティ名	モニタリングポスト測定地点		
物理エンティティ名	T_MonitoringPost_Point		
備考	「空間放射線量率図」ページの「測定地点」の選択肢の表示に使用する。		

カラム情報

No	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1	測定地点コード	PointCode	char (9)	Y (PK)		ERDBMS. TCMEASURE. MEASUREPOINTCDに対応する9桁の数字。
2	都道府県コード	PrefectureCode	char (2)	Y		01~47。絞り込み用。
3	測定地点名	Name	nvarchar (64)	Y		文字コードはシフトJIS。 ※MPOINTの測定地点名とは別物。 ※サイズは適当。実データに合わせて今後大きくする可能性あり。
4	英語名	ENAME	varchar (150)			サイト英語化時に追加

インデックス情報

No	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考
1	PK_T_MonitoringPost_Point	PointCode	Yes	Yes	クラスタ化インデックス
2	Point_01	PrefectureCode			絞り込み用。

リレーションシップ情報 (FK側)

No	動詞句	カラムリスト	参照先エンティティ名	参照先カラムリスト
----	-----	--------	------------	-----------

リレーションシップ情報 (PK側)

No	動詞句	カラムリスト	参照元エンティティ名	参照元カラムリスト
----	-----	--------	------------	-----------

モニタリングポストデータオンライン収集システム

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータテーブル	テーブルID	MPDT						

※修正不可

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0:未削除、1:削除済	
2	行の種類コード	SHUCODE	1		Y	VARCHAR2	2			
3	都道府県コード	PREFCODE	2		Y	VARCHAR2	2			
4	ポストの識別コード	MPCODE	3		Y	VARCHAR2	2			
5	測定終了年月日	SOKDATE	4		Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
6	項目コード	KMKCODE	6		Y	VARCHAR2	2		01:線量率(μGy/h)、02:計数率(cps)	
7	測定結果001	DT001			N	NUMBER	5	4	00:10の測定結果	
8	測定結果002	DT002			N	NUMBER	5	4	00:20の測定結果	
9	測定結果003	DT003			N	NUMBER	5	4	00:30の測定結果	
10	測定結果004	DT004			N	NUMBER	5	4	00:40の測定結果	
11	測定結果005	DT005			N	NUMBER	5	4	00:50の測定結果	
12	測定結果006	DT006			N	NUMBER	5	4	01:00の測定結果	
13	測定結果007	DT007			N	NUMBER	5	4	01:10の測定結果	
14	測定結果008	DT008			N	NUMBER	5	4	01:20の測定結果	
15	測定結果009	DT009			N	NUMBER	5	4	01:30の測定結果	
16	測定結果010	DT010			N	NUMBER	5	4	01:40の測定結果	
17	測定結果011	DT011			N	NUMBER	5	4	01:50の測定結果	
18	測定結果012	DT012			N	NUMBER	5	4	02:00の測定結果	
19	測定結果013	DT013			N	NUMBER	5	4	02:10の測定結果	
20	測定結果014	DT014			N	NUMBER	5	4	02:20の測定結果	
21	測定結果015	DT015			N	NUMBER	5	4	02:30の測定結果	
22	測定結果016	DT016			N	NUMBER	5	4	02:40の測定結果	
23	測定結果017	DT017			N	NUMBER	5	4	02:50の測定結果	
24	測定結果018	DT018			N	NUMBER	5	4	03:00の測定結果	
25	測定結果019	DT019			N	NUMBER	5	4	03:10の測定結果	
26	測定結果020	DT020			N	NUMBER	5	4	03:20の測定結果	
27	測定結果021	DT021			N	NUMBER	5	4	03:30の測定結果	
28	測定結果022	DT022			N	NUMBER	5	4	03:40の測定結果	
29	測定結果023	DT023			N	NUMBER	5	4	03:50の測定結果	
30	測定結果024	DT024			N	NUMBER	5	4	04:00の測定結果	
31	測定結果025	DT025			N	NUMBER	5	4	04:10の測定結果	
32	測定結果026	DT026			N	NUMBER	5	4	04:20の測定結果	
33	測定結果027	DT027			N	NUMBER	5	4	04:30の測定結果	
34	測定結果028	DT028			N	NUMBER	5	4	04:40の測定結果	
35	測定結果029	DT029			N	NUMBER	5	4	04:50の測定結果	
36	測定結果030	DT030			N	NUMBER	5	4	05:00の測定結果	
37	測定結果031	DT031			N	NUMBER	5	4	05:10の測定結果	
38	測定結果032	DT032			N	NUMBER	5	4	05:20の測定結果	
39	測定結果033	DT033			N	NUMBER	5	4	05:30の測定結果	
40	測定結果034	DT034			N	NUMBER	5	4	05:40の測定結果	
41	測定結果035	DT035			N	NUMBER	5	4	05:50の測定結果	
42	測定結果036	DT036			N	NUMBER	5	4	06:00の測定結果	
43	測定結果037	DT037			N	NUMBER	5	4	06:10の測定結果	
44	測定結果038	DT038			N	NUMBER	5	4	06:20の測定結果	
45	測定結果039	DT039			N	NUMBER	5	4	06:30の測定結果	
46	測定結果040	DT040			N	NUMBER	5	4	06:40の測定結果	
47	測定結果041	DT041			N	NUMBER	5	4	06:50の測定結果	
48	測定結果042	DT042			N	NUMBER	5	4	07:00の測定結果	
49	測定結果043	DT043			N	NUMBER	5	4	07:10の測定結果	
50	測定結果044	DT044			N	NUMBER	5	4	07:20の測定結果	
51	測定結果045	DT045			N	NUMBER	5	4	07:30の測定結果	
52	測定結果046	DT046			N	NUMBER	5	4	07:40の測定結果	
53	測定結果047	DT047			N	NUMBER	5	4	07:50の測定結果	
54	測定結果048	DT048			N	NUMBER	5	4	08:00の測定結果	
55	測定結果049	DT049			N	NUMBER	5	4	08:10の測定結果	
56	測定結果050	DT050			N	NUMBER	5	4	08:20の測定結果	
57	測定結果051	DT051			N	NUMBER	5	4	08:30の測定結果	
58	測定結果052	DT052			N	NUMBER	5	4	08:40の測定結果	
59	測定結果053	DT053			N	NUMBER	5	4	08:50の測定結果	
60	測定結果054	DT054			N	NUMBER	5	4	09:00の測定結果	
61	測定結果055	DT055			N	NUMBER	5	4	09:10の測定結果	
62	測定結果056	DT056			N	NUMBER	5	4	09:20の測定結果	
63	測定結果057	DT057			N	NUMBER	5	4	09:30の測定結果	
64	測定結果058	DT058			N	NUMBER	5	4	09:40の測定結果	
65	測定結果059	DT059			N	NUMBER	5	4	09:50の測定結果	
66	測定結果060	DT060			N	NUMBER	5	4	10:00の測定結果	
67	測定結果061	DT061			N	NUMBER	5	4	10:10の測定結果	
68	測定結果062	DT062			N	NUMBER	5	4	10:20の測定結果	
69	測定結果063	DT063			N	NUMBER	5	4	10:30の測定結果	
70	測定結果064	DT064			N	NUMBER	5	4	10:40の測定結果	
71	測定結果065	DT065			N	NUMBER	5	4	10:50の測定結果	
72	測定結果066	DT066			N	NUMBER	5	4	11:00の測定結果	
73	測定結果067	DT067			N	NUMBER	5	4	11:10の測定結果	
74	測定結果068	DT068			N	NUMBER	5	4	11:20の測定結果	
75	測定結果069	DT069			N	NUMBER	5	4	11:30の測定結果	
76	測定結果070	DT070			N	NUMBER	5	4	11:40の測定結果	
77	測定結果071	DT071			N	NUMBER	5	4	11:50の測定結果	
78	測定結果072	DT072			N	NUMBER	5	4	12:00の測定結果	
79	測定結果073	DT073			N	NUMBER	5	4	12:10の測定結果	
80	測定結果074	DT074			N	NUMBER	5	4	12:20の測定結果	

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータテーブル	テーブルID	MPDT						

※修正不可

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
81	測定結果075	DT075			N	NUMBER	5	4	12:30の測定結果	
82	測定結果076	DT076			N	NUMBER	5	4	12:40の測定結果	
83	測定結果077	DT077			N	NUMBER	5	4	12:50の測定結果	
84	測定結果078	DT078			N	NUMBER	5	4	13:00の測定結果	
85	測定結果079	DT079			N	NUMBER	5	4	13:10の測定結果	
86	測定結果080	DT080			N	NUMBER	5	4	13:20の測定結果	
87	測定結果081	DT081			N	NUMBER	5	4	13:30の測定結果	
88	測定結果082	DT082			N	NUMBER	5	4	13:40の測定結果	
89	測定結果083	DT083			N	NUMBER	5	4	13:50の測定結果	
90	測定結果084	DT084			N	NUMBER	5	4	14:00の測定結果	
91	測定結果085	DT085			N	NUMBER	5	4	14:10の測定結果	
92	測定結果086	DT086			N	NUMBER	5	4	14:20の測定結果	
93	測定結果087	DT087			N	NUMBER	5	4	14:30の測定結果	
94	測定結果088	DT088			N	NUMBER	5	4	14:40の測定結果	
95	測定結果089	DT089			N	NUMBER	5	4	14:50の測定結果	
96	測定結果090	DT090			N	NUMBER	5	4	15:00の測定結果	
97	測定結果091	DT091			N	NUMBER	5	4	15:10の測定結果	
98	測定結果092	DT092			N	NUMBER	5	4	15:20の測定結果	
99	測定結果093	DT093			N	NUMBER	5	4	15:30の測定結果	
100	測定結果094	DT094			N	NUMBER	5	4	15:40の測定結果	
101	測定結果095	DT095			N	NUMBER	5	4	15:50の測定結果	
102	測定結果096	DT096			N	NUMBER	5	4	16:00の測定結果	
103	測定結果097	DT097			N	NUMBER	5	4	16:10の測定結果	
104	測定結果098	DT098			N	NUMBER	5	4	16:20の測定結果	
105	測定結果099	DT099			N	NUMBER	5	4	16:30の測定結果	
106	測定結果100	DT100			N	NUMBER	5	4	16:40の測定結果	
107	測定結果101	DT101			N	NUMBER	5	4	16:50の測定結果	
108	測定結果102	DT102			N	NUMBER	5	4	17:00の測定結果	
109	測定結果103	DT103			N	NUMBER	5	4	17:10の測定結果	
110	測定結果104	DT104			N	NUMBER	5	4	17:20の測定結果	
111	測定結果105	DT105			N	NUMBER	5	4	17:30の測定結果	
112	測定結果106	DT106			N	NUMBER	5	4	17:40の測定結果	
113	測定結果107	DT107			N	NUMBER	5	4	17:50の測定結果	
114	測定結果108	DT108			N	NUMBER	5	4	18:00の測定結果	
115	測定結果109	DT109			N	NUMBER	5	4	18:10の測定結果	
116	測定結果110	DT110			N	NUMBER	5	4	18:20の測定結果	
117	測定結果111	DT111			N	NUMBER	5	4	18:30の測定結果	
118	測定結果112	DT112			N	NUMBER	5	4	18:40の測定結果	
119	測定結果113	DT113			N	NUMBER	5	4	18:50の測定結果	
120	測定結果114	DT114			N	NUMBER	5	4	19:00の測定結果	
121	測定結果115	DT115			N	NUMBER	5	4	19:10の測定結果	
122	測定結果116	DT116			N	NUMBER	5	4	19:20の測定結果	
123	測定結果117	DT117			N	NUMBER	5	4	19:30の測定結果	
124	測定結果118	DT118			N	NUMBER	5	4	19:40の測定結果	
125	測定結果119	DT119			N	NUMBER	5	4	19:50の測定結果	
126	測定結果120	DT120			N	NUMBER	5	4	20:00の測定結果	
127	測定結果121	DT121			N	NUMBER	5	4	20:10の測定結果	
128	測定結果122	DT122			N	NUMBER	5	4	20:20の測定結果	
129	測定結果123	DT123			N	NUMBER	5	4	20:30の測定結果	
130	測定結果124	DT124			N	NUMBER	5	4	20:40の測定結果	
131	測定結果125	DT125			N	NUMBER	5	4	20:50の測定結果	
132	測定結果126	DT126			N	NUMBER	5	4	21:00の測定結果	
133	測定結果127	DT127			N	NUMBER	5	4	21:10の測定結果	
134	測定結果128	DT128			N	NUMBER	5	4	21:20の測定結果	
135	測定結果129	DT129			N	NUMBER	5	4	21:30の測定結果	
136	測定結果130	DT130			N	NUMBER	5	4	21:40の測定結果	
137	測定結果131	DT131			N	NUMBER	5	4	21:50の測定結果	
138	測定結果132	DT132			N	NUMBER	5	4	22:00の測定結果	
139	測定結果133	DT133			N	NUMBER	5	4	22:10の測定結果	
140	測定結果134	DT134			N	NUMBER	5	4	22:20の測定結果	
141	測定結果135	DT135			N	NUMBER	5	4	22:30の測定結果	
142	測定結果136	DT136			N	NUMBER	5	4	22:40の測定結果	
143	測定結果137	DT137			N	NUMBER	5	4	22:50の測定結果	
144	測定結果138	DT138			N	NUMBER	5	4	23:00の測定結果	
145	測定結果139	DT139			N	NUMBER	5	4	23:10の測定結果	
146	測定結果140	DT140			N	NUMBER	5	4	23:20の測定結果	
147	測定結果141	DT141			N	NUMBER	5	4	23:30の測定結果	
148	測定結果142	DT142			N	NUMBER	5	4	23:40の測定結果	
149	測定結果143	DT143			N	NUMBER	5	4	23:50の測定結果	
150	測定結果144	DT144			N	NUMBER	5	4	24:00の測定結果	
151	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
152	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
153	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータ修正用テーブル	テーブルID	MPUP						

※画面で修正する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0:未削除、1:削除済	
2	行の種類コード	SHUCODE	1		Y	VARCHAR2	2			
3	都道府県コード	PREFCODE	2		Y	VARCHAR2	2			
4	ポストの識別コード	MPCODE	3		Y	VARCHAR2	2			
5	測定終了年月日	SOKDATE	4		Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
6	項目コード	KMKCODE	5		Y	VARCHAR2	2		01:線量率(μGy/h)、02:計数率(cps)	
7	測定結果001	DT001			N	NUMBER	5	4	00:10の測定結果	
8	測定結果002	DT002			N	NUMBER	5	4	00:20の測定結果	
9	測定結果003	DT003			N	NUMBER	5	4	00:30の測定結果	
10	測定結果004	DT004			N	NUMBER	5	4	00:40の測定結果	
11	測定結果005	DT005			N	NUMBER	5	4	00:50の測定結果	
12	測定結果006	DT006			N	NUMBER	5	4	01:00の測定結果	
13	測定結果007	DT007			N	NUMBER	5	4	01:10の測定結果	
14	測定結果008	DT008			N	NUMBER	5	4	01:20の測定結果	
15	測定結果009	DT009			N	NUMBER	5	4	01:30の測定結果	
16	測定結果010	DT010			N	NUMBER	5	4	01:40の測定結果	
17	測定結果011	DT011			N	NUMBER	5	4	01:50の測定結果	
18	測定結果012	DT012			N	NUMBER	5	4	02:00の測定結果	
19	測定結果013	DT013			N	NUMBER	5	4	02:10の測定結果	
20	測定結果014	DT014			N	NUMBER	5	4	02:20の測定結果	
21	測定結果015	DT015			N	NUMBER	5	4	02:30の測定結果	
22	測定結果016	DT016			N	NUMBER	5	4	02:40の測定結果	
23	測定結果017	DT017			N	NUMBER	5	4	02:50の測定結果	
24	測定結果018	DT018			N	NUMBER	5	4	03:00の測定結果	
25	測定結果019	DT019			N	NUMBER	5	4	03:10の測定結果	
26	測定結果020	DT020			N	NUMBER	5	4	03:20の測定結果	
27	測定結果021	DT021			N	NUMBER	5	4	03:30の測定結果	
28	測定結果022	DT022			N	NUMBER	5	4	03:40の測定結果	
29	測定結果023	DT023			N	NUMBER	5	4	03:50の測定結果	
30	測定結果024	DT024			N	NUMBER	5	4	04:00の測定結果	
31	測定結果025	DT025			N	NUMBER	5	4	04:10の測定結果	
32	測定結果026	DT026			N	NUMBER	5	4	04:20の測定結果	
33	測定結果027	DT027			N	NUMBER	5	4	04:30の測定結果	
34	測定結果028	DT028			N	NUMBER	5	4	04:40の測定結果	
35	測定結果029	DT029			N	NUMBER	5	4	04:50の測定結果	
36	測定結果030	DT030			N	NUMBER	5	4	05:00の測定結果	
37	測定結果031	DT031			N	NUMBER	5	4	05:10の測定結果	
38	測定結果032	DT032			N	NUMBER	5	4	05:20の測定結果	
39	測定結果033	DT033			N	NUMBER	5	4	05:30の測定結果	
40	測定結果034	DT034			N	NUMBER	5	4	05:40の測定結果	
41	測定結果035	DT035			N	NUMBER	5	4	05:50の測定結果	
42	測定結果036	DT036			N	NUMBER	5	4	06:00の測定結果	
43	測定結果037	DT037			N	NUMBER	5	4	06:10の測定結果	
44	測定結果038	DT038			N	NUMBER	5	4	06:20の測定結果	
45	測定結果039	DT039			N	NUMBER	5	4	06:30の測定結果	
46	測定結果040	DT040			N	NUMBER	5	4	06:40の測定結果	
47	測定結果041	DT041			N	NUMBER	5	4	06:50の測定結果	
48	測定結果042	DT042			N	NUMBER	5	4	07:00の測定結果	
49	測定結果043	DT043			N	NUMBER	5	4	07:10の測定結果	
50	測定結果044	DT044			N	NUMBER	5	4	07:20の測定結果	
51	測定結果045	DT045			N	NUMBER	5	4	07:30の測定結果	
52	測定結果046	DT046			N	NUMBER	5	4	07:40の測定結果	
53	測定結果047	DT047			N	NUMBER	5	4	07:50の測定結果	
54	測定結果048	DT048			N	NUMBER	5	4	08:00の測定結果	
55	測定結果049	DT049			N	NUMBER	5	4	08:10の測定結果	
56	測定結果050	DT050			N	NUMBER	5	4	08:20の測定結果	
57	測定結果051	DT051			N	NUMBER	5	4	08:30の測定結果	
58	測定結果052	DT052			N	NUMBER	5	4	08:40の測定結果	
59	測定結果053	DT053			N	NUMBER	5	4	08:50の測定結果	
60	測定結果054	DT054			N	NUMBER	5	4	09:00の測定結果	
61	測定結果055	DT055			N	NUMBER	5	4	09:10の測定結果	
62	測定結果056	DT056			N	NUMBER	5	4	09:20の測定結果	
63	測定結果057	DT057			N	NUMBER	5	4	09:30の測定結果	
64	測定結果058	DT058			N	NUMBER	5	4	09:40の測定結果	
65	測定結果059	DT059			N	NUMBER	5	4	09:50の測定結果	
66	測定結果060	DT060			N	NUMBER	5	4	10:00の測定結果	
67	測定結果061	DT061			N	NUMBER	5	4	10:10の測定結果	
68	測定結果062	DT062			N	NUMBER	5	4	10:20の測定結果	
69	測定結果063	DT063			N	NUMBER	5	4	10:30の測定結果	
70	測定結果064	DT064			N	NUMBER	5	4	10:40の測定結果	
71	測定結果065	DT065			N	NUMBER	5	4	10:50の測定結果	
72	測定結果066	DT066			N	NUMBER	5	4	11:00の測定結果	
73	測定結果067	DT067			N	NUMBER	5	4	11:10の測定結果	
74	測定結果068	DT068			N	NUMBER	5	4	11:20の測定結果	
75	測定結果069	DT069			N	NUMBER	5	4	11:30の測定結果	
76	測定結果070	DT070			N	NUMBER	5	4	11:40の測定結果	
77	測定結果071	DT071			N	NUMBER	5	4	11:50の測定結果	
78	測定結果072	DT072			N	NUMBER	5	4	12:00の測定結果	
79	測定結果073	DT073			N	NUMBER	5	4	12:10の測定結果	
80	測定結果074	DT074			N	NUMBER	5	4	12:20の測定結果	

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム	テーブル定義	版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータ修正用テーブル	テーブルID	MPUP				

※画面で修正する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
81	測定結果075	DT075			N	NUMBER	5	4	12:30の測定結果	
82	測定結果076	DT076			N	NUMBER	5	4	12:40の測定結果	
83	測定結果077	DT077			N	NUMBER	5	4	12:50の測定結果	
84	測定結果078	DT078			N	NUMBER	5	4	13:00の測定結果	
85	測定結果079	DT079			N	NUMBER	5	4	13:10の測定結果	
86	測定結果080	DT080			N	NUMBER	5	4	13:20の測定結果	
87	測定結果081	DT081			N	NUMBER	5	4	13:30の測定結果	
88	測定結果082	DT082			N	NUMBER	5	4	13:40の測定結果	
89	測定結果083	DT083			N	NUMBER	5	4	13:50の測定結果	
90	測定結果084	DT084			N	NUMBER	5	4	14:00の測定結果	
91	測定結果085	DT085			N	NUMBER	5	4	14:10の測定結果	
92	測定結果086	DT086			N	NUMBER	5	4	14:20の測定結果	
93	測定結果087	DT087			N	NUMBER	5	4	14:30の測定結果	
94	測定結果088	DT088			N	NUMBER	5	4	14:40の測定結果	
95	測定結果089	DT089			N	NUMBER	5	4	14:50の測定結果	
96	測定結果090	DT090			N	NUMBER	5	4	15:00の測定結果	
97	測定結果091	DT091			N	NUMBER	5	4	15:10の測定結果	
98	測定結果092	DT092			N	NUMBER	5	4	15:20の測定結果	
99	測定結果093	DT093			N	NUMBER	5	4	15:30の測定結果	
100	測定結果094	DT094			N	NUMBER	5	4	15:40の測定結果	
101	測定結果095	DT095			N	NUMBER	5	4	15:50の測定結果	
102	測定結果096	DT096			N	NUMBER	5	4	16:00の測定結果	
103	測定結果097	DT097			N	NUMBER	5	4	16:10の測定結果	
104	測定結果098	DT098			N	NUMBER	5	4	16:20の測定結果	
105	測定結果099	DT099			N	NUMBER	5	4	16:30の測定結果	
106	測定結果100	DT100			N	NUMBER	5	4	16:40の測定結果	
107	測定結果101	DT101			N	NUMBER	5	4	16:50の測定結果	
108	測定結果102	DT102			N	NUMBER	5	4	17:00の測定結果	
109	測定結果103	DT103			N	NUMBER	5	4	17:10の測定結果	
110	測定結果104	DT104			N	NUMBER	5	4	17:20の測定結果	
111	測定結果105	DT105			N	NUMBER	5	4	17:30の測定結果	
112	測定結果106	DT106			N	NUMBER	5	4	17:40の測定結果	
113	測定結果107	DT107			N	NUMBER	5	4	17:50の測定結果	
114	測定結果108	DT108			N	NUMBER	5	4	18:00の測定結果	
115	測定結果109	DT109			N	NUMBER	5	4	18:10の測定結果	
116	測定結果110	DT110			N	NUMBER	5	4	18:20の測定結果	
117	測定結果111	DT111			N	NUMBER	5	4	18:30の測定結果	
118	測定結果112	DT112			N	NUMBER	5	4	18:40の測定結果	
119	測定結果113	DT113			N	NUMBER	5	4	18:50の測定結果	
120	測定結果114	DT114			N	NUMBER	5	4	19:00の測定結果	
121	測定結果115	DT115			N	NUMBER	5	4	19:10の測定結果	
122	測定結果116	DT116			N	NUMBER	5	4	19:20の測定結果	
123	測定結果117	DT117			N	NUMBER	5	4	19:30の測定結果	
124	測定結果118	DT118			N	NUMBER	5	4	19:40の測定結果	
125	測定結果119	DT119			N	NUMBER	5	4	19:50の測定結果	
126	測定結果120	DT120			N	NUMBER	5	4	20:00の測定結果	
127	測定結果121	DT121			N	NUMBER	5	4	20:10の測定結果	
128	測定結果122	DT122			N	NUMBER	5	4	20:20の測定結果	
129	測定結果123	DT123			N	NUMBER	5	4	20:30の測定結果	
130	測定結果124	DT124			N	NUMBER	5	4	20:40の測定結果	
131	測定結果125	DT125			N	NUMBER	5	4	20:50の測定結果	
132	測定結果126	DT126			N	NUMBER	5	4	21:00の測定結果	
133	測定結果127	DT127			N	NUMBER	5	4	21:10の測定結果	
134	測定結果128	DT128			N	NUMBER	5	4	21:20の測定結果	
135	測定結果129	DT129			N	NUMBER	5	4	21:30の測定結果	
136	測定結果130	DT130			N	NUMBER	5	4	21:40の測定結果	
137	測定結果131	DT131			N	NUMBER	5	4	21:50の測定結果	
138	測定結果132	DT132			N	NUMBER	5	4	22:00の測定結果	
139	測定結果133	DT133			N	NUMBER	5	4	22:10の測定結果	
140	測定結果134	DT134			N	NUMBER	5	4	22:20の測定結果	
141	測定結果135	DT135			N	NUMBER	5	4	22:30の測定結果	
142	測定結果136	DT136			N	NUMBER	5	4	22:40の測定結果	
143	測定結果137	DT137			N	NUMBER	5	4	22:50の測定結果	
144	測定結果138	DT138			N	NUMBER	5	4	23:00の測定結果	
145	測定結果139	DT139			N	NUMBER	5	4	23:10の測定結果	
146	測定結果140	DT140			N	NUMBER	5	4	23:20の測定結果	
147	測定結果141	DT141			N	NUMBER	5	4	23:30の測定結果	
148	測定結果142	DT142			N	NUMBER	5	4	23:40の測定結果	
149	測定結果143	DT143			N	NUMBER	5	4	23:50の測定結果	
150	測定結果144	DT144			N	NUMBER	5	4	24:00の測定結果	
151	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
152	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
153	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--	--------	--	----	----	-----

テーブル名	MPデータ状態テーブル	テーブルID	MPST						
-------	-------------	--------	------	--	--	--	--	--	--

※画面でMPデータ修正用テーブルが修正された場合、該当箇所「1:修正済」を設定。データ取込時に存在した場合はクリアする

No.	項目名	項目名(英名)	識別 キー	外部 参照 キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0:未削除、1:削除済	
2	行の種類コード	SHUCODE	1		Y	VARCHAR2	2			
3	都道府県コード	PREFCODE	2		Y	VARCHAR2	2			
4	ポストの識別コード	MPCODE	3		Y	VARCHAR2	2			
5	測定終了年月日	SOKDATE	4		Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
6	項目コード	KMKCODE	6		Y	VARCHAR2	2		01:線量率(μGy/h)、02:計数率(cps)	
7	状態コード001	ST001			N	VARCHAR2	1		00:10の状態コード 1:修正済み	
8	状態コード002	ST002			N	VARCHAR2	1		00:20の状態コード 1:修正済み	
9	状態コード003	ST003			N	VARCHAR2	1		00:30の状態コード 1:修正済み	
10	状態コード004	ST004			N	VARCHAR2	1		00:40の状態コード 1:修正済み	
11	状態コード005	ST005			N	VARCHAR2	1		00:50の状態コード 1:修正済み	
12	状態コード006	ST006			N	VARCHAR2	1		01:00の状態コード 1:修正済み	
13	状態コード007	ST007			N	VARCHAR2	1		01:10の状態コード 1:修正済み	
14	状態コード008	ST008			N	VARCHAR2	1		01:20の状態コード 1:修正済み	
15	状態コード009	ST009			N	VARCHAR2	1		01:30の状態コード 1:修正済み	
16	状態コード010	ST010			N	VARCHAR2	1		01:40の状態コード 1:修正済み	
17	状態コード011	ST011			N	VARCHAR2	1		01:50の状態コード 1:修正済み	
18	状態コード012	ST012			N	VARCHAR2	1		02:00の状態コード 1:修正済み	
19	状態コード013	ST013			N	VARCHAR2	1		02:10の状態コード 1:修正済み	
20	状態コード014	ST014			N	VARCHAR2	1		02:20の状態コード 1:修正済み	
21	状態コード015	ST015			N	VARCHAR2	1		02:30の状態コード 1:修正済み	
22	状態コード016	ST016			N	VARCHAR2	1		02:40の状態コード 1:修正済み	
23	状態コード017	ST017			N	VARCHAR2	1		02:50の状態コード 1:修正済み	
24	状態コード018	ST018			N	VARCHAR2	1		03:00の状態コード 1:修正済み	
25	状態コード019	ST019			N	VARCHAR2	1		03:10の状態コード 1:修正済み	
26	状態コード020	ST020			N	VARCHAR2	1		03:20の状態コード 1:修正済み	
27	状態コード021	ST021			N	VARCHAR2	1		03:30の状態コード 1:修正済み	
28	状態コード022	ST022			N	VARCHAR2	1		03:40の状態コード 1:修正済み	
29	状態コード023	ST023			N	VARCHAR2	1		03:50の状態コード 1:修正済み	
30	状態コード024	ST024			N	VARCHAR2	1		04:00の状態コード 1:修正済み	
31	状態コード025	ST025			N	VARCHAR2	1		04:10の状態コード 1:修正済み	
32	状態コード026	ST026			N	VARCHAR2	1		04:20の状態コード 1:修正済み	
33	状態コード027	ST027			N	VARCHAR2	1		04:30の状態コード 1:修正済み	
34	状態コード028	ST028			N	VARCHAR2	1		04:40の状態コード 1:修正済み	
35	状態コード029	ST029			N	VARCHAR2	1		04:50の状態コード 1:修正済み	
36	状態コード030	ST030			N	VARCHAR2	1		05:00の状態コード 1:修正済み	
37	状態コード031	ST031			N	VARCHAR2	1		05:10の状態コード 1:修正済み	
38	状態コード032	ST032			N	VARCHAR2	1		05:20の状態コード 1:修正済み	
39	状態コード033	ST033			N	VARCHAR2	1		05:30の状態コード 1:修正済み	
40	状態コード034	ST034			N	VARCHAR2	1		05:40の状態コード 1:修正済み	
41	状態コード035	ST035			N	VARCHAR2	1		05:50の状態コード 1:修正済み	
42	状態コード036	ST036			N	VARCHAR2	1		06:00の状態コード 1:修正済み	
43	状態コード037	ST037			N	VARCHAR2	1		06:10の状態コード 1:修正済み	
44	状態コード038	ST038			N	VARCHAR2	1		06:20の状態コード 1:修正済み	
45	状態コード039	ST039			N	VARCHAR2	1		06:30の状態コード 1:修正済み	
46	状態コード040	ST040			N	VARCHAR2	1		06:40の状態コード 1:修正済み	
47	状態コード041	ST041			N	VARCHAR2	1		06:50の状態コード 1:修正済み	
48	状態コード042	ST042			N	VARCHAR2	1		07:00の状態コード 1:修正済み	
49	状態コード043	ST043			N	VARCHAR2	1		07:10の状態コード 1:修正済み	
50	状態コード044	ST044			N	VARCHAR2	1		07:20の状態コード 1:修正済み	
51	状態コード045	ST045			N	VARCHAR2	1		07:30の状態コード 1:修正済み	
52	状態コード046	ST046			N	VARCHAR2	1		07:40の状態コード 1:修正済み	
53	状態コード047	ST047			N	VARCHAR2	1		07:50の状態コード 1:修正済み	
54	状態コード048	ST048			N	VARCHAR2	1		08:00の状態コード 1:修正済み	
55	状態コード049	ST049			N	VARCHAR2	1		08:10の状態コード 1:修正済み	
56	状態コード050	ST050			N	VARCHAR2	1		08:20の状態コード 1:修正済み	
57	状態コード051	ST051			N	VARCHAR2	1		08:30の状態コード 1:修正済み	
58	状態コード052	ST052			N	VARCHAR2	1		08:40の状態コード 1:修正済み	
59	状態コード053	ST053			N	VARCHAR2	1		08:50の状態コード 1:修正済み	
60	状態コード054	ST054			N	VARCHAR2	1		09:00の状態コード 1:修正済み	
61	状態コード055	ST055			N	VARCHAR2	1		09:10の状態コード 1:修正済み	
62	状態コード056	ST056			N	VARCHAR2	1		09:20の状態コード 1:修正済み	
63	状態コード057	ST057			N	VARCHAR2	1		09:30の状態コード 1:修正済み	
64	状態コード058	ST058			N	VARCHAR2	1		09:40の状態コード 1:修正済み	
65	状態コード059	ST059			N	VARCHAR2	1		09:50の状態コード 1:修正済み	
66	状態コード060	ST060			N	VARCHAR2	1		10:00の状態コード 1:修正済み	
67	状態コード061	ST061			N	VARCHAR2	1		10:10の状態コード 1:修正済み	
68	状態コード062	ST062			N	VARCHAR2	1		10:20の状態コード 1:修正済み	
69	状態コード063	ST063			N	VARCHAR2	1		10:30の状態コード 1:修正済み	
70	状態コード064	ST064			N	VARCHAR2	1		10:40の状態コード 1:修正済み	
71	状態コード065	ST065			N	VARCHAR2	1		10:50の状態コード 1:修正済み	
72	状態コード066	ST066			N	VARCHAR2	1		11:00の状態コード 1:修正済み	
73	状態コード067	ST067			N	VARCHAR2	1		11:10の状態コード 1:修正済み	
74	状態コード068	ST068			N	VARCHAR2	1		11:20の状態コード 1:修正済み	
75	状態コード069	ST069			N	VARCHAR2	1		11:30の状態コード 1:修正済み	
76	状態コード070	ST070			N	VARCHAR2	1		11:40の状態コード 1:修正済み	
77	状態コード071	ST071			N	VARCHAR2	1		11:50の状態コード 1:修正済み	
78	状態コード072	ST072			N	VARCHAR2	1		12:00の状態コード 1:修正済み	
79	状態コード073	ST073			N	VARCHAR2	1		12:10の状態コード 1:修正済み	
80	状態コード074	ST074			N	VARCHAR2	1		12:20の状態コード 1:修正済み	

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータ状態テーブル	テーブルID	MPST						

※画面でMPデータ修正用テーブルが修正された場合、該当箇所「1:修正済」を設定。データ取込時に存在した場合はクリアする

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
81	状態コード075	ST075			N	VARCHAR2	1		12:30の状態コード 1:修正済み	
82	状態コード076	ST076			N	VARCHAR2	1		12:40の状態コード 1:修正済み	
83	状態コード077	ST077			N	VARCHAR2	1		12:50の状態コード 1:修正済み	
84	状態コード078	ST078			N	VARCHAR2	1		13:00の状態コード 1:修正済み	
85	状態コード079	ST079			N	VARCHAR2	1		13:10の状態コード 1:修正済み	
86	状態コード080	ST080			N	VARCHAR2	1		13:20の状態コード 1:修正済み	
87	状態コード081	ST081			N	VARCHAR2	1		13:30の状態コード 1:修正済み	
88	状態コード082	ST082			N	VARCHAR2	1		13:40の状態コード 1:修正済み	
89	状態コード083	ST083			N	VARCHAR2	1		13:50の状態コード 1:修正済み	
90	状態コード084	ST084			N	VARCHAR2	1		14:00の状態コード 1:修正済み	
91	状態コード085	ST085			N	VARCHAR2	1		14:10の状態コード 1:修正済み	
92	状態コード086	ST086			N	VARCHAR2	1		14:20の状態コード 1:修正済み	
93	状態コード087	ST087			N	VARCHAR2	1		14:30の状態コード 1:修正済み	
94	状態コード088	ST088			N	VARCHAR2	1		14:40の状態コード 1:修正済み	
95	状態コード089	ST089			N	VARCHAR2	1		14:50の状態コード 1:修正済み	
96	状態コード090	ST090			N	VARCHAR2	1		15:00の状態コード 1:修正済み	
97	状態コード091	ST091			N	VARCHAR2	1		15:10の状態コード 1:修正済み	
98	状態コード092	ST092			N	VARCHAR2	1		15:20の状態コード 1:修正済み	
99	状態コード093	ST093			N	VARCHAR2	1		15:30の状態コード 1:修正済み	
100	状態コード094	ST094			N	VARCHAR2	1		15:40の状態コード 1:修正済み	
101	状態コード095	ST095			N	VARCHAR2	1		15:50の状態コード 1:修正済み	
102	状態コード096	ST096			N	VARCHAR2	1		16:00の状態コード 1:修正済み	
103	状態コード097	ST097			N	VARCHAR2	1		16:10の状態コード 1:修正済み	
104	状態コード098	ST098			N	VARCHAR2	1		16:20の状態コード 1:修正済み	
105	状態コード099	ST099			N	VARCHAR2	1		16:30の状態コード 1:修正済み	
106	状態コード100	ST100			N	VARCHAR2	1		16:40の状態コード 1:修正済み	
107	状態コード101	ST101			N	VARCHAR2	1		16:50の状態コード 1:修正済み	
108	状態コード102	ST102			N	VARCHAR2	1		17:00の状態コード 1:修正済み	
109	状態コード103	ST103			N	VARCHAR2	1		17:10の状態コード 1:修正済み	
110	状態コード104	ST104			N	VARCHAR2	1		17:20の状態コード 1:修正済み	
111	状態コード105	ST105			N	VARCHAR2	1		17:30の状態コード 1:修正済み	
112	状態コード106	ST106			N	VARCHAR2	1		17:40の状態コード 1:修正済み	
113	状態コード107	ST107			N	VARCHAR2	1		17:50の状態コード 1:修正済み	
114	状態コード108	ST108			N	VARCHAR2	1		18:00の状態コード 1:修正済み	
115	状態コード109	ST109			N	VARCHAR2	1		18:10の状態コード 1:修正済み	
116	状態コード110	ST110			N	VARCHAR2	1		18:20の状態コード 1:修正済み	
117	状態コード111	ST111			N	VARCHAR2	1		18:30の状態コード 1:修正済み	
118	状態コード112	ST112			N	VARCHAR2	1		18:40の状態コード 1:修正済み	
119	状態コード113	ST113			N	VARCHAR2	1		18:50の状態コード 1:修正済み	
120	状態コード114	ST114			N	VARCHAR2	1		19:00の状態コード 1:修正済み	
121	状態コード115	ST115			N	VARCHAR2	1		19:10の状態コード 1:修正済み	
122	状態コード116	ST116			N	VARCHAR2	1		19:20の状態コード 1:修正済み	
123	状態コード117	ST117			N	VARCHAR2	1		19:30の状態コード 1:修正済み	
124	状態コード118	ST118			N	VARCHAR2	1		19:40の状態コード 1:修正済み	
125	状態コード119	ST119			N	VARCHAR2	1		19:50の状態コード 1:修正済み	
126	状態コード120	ST120			N	VARCHAR2	1		20:00の状態コード 1:修正済み	
127	状態コード121	ST121			N	VARCHAR2	1		20:10の状態コード 1:修正済み	
128	状態コード122	ST122			N	VARCHAR2	1		20:20の状態コード 1:修正済み	
129	状態コード123	ST123			N	VARCHAR2	1		20:30の状態コード 1:修正済み	
130	状態コード124	ST124			N	VARCHAR2	1		20:40の状態コード 1:修正済み	
131	状態コード125	ST125			N	VARCHAR2	1		20:50の状態コード 1:修正済み	
132	状態コード126	ST126			N	VARCHAR2	1		21:00の状態コード 1:修正済み	
133	状態コード127	ST127			N	VARCHAR2	1		21:10の状態コード 1:修正済み	
134	状態コード128	ST128			N	VARCHAR2	1		21:20の状態コード 1:修正済み	
135	状態コード129	ST129			N	VARCHAR2	1		21:30の状態コード 1:修正済み	
136	状態コード130	ST130			N	VARCHAR2	1		21:40の状態コード 1:修正済み	
137	状態コード131	ST131			N	VARCHAR2	1		21:50の状態コード 1:修正済み	
138	状態コード132	ST132			N	VARCHAR2	1		22:00の状態コード 1:修正済み	
139	状態コード133	ST133			N	VARCHAR2	1		22:10の状態コード 1:修正済み	
140	状態コード134	ST134			N	VARCHAR2	1		22:20の状態コード 1:修正済み	
141	状態コード135	ST135			N	VARCHAR2	1		22:30の状態コード 1:修正済み	
142	状態コード136	ST136			N	VARCHAR2	1		22:40の状態コード 1:修正済み	
143	状態コード137	ST137			N	VARCHAR2	1		22:50の状態コード 1:修正済み	
144	状態コード138	ST138			N	VARCHAR2	1		23:00の状態コード 1:修正済み	
145	状態コード139	ST139			N	VARCHAR2	1		23:10の状態コード 1:修正済み	
146	状態コード140	ST140			N	VARCHAR2	1		23:20の状態コード 1:修正済み	
147	状態コード141	ST141			N	VARCHAR2	1		23:30の状態コード 1:修正済み	
148	状態コード142	ST142			N	VARCHAR2	1		23:40の状態コード 1:修正済み	
149	状態コード143	ST143			N	VARCHAR2	1		23:50の状態コード 1:修正済み	
150	状態コード144	ST144			N	VARCHAR2	1		24:00の状態コード 1:修正済み	
151	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
152	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
153	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム	テーブル定義	版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--------	----	----	-----

テーブル名	MPデータエラー情報テーブル	テーブルID	MPER				
-------	----------------	--------	------	--	--	--	--

※エラー情報を登録

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0:未削除、1:削除済	
2	取込日時	IMPDATE	1		Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
3	取込時刻	IMP TIME	2		Y	VARCHAR2	6		HHMMSS	
4	取込連番	IMPNO	3		Y	NUMBER	10			
5	エラー処理日時	ERRDATE			Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
6	エラー処理時刻	ERR TIME			Y	VARCHAR2	6		HHMMSS	
7	エラー都道府県コード	ERRPREFCODE			N	VARCHAR2	4			
8	エラーMPコード	ERRMPCODE			N	VARCHAR2	4			
9	エラーファイル名	ERRFILENM			N	VARCHAR2	20			
10	エラー行番号	ERRROWNO			Y	NUMBER	5			
11	エラーコード	ERRCODE			Y	VARCHAR2	6			
12	エラー情報	ERRMSG			N	VARCHAR2	200			
13	行の種類コード	SHUCODE			N	VARCHAR2	4			※入力データバイト数×2
14	都道府県コード	PREFCODE			N	VARCHAR2	4			※入力データバイト数×2
15	ポストの識別コード	IMPCODE			N	VARCHAR2	4			※入力データバイト数×2
16	測定終了年月日	SOKDATE			N	VARCHAR2	20			※入力データバイト数×2
17	測定終了時刻	SOK TIME			N	VARCHAR2	10			※入力データバイト数×2
18	測定器の状態コード	STSCODE			N	VARCHAR2	2			※入力データバイト数×2
19	データ積算時間	DTSEKI			N	VARCHAR2	6			※入力データバイト数×2
20	線量率(μ Gy/h)	SENRYO			N	VARCHAR2	20			※入力データバイト数×2
21	計数率(cps)	KEISU			N	VARCHAR2	20			※入力データバイト数×2
22	備考	BIKO			N	VARCHAR2	200			
23	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
24	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
25	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム	テーブル定義	版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--------	----	----	-----

テーブル名	MPデータその他情報テーブル	テーブルID	MPOT				
-------	----------------	--------	------	--	--	--	--

※入力データの行の種別コードが「00」の場合、または備考が存在する場合に作成する。既に存在する場合は上書き

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0:未削除、1:削除済	
2	行の種別コード	SHUCODE	1		Y	VARCHAR2	2			
3	都道府県コード	PREFCODE	2		Y	VARCHAR2	2			
4	ポストの識別コード	MPCODE	3		Y	VARCHAR2	2			
5	測定終了年月日	SOKDATE	4		Y	VARCHAR2	8		YYYYMMDD	
6	測定終了時刻	SOKTIME	5		Y	VARCHAR2	4		HHMM	
7	測定器の状態コード	STSCODE			N	VARCHAR2	1			
8	データ積算時間	DTSEKI			N	VARCHAR2	3			
9	線量率(μ Gy/h)	SENRYO			N	NUMBER	5	4		
10	計数率(cps)	KEISU			N	NUMBER	5	4		
11	備考	BIKO			N	VARCHAR2	200			
12	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
13	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
14	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書				モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名	MPデータメール送信テーブル	テーブルID	MPML							
※メール送信機能でメール送信する都道府県を管理する										
No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG			N	VARCHAR2	1		0: 未削除、1: 削除済	
2	都道府県コード	PREFCODE	1		Y	VARCHAR2	2		都道府県コード、“99”はFTP送信エラーメールのコードに使用	
3	メール送信有無フラグ	MLFLG			Y	VARCHAR2	1		0: 送信有、1: 送信無	
4	メール送信停止日時	STOPDATE			Y	VARCHAR2	10		YYYYMMDDHH("00"時形式)	
5	登録年月日時分	ATIME			N	VARCHAR2	12			
6	更新年月日時分	UTIME			N	VARCHAR2	12			
7	ユニークキー	DTIME			N	VARCHAR2	12			

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム			テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名		MP情報(共通)		テーブルID		RADDEF				
※共通のMP情報を管理する										
No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG				VARCHAR2	1	0		
2	定義タイプ	DEFTYPE	1		Y	VARCHAR2	2	0	(固定値:01)	
3	測定番号	DEF01				VARCHAR2	64	0		
4	集計番号	DEF02				VARCHAR2	64	0		
5	都道府県コード	DEF03				VARCHAR2	64	0		
6	都道府県名	DEF04				VARCHAR2	64	0		
7	報告書発行機関	DEF05				VARCHAR2	64	0		
8	測定機関	DEF06				VARCHAR2	64	0		
9	調査名コード	DEF07				VARCHAR2	64	0		
10	調査名	DEF08				VARCHAR2	64	0		
11	記載試料名	DEF09				VARCHAR2	64	0		
12	試料種別コード	DEF10				VARCHAR2	64	0		
13	試料種別	DEF11				VARCHAR2	64	0		
14	試料コード	DEF12				VARCHAR2	64	0		
15	試料名称	DEF13				VARCHAR2	64	0		
16	測定年	DEF14				VARCHAR2	64	0		
17	測定年度	DEF15				VARCHAR2	64	0		
18	測定地点	DEF16				VARCHAR2	64	0		
19	測定地点コード	DEF17				VARCHAR2	64	0		
20	測定地点(緯度)	DEF18				VARCHAR2	64	0		
21	測定地点(経度)	DEF19				VARCHAR2	64	0		
22	場所	DEF20				VARCHAR2	64	0		
23	高さ	DEF21				VARCHAR2	64	0		
24	高さ単位	DEF22				VARCHAR2	64	0		
25	測定器	DEF23				VARCHAR2	64	0		
26	宇宙線含除	DEF24				VARCHAR2	64	0		
27	集計単位(名称)	DEF25				VARCHAR2	64	0		
28	核種コード	DEF26				VARCHAR2	64	0		
29	核種名	DEF27				VARCHAR2	64	0		
30	測定フラグ	DEF28				VARCHAR2	64	0		
31	測定四半期	DEF29				VARCHAR2	64	0		
32	測定月	DEF30				VARCHAR2	64	0		
33	測定開始日	DEF31				VARCHAR2	64	0		
34	測定開始時刻	DEF32				VARCHAR2	64	0		
35	測定終了日	DEF33				VARCHAR2	64	0		
36	測定終了時刻	DEF34				VARCHAR2	64	0		
37	測定時間	DEF35				VARCHAR2	64	0		
38	測定時間単位	DEF36				VARCHAR2	64	0		
39	入力値(最大)	DEF37				VARCHAR2	64	0		
40	入力値(最小)	DEF38				VARCHAR2	64	0		
41	入力値(平均)	DEF39				VARCHAR2	64	0		
42	入力値単位	DEF40				VARCHAR2	64	0		
43	測定値(最大)	DEF41				VARCHAR2	64	0		
44	測定値(最小)	DEF42				VARCHAR2	64	0		
45	測定値(平均)	DEF43				VARCHAR2	64	0		
46	測定値単位コード	DEF44				VARCHAR2	64	0		
47	測定値単位	DEF45				VARCHAR2	64	0		
48	測定値文字列(最大)	DEF46				VARCHAR2	64	0		
49	測定値文字列(最小)	DEF47				VARCHAR2	64	0		
50	測定値文字列(平均)	DEF48				VARCHAR2	64	0		
51	測定値単位文字列	DEF49				VARCHAR2	64	0		
52	報告書コード	DEF50				VARCHAR2	64	0		
53	報告書名	DEF51				VARCHAR2	64	0		
54	ページ情報	DEF52				VARCHAR2	64	0		
55	備考	DEF53				VARCHAR2	64	0		
56	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2	12	0		
57	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2	12	0		
58	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2	12	0		

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義	版数	日付	作成者
テーブル名	放射線測定データ	テーブルID	RADMPDT					

※放射線測定データを管理する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG				VARCHAR2	1	0		
2	行の種類コード	SHUCODE	1		Y	VARCHAR2	2	0		
3	都道府県コード	PREFCODE	2		Y	VARCHAR2	2	0		
4	ポストの識別コード	MPCODE	3		Y	VARCHAR2	2	0		
5	測定終了年月日	SOKDATE	4		Y	VARCHAR2	8	0		
6	項目コード	KMKCODE	5		Y	VARCHAR2	2	0		
7	測定結果001	DT001				NUMBER	10	4		
8	測定結果002	DT002				NUMBER	10	4		
9	測定結果003	DT003				NUMBER	10	4		
10	測定結果004	DT004				NUMBER	10	4		
途中省略		DT005~DT142 : 測定結果005~測定結果142								
11	測定結果143	DT143				NUMBER	10	4		
12	測定結果144	DT144				NUMBER	10	4		
13	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2	12	0		
14	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2	12	0		
15	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2	12	0		

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム	テーブル定義	版数	日付	作成者
テーブル名	コード名称データ管理テーブル	テーブルID	ZJCDN				

※コードと名称の対応を管理する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG				VARCHAR2	1	0		
2	名称区分コード	NAMEKBN	1		Y	VARCHAR2	5	0		
3	コ-文字	CODE	2		Y	VARCHAR2	8	0		
4	有効日時(終了)	YUKOENDT				VARCHAR2	10	0		
5	有効日時(開始)	YUKOSTRT	3		Y	VARCHAR2	10	0		
6	正文字	NAME				VARCHAR2	32	0		
7	略文字	NAMER				VARCHAR2	16	0		
8	半角名	NAMEH				VARCHAR2	18	0		
9	FeinsDate1	ATIMIF				VARCHAR2	12	0		
10	FeinsDate2	UTIMIF				VARCHAR2	12	0		
11	FeinsKey	DTIMIF				VARCHAR2	12	0		

システム設計書			モニタリングポストデータオンライン収集システム	テーブル定義	版数	日付	作成者
---------	--	--	-------------------------	--------	----	----	-----

テーブル名	基準値等管理テーブル	テーブルID	ZJKJN
-------	------------	--------	-------

※各機能でデータ値を比較する場合の、基準値と色の対応等の条件を管理する

No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	削除フラグ	DELFLG				VARCHAR2		1		
2	適用区分コード	TEKIKBN	1		Y	VARCHAR2		2		
3	局コード	KYKCODE	2		Y	VARCHAR2		3		
4	局区分コード	KYKKBN	3		Y	VARCHAR2		1		
5	施設コード	SISCODE	4		Y	VARCHAR2		2		
6	項目コード	KMKCODE	5		Y	VARCHAR2		2		
7	項目区分コード	KMKKBN	6		Y	VARCHAR2		1		
8	有効日時(終了)	YUKOENDT				VARCHAR2		10		
9	有効日時(開始)	YUKOSTRT	7		Y	VARCHAR2		10		
10	基準値適用範囲(局下限)	KJNTKLOW				VARCHAR2		3		
11	基準値適用範囲(局上限)	KJNTKUPP				VARCHAR2		3		
12	欠測値の色	KJNMARKA				VARCHAR2		6		
13	注意値の色	KJNMARKB				VARCHAR2		6		
14	基準値1(マーク)	KJNMARK1				VARCHAR2		6		
15	基準値2(マーク)	KJNMARK2				VARCHAR2		6		
16	基準値3(マーク)	KJNMARK3				VARCHAR2		6		
17	基準値4(マーク)	KJNMARK4				VARCHAR2		6		
18	基準値5(マーク)	KJNMARK5				VARCHAR2		6		
19	基準値6(マーク)	KJNMARK6				VARCHAR2		6		
20	基準値7(マーク)	KJNMARK7				VARCHAR2		6		
21	基準値1(上限値)	KJNUPP1				NUMBER		11	3	
22	基準値2(上限値)	KJNUPP2				NUMBER		11	3	
23	基準値3(上限値)	KJNUPP3				NUMBER		11	3	
24	基準値4(上限値)	KJNUPP4				NUMBER		11	3	
25	基準値5(上限値)	KJNUPP5				NUMBER		11	3	
26	基準値6(上限値)	KJNUPP6				NUMBER		11	3	
27	基準値7(上限値)	KJNUPP7				NUMBER		11	3	
28	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2		12		
29	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2		12		
30	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2		12		

システム設計書				モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名		フィールド定義		テーブルID		ZZFLDDEF				
※テーブルのフィールド情報等を管理する										
No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2	12			
2	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2	12			
3	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2	12			
4	システム種別	SYSTYPE	1		Y	VARCHAR2	2			
5	テーブルID	TBLID	2		Y	VARCHAR2	8			
6	フィールドID	FLDID	4		Y	VARCHAR2	8			
7	フィールド名称	FLDNAME				VARCHAR2	80			
8	データ単位	UNIT				VARCHAR2	30			
9	フィールド形式	FLDTYPE				VARCHAR2	1			
10	フィールド全体幅	FLDWIDTH				NUMBER	4	0		
11	フィールド小数部桁数	FLDDEC				NUMBER	2	0		
12	フィールド属性	FLDATTR				VARCHAR2	1			
13	表示順序	DSPSEQ	3		Y	VARCHAR2	3			
14	フィールド属性定義	FLDATDEF				VARCHAR2	2			
15	必須区分	MISS				VARCHAR2	1			
16	範囲チェックフラグ	CBFLG				VARCHAR2	1			
17	範囲チェック下限値	CBUNDER				VARCHAR2	12			
18	範囲チェック上限値	CBUPPER				VARCHAR2	12			
19	コード参照フラグ	RFFLG				VARCHAR2	1			
20	コード参照定義	RFDEF				VARCHAR2	128			
21	名称表示フラグ	NAFLG				VARCHAR2	1			
22	名称表示定義	NADEF				VARCHAR2	128			
23	関連チェックフラグ	CDFLG				VARCHAR2	1			
24	関連チェック定義	CDDEF				VARCHAR2	64			
25	大小比較チェックフラグ	CCFLG				VARCHAR2	1			
26	大小比較演算定義	CCDEF				VARCHAR2	2			
27	比較フィールドID	CCFLDID				VARCHAR2	8			
28	項目種別	CRFLG				VARCHAR2	2			
29	自動設定種別	AUTYPE				VARCHAR2	2			
30	自動設定定義	AUDEF				VARCHAR2	400			
31	テーブル内自動設定フラグ	AUNFLG				VARCHAR2	1			
32	テーブル内自動設定定義	AUNDEF				VARCHAR2	64			
33	テーブル間自動設定フラグ	AUBFLG				VARCHAR2	1			
34	テーブル間自動設定定義	AUBDEF				VARCHAR2	64			
35	複写項目フラグ	CPFLG				VARCHAR2	1			
36	初期値設定フラグ	INIFLG				VARCHAR2	2			
37	初期値設定定義	INIDEF				VARCHAR2	128			
38	一覧表表示有無フラグ	LSTDSP				VARCHAR2	1			

システム設計書				モニタリングポストデータオンライン収集システム		テーブル定義		版数	日付	作成者
テーブル名		テーブル管理		テーブルID		ZZTBLMNG				
※システムで利用するテーブルを管理する										
No.	項目名	項目名(英名)	識別キー	外部参照キー	NOT NULL 属性	型	桁数		説明	備考 (インデックス)
							整数	小数		
1	FeinsDate1	ATIME				VARCHAR2	12			
2	FeinsDate2	UTIME				VARCHAR2	12			
3	FeinsKey	DTIME				VARCHAR2	12			
4	システム種別	SYSTYPE	1		Y	VARCHAR2	2			
5	テーブルID	TBLID	2		Y	VARCHAR2	8			
6	ケースID	CASEID	3		Y	VARCHAR2	6			
7	テーブル名	TBLNAME				VARCHAR2	24			
8	ファイル管理元種別	FILETYPE				VARCHAR2	1			
9	位置種別	MAPTYPE				VARCHAR2	2			
10	時系列種別	TIMETYPE				VARCHAR2	2			
11	管理者ID	MNGID				VARCHAR2	8			
12	参照者ID	READID				VARCHAR2	64			
13	一般利用許可レベル	USELEVEL				VARCHAR2	1			
14	サーバDB更新年月日時分	STIME				VARCHAR2	12			
15	ローカルDB更新年月日時分	LTIME				VARCHAR2	12			
16	ローカルファイル更新年月日時分	FTIME				VARCHAR2	12			
17	サーバDBテーブル名	STBLNAME				VARCHAR2	16			
18	ローカルDBテーブル名	LTBLNAME				VARCHAR2	16			
19	ローカル一般ファイル名	FTBLNAME				VARCHAR2	64			
20	利用フラグ	USEFLG				VARCHAR2	1			
21	キーフィールド定義	KEYDEF				VARCHAR2	64			
22	時系列フィールド定義	TIMDEF				VARCHAR2	40			
23	位置フィールド定義	MAPDEF				VARCHAR2	64			
24	位置システム種別	MAPSYS				VARCHAR2	2			
25	位置テーブルID	MAPTBLID				VARCHAR2	8			
26	位置ケースID	MAPCASE				VARCHAR2	6			

令和 6 年度～令和 1 1 年度原子力施設等防
災対策等委託費（環境放射線データベース
等に係るシステム更改及び運用・管理業
務）事業

応札資料作成要領

令和 5 年 1 2 月
原子力規制庁

目 次

第 1 章 原子力規制庁が応札者に提示する資料及び応札者が提出すべき資料等

第 2 章 評価項目一覧に係る内容の作成要領

- 2.1 評価項目一覧の構成
- 2.2 遵守確認事項
- 2.3 提案要求事項
- 2.4 添付資料

第 3 章 提案書に係る内容の作成要領及び説明

- 3.1 提案書の構成及び記載事項
- 3.2 提案書様式
- 3.3 応札者による提案書の説明（プレゼンテーション）
- 3.4 留意事項

第 4 章 提案書雛形

- 4.1 提案書雛形を利用するに当たっての留意事項
- 4.2 提案書雛形
- 4.3 工数

第 5 章 補足情報

- 5.1 提案書作成に当たっての補足情報

第 6 章 見積書

- 6.1 見積書の作成方法

第 7 章 別紙

- 7.1 (別紙 1) 提案書雛形
- 7.2 (別紙 2) 質問状
- 7.3 (別紙 3) 見積書様式
- 7.4 (別紙 4 - 1) 従業員への賃金引き上げ計画の表明書（大企業用）
- 7.5 (別紙 4 - 2) 従業員への賃金引き上げ計画の表明書（中小企業等用）

本書は、令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業の作成要領等を取りまとめたものである。

第1章 原子力規制庁が応札者に提示する資料及び応札者が提出すべき資料等

原子力規制庁は応札者に以下の表1に示す資料を提示する。応札者は、それを受け、以下の表2に示す資料を作成し、原子力規制庁へ提示する。

開札後、落札者は表3に示す資料を、ただちに原子力規制庁長官官房放射線防護グループ監視情報課放射線環境対策室へ提出する。

[表1 原子力規制庁が応札者に提示する資料]

資料名称	資料内容
① 入札仕様書	本調達の対象である令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業の仕様を記述（事業の目的・内容等）。
② 応札資料作成要領	応札者が、評価項目一覧及び提案書に記載すべき項目の概要や提案書の雛形等を記述。
③ 評価項目一覧	提案書に記載すべき提案要求事項一覧、必須項目及び任意項目の区分、得点配分等を記述。
④ 評価手順書	原子力規制庁が応札者の提案を評価する場合に用いる評価方式、総合評価点の算出方法及び評価基準等を記述。

[表2 応札者が原子力規制庁に提示する資料]

資料名称	資料内容
① 評価項目一覧の遵守確認欄及び提案書頁番号欄に必要事項を記入したもの	仕様書に記述された要件一覧を遵守又は達成するか否かに関し、遵守確認欄に「○」「×」を記入し、提案書頁番号欄に、該当する提案書の頁番号を記入したもの。 詳細説明は第2章を参照。
② 提案書	仕様書に記述された要求仕様をどのように実現するかを提案書にて説明したもの。主な項目は以下のとおり。 ・ 応札者が提案する、調査事業の内容、体制、波及効果等 ・ 実施計画 ・ 業務実施者の資格、確保 ・ 補足資料(応札者の実績の詳細)等 詳細説明は第3章を参照。

[表 3 落札者が原子力規制庁に提出する資料]

資料名称	資料内容
①見積書及び単価設定の根拠資料	入札金額の内訳を記入したもの。 単価設定の根拠資料も併せて提出すること。 詳細説明は第 6 章を参照。

第 2 章 評価項目一覧に係る内容の作成要領

2.1 評価項目一覧の構成

評価項目一覧の構成及び概要説明を以下に記す。

[表 4 評価項目一覧の構成の説明]

評価項目一覧における項番	事項	概要説明
0	遵守確認事項	令和 6 年度～令和 11 年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業を実施する上で遵守すべき事項。これら事項に係る具体的内容の提案は求めず、全ての項目についてこれを遵守する旨を記述する。
1～5	提案要求事項	提案を要求する事項。これら事項については、応札者が提出した提案書について、各提案要求項目の必須項目及び任意項目の区分け、得点配分の定義に従いその内容を評価する。 例：調査事業の内容、実施計画、資格・能力、実績等。
6	添付資料	応札者が作成した提案の詳細を説明するための資料。これら自体は、直接評価されて点数が付与されることはない。 例：実施体制及び担当者略歴、会社としての実績及び費用等。

2.2 遵守確認事項

評価項目一覧中の遵守確認事項における各項目の説明を以下に示す。

応札者は、別添「評価項目一覧－遵守確認事項－」における「遵守確認」欄に必要事項を記載すること。遵守確認事項の各項目の説明に関しては、表 5 を参照すること。

[表 5 遵守確認事項上の各項目の説明]

項目名	項目説明・記入要領	記入者
大項目～細項目	遵守確認事項の分類	原子力規制庁
内容説明	遵守すべき事項の内容	原子力規制庁
遵守確認	応札者は、遵守確認事項を実現・遵守可能である場合は「○」を、実現・遵守不可能な場合（実現・遵守の範囲等について限定、確認及び調整	応札者

	等が必要な場合等を含む)には「×」を記載する。	
--	-------------------------	--

2.3 提案要求事項

評価項目一覧中の提案要求事項における各項目の説明を以下に示す。

応札者は、別添「評価項目一覧－提案要求事項一覧－」における「提案書頁番号」欄に必要事項を記載すること。提案要求事項の各項目の説明に関しては、表6を参照すること。

[表6 提案要求事項上の各項目の説明]

項目名	項目説明・記入要領	記入者
大項目～細項目	提案書の目次（提案要求事項の分類）	原子力規制庁
提案要求事項	応札者に提案を要求する内容	原子力規制庁
評価区分	必ず提案すべき項目（必須）又は必ずしも提案する必要は無い項目（任意）の区分を設定している。 各項目について、記述があった場合、その内容に応じて配点を行う。	原子力規制庁
得点配分	各項目に対する最大加点	原子力規制庁
雛形頁番号	（別紙1）提案書雛形*における雛形（※）の頁	原子力規制庁
提案書頁番号	作成した提案書における該当頁番号を記載する。該当する提案書の頁が存在しない場合には空欄とする。評価者は各提案要求事項について、本欄に記載された頁のみを対象として採点を行う。	応札者

※応札者が提案書を作成する際に、参考とすることが可能な提案書の雛形。提案要求事項毎の記述内容、評価の観点等が記載されている。詳細は本応札資料作成要領第4章を参照のこと。

2.4 添付資料

評価項目一覧中の添付資料における各項目の説明を以下に示す。

[表7 添付資料上の各項目の説明]

項目名	項目説明・記入要領	記入者
大項目～小項目	提案書の目次（提案要求事項の分類）	原子力規制庁
資料内容	応札者に提案を要求する内容	原子力規制庁
提案の要否	必ず提案すべき項目（必須）又は必ずしも提案する必要は無い項目（任意）の区分を設定している。 提案要求事項とは異なり、採点の対象とはしない。	原子力規制庁
雛形頁番号	（別紙1）提案書雛形*における雛形の頁	原子力規制庁
提案書頁番号	作成した提案書における該当頁番号を記載する。該当する提案書の頁が存在しない場合には空欄とする。	応札者

第3章 提案書に係る内容の作成要領及び説明

3.1 提案書の構成及び記載事項

以下に、別添「評価項目一覧」から[提案書の目次]の大項目を抜粋したものと並び求められる提案要求事項の概要を示す(表8)。提案書は、表8の項番、項目内容に従い、提案要求内容を十分に咀嚼した上で記述すること。

なお、目次及び要求事項の詳細は、別添「評価項目一覧」を参照すること。また、各提案要求事項及び補足資料の記述内容については、同じく別添「評価項目一覧」で指定されている別添「提案書雛形」を参照すること。

[表8 提案書目次]

提案書 目次項番	大項目	提案要求事項の概要説明
1	調査事業の実施 方針	原子力規制庁が令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費(環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務)事業の調達に至った背景や本事業の目的等を踏まえた、調査内容の妥当性、独自性、調査方法の妥当性、独創性、作業計画の妥当性、効率性等。
2	事業実施体制	組織の類似調査業務の経験、組織の調査実施能力、事業遂行のための経営基盤・管理体制・技術基盤等。
3	事業従事予定者の 能力	事業従事予定者の調査内容に関する専門知識・適格性等。
4	ワークバランス 等の推進	ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等取得状況等。
5	企業等の賃上げ の実施	事業年度(又は暦年)における賃上げの状況等
6	添付資料	組織の概要、事業内容等、用語解説等の補足説明、事業実施に係る工数、情報セキュリティの確保。

3.2 提案書様式

- ① 提案書は第4章「提案書雛形」に提示する項目及び様式等を参考にして記述する。
- ② 提案書及び評価項目一覧は、原則としてA4版・両面とする。
- ③ 提出物は、電子調達システム、電子メール、持参又は郵送(提出期限必着)での提出による。

電子媒体で送付する場合には、原則として、一太郎、MS-Word、MS-PowerPoint、MS-Excel又はPDF形式とする(これに抛りがたい場合は、原子力規制庁まで申し出ること)。郵送する場合には、5部用意の上、郵送手段は書留郵便等の配達記録が残るものに限ること。

3.3 応札者による提案書の説明（プレゼンテーション）

- ① 応札者は、原子力規制庁に対し自らの提案内容の説明（プレゼンテーション）を行う。
- ② 応札者が当該説明（プレゼンテーション）を行うに当たっては、説明者のクラス（肩書き）は問わないこととし、原子力規制庁内会議室にて説明（プレゼンテーション）を行う。
- ③ 当該説明（プレゼンテーション）の日時等については、入札締切（提案書受領期限）後に原子力規制庁と応札者とで別途調整する。また、説明（プレゼンテーション）の時間は、現時点では1社当たり概ね1時間程度（質疑応答を含む）を想定している。
- ④ 説明（プレゼンテーション）に当たっては、与えられた時間を踏まえ、必要に応じて提案書とは別に要約版資料を用意するなど、効率的な実施のために工夫する。

3.4 留意事項

- ① 提案書を評価する者が特段の専門的な知識や商品に関する一切の知識を有しなくても評価が可能な提案書を作成する。なお、必要に応じて、用語解説などを添付する。
- ② 提案に当たって、特定の製品を採用する場合は、当該製品を採用する理由を提案書中に記載するとともに、記載内容を証明及び補足するもの（製品紹介、パンフレット、比較表等）を添付する。
- ③ 応札者は提案の際、提案内容についてより具体的・客観的な詳細説明を行うための資料を、添付資料として提案書に含めることができる（その際、提案書本文と添付資料の対応が取れるようにする）。
- ④ 原子力規制庁から連絡が取れるよう、提案書には連絡先（電話番号、及びメールアドレス）を明記する。
- ⑤ 提出物を作成するに際しての質問等を行う必要がある場合には、別紙2の質問状に必要事項を記載の上、**令和6年2月20日（火）17時**までにメールで原子力規制庁長官官房放射線防護グループ監視情報課放射線環境対策室、須藤、伊藤（kankyotaisaku@nra.go.jp）あてに提出する。
- ⑥ 上記の提案書構成、様式及び留意事項に従った提案書ではないと原子力規制庁が判断した場合は、提案書の評価を行わないことがある。また、補足資料の提出や補足説明等を求める場合がある。

第4章 提案書雛形

4.1 提案書雛形を利用するに当たっての留意事項

提案書雛形では、提案書に含めるべき記述内容と記述例および基礎点と加点の評価観点を提示する。応札者は、提案書雛形を参考として提案書を作成することができるが、以下に留意する必要がある。

- ・ 応札者は、最低限、提案書雛形に提示された項目（詳細は、提案書雛形の見方を参照）を提案書に含めなければならない。
- ・ 具体的な表記方法に関しては、応札者が必要と判断した場合は、当雛形への完全な遵守を求めるものではない。

なお、提案書の各提案要求事項に対し、どの提案書雛形を参考にすることが出来るかは別添「評価項目一覧」にて、提示する。

4.2 提案書雛形

具体的な提案書雛形の内容は別紙1を参照。

4.3 工数

提案書雛形P13の書式に従って、入札仕様書における業務の中項目単位で、業務実施者のクラス（例：主任研究員、研究員等）別の工数を提出すること。

第5章 補足情報

5.1 提案書作成に当たっての補足情報

第6章 見積書

6.1 見積書の作成方法

落札者に対しては、提示された入札価格の積算内訳（単価及び数量）を別紙3の見積書様式を参考に作成のうえ提出すること。

人件費単価は、研究者等のクラス別時間単価、もしくは支払実績時間単価を設定する。単価設定の根拠資料として、研究者等のクラス別時間単価の場合は、単価表及び単価設定の考え方を、支払実績時間単価の場合は、支払実績の内訳及び理論総労働時間を提出すること。

事業費単価は、委員会開催経費（謝金、交通費等）、事業の実施に必要となる機器、ソフトウェア等の利用料金や借室料等を内訳単位で設定する。

単価設定の根拠資料として、単価に採用した内部規定や参考見積等を提出すること。

第7章 別紙

7.1 (別紙 1) 提案書雛形 別紙

7.2 (別紙 2) 質問状

社名			
住所			
TEL		Mail	
質問者			
質問に関連する文書名及び頁			
質問内容			

7.3 (別紙3) 見積書様式

令和 年 月 日

※開札日又は開札日以降

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住所

商号又は名称

代表者氏名

見積書

下記のとおりお見積り申し上げます。

記

1. 件 名 令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業
※仕様書記載の正式な件名とする。

2. 見積金額 〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円
(うち消費税及び地方消費税額 〇〇〇, 〇〇〇円を含む)
※消費税込額として、消費税を別表示する。

内訳は別紙のとおり

担当者等連絡先

部署名：

責任者名：

担当者名：

TEL：

E-mail：

(別紙)

令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費
 (環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務) 事業

区分	内訳	金額	積算内訳
1. 人件費	主席研究員 主任研究員 研究員	00,000,000 z,zzz,zzz	@ xx,xxx ×yy 時間 = z,zzz,zzz
2. 事業費	委員会費 委員謝金 委員交通費 会場借料	000,000 zzz,zzz ccc,ccc	@ xx,xxx ×yy 人 = zzz,zzz @ aa,aaa × bb 時間 × 100/110 = ccc,ccc (注1：消費税及び地方消費税は別掲のため、 単価に含まれている場合は除外のうえ計上の こと。)
3. 再委託費	〇〇〇業務	00,000,000 xxx,xxx,xxx	株式会社〇〇〇 xxx,xxx,xxx
4. 一般管理費		00,000,000	(1.人件費+2.事業費)の10%以内 (注2：小数点以下切り捨て)
5. 小計			(注3：落札金額と一致)
6. 消費税及び 地方消費税			5.小計(※)×10% (注4：小数点以下切り捨て)
7. 合計			

※消費税及び地方消費税にかかる免税事業者にあつては、課税売上げに係る消費税及び地方消費税につ
いては、計上することは出来ない。

(別紙4-1)

【大企業用】

従業員への賃金引上げ計画の表明書

当社は、○年度（令和○年○月○日から令和○年○月○日までの当社事業年度）（又は○年）において、給与等受給者一人あたりの平均受給額を対前年度（又は対前年）増加率3%以上とすることを表明いたします。
従業員と合意したことを表明いたします。

令和 年 月 日
株式会社○○○○
（住所を記載）
代表者氏名 ○○ ○○

上記の内容について、我々従業員は、令和○年○月○日に、○○○という方法によって、代表者より表明を受けました。

令和 年 月 日
株式会社○○○○
従業員代表 氏名 ○○ ○○ 印
給与又は経理担当者 氏名 ○○ ○○ 印

※従業員代表等の押印省略は不可とする。

(留意事項)

1. 事業年度により賃上げを表明した場合には、「法人事業概況説明書」を事業当該事業年度における同書を作成後速やかに契約担当官等に提出してください。
なお、法人事業概況説明書を作成しない者においては、税務申告のために作成する類似の書類（事業活動収支計算書）等の賃金支払額を確認できる書類を提出してください。
2. 暦年により賃上げを表明した場合には、「給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」を当該年の同表を作成後速やかに契約担当官等に提出してください。
3. 上記1. による確認において表明書に記載した賃上げを実行していない場合又は上記確認書類を提出しない場合においては、当該事実判明後の総合評価落札方式による入札に参加する場合、技術点又は評価点を減点するものとします。
4. 上記3. による減点措置については、減点措置開始日から1年間に入札公告が行われる調達に参加する場合に行われることとなる。ただし、減点事由の判明の時期により減点措置開始時期が異なることとなるため、減点事由判明時に当該事由を確認した契約担当官等により適宜の方法で通知するものとします。
5. 「従業員代表」及び「給与又は経理担当者」の権限等を示す書類等を添付すること。

(別紙4-2)

【中小企業等用】

従業員への賃金引上げ計画の表明書

当社は、○年度（令和○年○月○日から令和○年○月○日までの当社事業年度）（又は○年）において、給与総額を対前年度（又は対前年）増加率1.5%以上とすること

を表明いたします。

従業員と合意したことを表明いたします。

令和 年 月 日

株式会社○○○○

（住所を記載）

代表者氏名 ○○ ○○

上記の内容について、我々従業員は、令和○年○月○日に、○○○という方法によって、代表者より表明を受けました。

令和 年 月 日

株式会社○○○○

従業員代表

氏名 ○○ ○○ 印

給与又は経理担当者

氏名 ○○ ○○ 印

※従業員代表等の押印省略は不可とする。

(留意事項)

1. 事業年度により賃上げを表明した場合には、「法人事業概況説明書」を事業当該事業年度における同書を作成後速やかに契約担当官等に提出してください。
なお、法人事業概況説明書を作成しない者においては、税務申告のために作成する類似の書類（事業活動収支計算書）等の賃金支払額を確認できる書類を提出してください。
2. 暦年により賃上げを表明した場合においては、「給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」を当該年の同表を作成後速やかに契約担当官等に提出してください。
3. 上記1. による確認において表明書に記載した賃上げを実行していない場合又は上記確認書類を提出しない場合においては、当該事実判明後の総合評価落札方式による入札に参加する場合、技術点又は評価点を減点するものとします。
4. 上記3. による減点措置については、減点措置開始日から1年間に入札公告が行われる調達に参加する場合に行われることとなる。ただし、減点事由の判明の時期により減点措置開始時期が異なることとなるため、減点事由判明時に当該事由を確認した契約担当官等により適宜の方法で通知するものとします。
5. 「従業員代表」及び「給与又は経理担当者」の権限等を示す書類等を添付すること。

- 令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費
(環境放射線データベース等に係るシステム更改及び
運用・管理業務)事業
 - 提案書

- 年月日
- 提案者

1 事業の実施方針

1.1 事業内容の妥当性、独自性

記述内容

- 提案内容について具体的に記述

▪ 事業内容の妥当性、独自性

【基礎点評価の観点】

- ・仕様書記載の事業内容についてすべて提案されているか
- ・偏った提案内容となっていないか

【加点評価の観点】

- ・仕様書に示された内容以外の独自の提案はされているか

1 事業の実施方針

1.2 事業実施方法の妥当性、独創性

記述内容

- 仕様書に示された事業の実施方法について記述

▪ 仕様書に示された事業の実施方法

【基礎点評価の観点】

- ・放射線データの収集・評価の項目・手法が明確であるか
- ・収集した放射線データ等の公開手法が妥当であるか

【加点点評価の観点】

- ・放射線データの収集等の手法や公開手法に事業成果を高めるための独創的な工夫があるか

例

- ・データ入力及び確認の手間及びミスを減らす工夫
- ・利用者の関心やデータ利用目的を踏まえたサイト構成に関する提案 など

1 事業の実施方針

1.3 作業計画の妥当性、効率性

記述内容

- 作業計画の妥当性、効率性について記述する。

▪ 作業計画の妥当性、効率性

【基礎点評価の観点】

- ・作業日程、手順等に無理がなく、目的に沿った実現性があるか

【加点点評価の観点】

- ・事業成果達成のために、日程、作業手順等が効率的であるか

2 事業実施体制

2.1 組織の類似業務の経験

7.1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 事業を実施するに当たり、過去に官公庁以外も含めた、本領域における類似事業の実績がある場合、前述で提案した実績と矛盾の無いよう、その提供先、提供機関、実施概要、主たる業務実施担当者等を具体的・客観的に記述する。

事業領域における実績の一覧

(以下の項目等を含めて記述)

- 提供先(※実名が記述できない場合は、必ずしも実名を記述する必要はない。その場合、例えば「小売業A」といった形式で記述する)
- 提供時期
- 実施概要
- 主たる業務実施担当者 等

【加点評価の観点】

・類似の業務の経験(放射線の測定又は測定結果の評価業務、データの収集・調査業務、データ集約・公開に係るシステムの構築・運用業務等)を有しているか

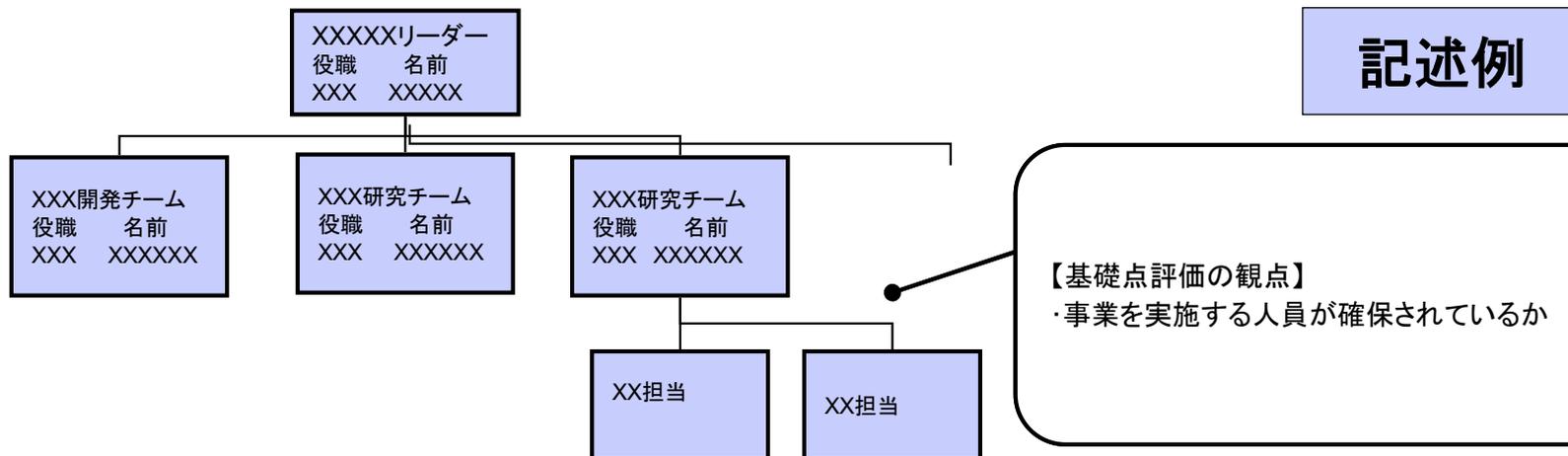
2 事業実施体制

2.2 組織の業務実施能力

記述内容

- 業務の実施体制や役割分担 について、体制上の役割分担や担当者数がわかるように記述する。
- 実施体制については、個々の業務の担当が分かるようにし、各チームのリーダークラス要員については、役職及び担当者名を記述する応募者が当該業務における実績を有する場合、その実績が当該業務の実施に当たり有益であることを具体的・客観的に記述する。(例えば、「過去の実績における経験者を当該業務の各チームに従事させる」等)

■ 業務実施体制



■ 役割分担

- 各チームの主な役割
- 各チームの担当者数
- 提案書に別途含める、実施担当者の略歴への参照 等

■ 過去の実績

- XXXXXXXXXXXX
- 提案書に別途含める、「XXXXXXXXXXXX」への参照 等

記述例

【加点評価の観点】
・規制庁からの追加解析要求に迅速に対応できる人員補助体制が組まれているか
・幅広い知見・人的ネットワーク・優れた情報収集能力を有しているか

注: 体制、担当者略歴及び過去の実績等を記述する場合は、XXXXXXXXXXXX等についても記載すること。

2 事業実施体制

2.3 事業遂行のための経営基盤・管理体制・技術基盤

記述内容

▪ 事業を実施する上で適切な経営基盤・管理体制・技術基盤を有しているか

■ 経営基盤について

■ 資金・設備の状況

✓ XXXXXXXXXXXXXXX。

✓ XXXXXXXXXXXXXXX。

✓ XXXXX

■ 管理体制について

• XXXXXXXXXXXXX

• XXXXXXXXXXXXX

■ 技術基盤について

• XXXXXXXXXXXXX

• XXXXXXXXXXXXX

【基礎点評価の観点】

・事業を実施する上で適切な経営基盤・管理体制・技術基盤を有しているか

3 事業従事予定者の能力

3.1 事業従事予定者の事業内容に関する専門知識・適格性

記述内容

- 事業従事予定者の事業内容に関する専門知識・的確性に関して記述する。

業務担当者一覧

(以下の項目等を含めて記述)

氏名

部署・役職

予定担当業務

役割

業務経験(顧客の業種、実施業務やその内容、体制内での位置づけ、実施期間)

保有スキル 等

【基礎点評価の観点】

- ・事業内容に関する知識・知見を有しているか

【加点点評価の観点】

- ・事業に関する専門知識に関する人的なネットワークの構築、情報発信をしているか

5 企業等の賃上げの実施

5.1 事業年度(又は暦年)における賃上げ

記述内容

- 賃上げの実施の表明の有無に関して記述する。

賃上げの実施の表明の有無 : 有 ・ 無

従業員への賃金引き上げ計画の表明書(別紙4-1又は4-2)の写しを添付すること。

【加点评価の観点】

- ・従業員への賃金引き上げ計画を表明しているか
大企業3%以上
中小企業1.5%以上

【6. 添付資料】

6.1 組織の概要、事業内容等

記述内容

- 当該事業を実施するに当たり、組織の概要・事業内容等について具体的に記述する
- パンフレット等がある場合には添付する

■ 組織の概要、事業内容等

◆ 組織の概要

◆ 組織の事業内容

◆ その他組織の特色 等

【6. 添付資料】

6.2 用語解説等の補足説明

記述内容

- 当該事業を実施するに当たり、事業に係る専門的な用語の説明等を具体的に記述する

■ 用語解説等の補足説明

◆ 用語名

【解説】

【6. 添付資料】

6.3 事業実施に係る工数

7. 1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容

- 本事業を実施するにあたり必要な工数をクラス別に記述する
- クラス別の従事者がどのような業務をどの程度行うかが分かるように記述する

■ 事業実施に係る事業従事予定者の工数

記述例

業務				担当者のクラス別工数(人月)/月				工数 (業務中項目 単位)
#	大項目	#	中項目	XXXX	XXX	XXX	XXX	
(1)	〇〇〇に係るもの							
		1)
		2)
(2)	〇〇〇に係るもの							
		1)
		2)
	
			合計(工数)

【6. 添付資料】

6.4 情報セキュリティの確保

7. 1 (別紙1) 提案書雛形

記述内容	▪ 本事業に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制を記述する
-------------	--------------------------------------

- 情報セキュリティ対策

Title: 評価項目一覧 - 遵守確認事項 -

大項目	中項目	小項目	細項目	内容説明	遵守確認
0 遵守確認事項					
	0.1.	事業計画		事業を始める前に、原子力規制庁と事業内容について十分調整を行う。 事業の実施状況を適宜確認し、実施計画通りに事業を行う。 原子力規制庁が事業の実施状況について報告を求めた場合、速やかに報告を行う。	
	0.2.	予算の執行		落札価格を考慮し、適正な予算の執行を行う。	
	0.3.	報告書		納品書を提出する前に、原子力規制庁の要望した作業がすべて完了したかを原子力規制庁に確認する。 納入物は、実施計画通りに記載したものを事業期間内に納入する。 報告書は、基本的に日本語で作成する(図表など一部英語等を使わざるを得ない場合を除く)	
	0.4.	情報セキュリティの確保		原子力規制委員会情報セキュリティポリシーに準拠した情報セキュリティ対策の履行を確保する。	

Title: 評価項目一覧 - 提案要求事項一覧 -

提案書の目次				評価区分	得点配分			内部用評価基準		雛形 頁番号	提案書 頁番号
大項目	中項目	小項目	細項目		提案要求事項	合計	基礎点	加点	基礎点		
1 事業の実施方針											
●	1.1	事業内容の妥当性、独自性	仕様書記載の事業内容についてすべて提案されているか	必須	20	5	-	仕様書記載の事業内容についてすべて提案されているか		2	
			仕様書に示された内容以外の独自の提案はされているか	任意		-	10		仕様書に示された内容以外の独自の提案はされているか	2	
			偏った提案内容となっていないか	必須		5	-	偏った提案内容となっていないか	2		
●	1.2	事業実施方法の妥当性、独創性	放射線データの収集・評価の項目・手法が明確であるか	必須	20	5	-	放射線データの収集・評価の項目・手法が明確であるか		3	
			収集した放射線データ等の公開手法が妥当であるか	必須		5	-	収集した放射線データ等の公開手法が妥当であるか	3		
			放射線データの収集等の手法や公開手法に事業成果を高めるための独創的な工夫があるか 例 ・データ入力及び確認の手間及びミスを減らす工夫 ・利用者の関心やデータ利用目的を踏まえたサイト構成に関する提案 など	任意		-	10	放射線データの収集等の手法や公開手法に事業成果を高めるための独創的な工夫があるか 例 ・データ入力及び確認の手間及びミスを減らす工夫 ・利用者の関心やデータ利用目的を踏まえたサイト構成に関する提案 など	3		
●	1.3	作業計画の妥当性、効率性	作業日程・手順等に無理がなく、目的に沿った実現性があるか	必須	10	5	-	作業日程、手順等に無理がなく、目的に沿った実現性があるか		4	
			事業成果達成のために、日程、作業手順等が効率的であるか	任意		-	5	事業成果達成のために、日程、作業手順等が効率的であるか	4		
2 事業実施体制											
	2.1	組織の類似業務の経験	類似の業務の経験(放射線の測定又は測定結果の評価業務、データの収集・調査業務、データ集約・公開に係るシステムの構築・運用業務等)を有しているか	任意	5	-	5		類似の業務の経験(放射線の測定又は測定結果の評価業務、データの収集・調査業務、データ集約・公開に係るシステムの構築・運用業務等)を有しているか	5	
	2.2	組織の業務実施能力	事業を実施する人員が確保されているか	必須	15	5	-	事業を実施する人員が確保されているか		6	
規制庁からの追加解析要求に迅速に対応できる人員補助体制が組まれているか			任意	-		5	規制庁からの追加解析要求に迅速に対応できる人員補助体制が組まれているか	6			
幅広い知見・人的ネットワーク・優れた情報収集能力を有しているか			任意	-		5	幅広い知見・人的ネットワーク・優れた情報収集能力を有しているか	6			
	2.3	事業遂行のための経営基盤・管理体制・技術基盤	事業を実施する上で適切な経営基盤・管理体制・技術基盤を有しているか	必須	5	5	-	事業を実施する上で適切な経営基盤・管理体制・技術基盤を有しているか		7	
3 事業従事予定者の能力											
	3.1	事業従事予定者の業務内容に関する専門知識・適格性	事業内容に関する知識・知見を有しているか	必須	15	10	-	事業内容に関する知識・知見を有しているか		8	
事業内容に関する専門知識に関する人的なネットワークの構築、情報発信をしているか			任意	-		5	事業内容に関する専門知識に関する人的なネットワークの構築、情報発信をしているか	8			

Title: 評価項目一覧 - 提案要求事項一覧 -

提案書の目次				評価区分	得点配分			内部用評価基準		雛形 頁番号	提案書 頁番号
大項目	中項目	小項目	細項目		提案要求事項	合計	基礎点	加 点	基礎点		
4 組織のワーク・ライフ・バランス等の取組											
	4.1	組織のワーク・ライフ・バランス等の 推進に関する認定等取得状況	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下「女性活躍推進法」という。)、次世代育成支援対策推進法(以下「次世代法」という。)、青少年の雇用の促進等に関する法律(以下「若者雇用推進法」という。))に基づく認定等(プラチナえるぼし認定、えるぼし認定等、プラチナくるみん認定、くるみん認定、トライくるみん認定、ユースエール認定等)の有無を記載し、有の場合は認定等の名称を記載するとともに、認定通知書等の写し(内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を受けている外国人については、その確認通知書の写し)を添付すること。 ただし、提案書提出時点において認定等の期間中であること。	任意	5	-	5	-	女性活躍推進法に基づく認定等(プラチナえるぼし・えるぼし認定等) ・プラチナえるぼし(※1) 5点 ・えるぼし3段階目(※2) 4点 ・えるぼし2段階目(※2) 3点 ・えるぼし1段階目(※2) 2点 ・行動計画(※3) 1点 ※1 女性活躍推進法(令和2年6月1日施行)第12条に基づく認定 ※2 女性活躍推進法第9条に基づく認定 なお、労働時間等の働き方に係る基準は満たすことが必要。 ※3 常時雇用する労働者の数が100人以下の事業主に限る(計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ)。 次世代法に基づく認定(プラチナくるみん認定・くるみん認定、トライくるみん認定) ・プラチナくるみん認定 4点 ・くるみん認定(新基準※4) 3点 ・くるみん認定(旧基準※5) 2点 ・トライくるみん認定 2点 ※4 新くるみん認定(改正後認定基準(令和4年4月1日施行)により認定) ※5 旧くるみん認定(改正前認定基準又は改正省令附則第2条第5項の経過措置により認定) 若者雇用推進法に基づく認定(ユースエール認定) 4点 ※複数の認定等に該当する場合は、最も得点が高い区分により加減を行うものとする。	9	
5 企業等の賃上げの実施											
	5.1	事業年度(又は暦年)における賃上げ	賃上げの実施を表明した企業等について ・大企業は、事業年度(又は暦年)において、対前年度比(又は対前年比)で給与等受給者一人当たりの平均受給額を3%以上増加させる旨の、従業員への賃金引上げ計画の表明書(別紙4-1)(表明する意思がある者のみ提出すること)の写しを添付すること。 ・中小企業等は、事業年度(又は暦年)において、対前年度比(対前年比)で給与総額を1.5%以上増加させる旨の、従業員への賃金引上げ計画の表明書(別紙4-2)(表明する意思がある者のみ提出すること)の写しを添付すること。	任意	5	-	5		表明書の写しの提出が確認出来れば加減(5点)。	10	
					合計	100	45	55			

●は価格と同等に評価できない項目(合計50点)

Title: 評価項目一覧 - 添付資料 -

提案書の目次			資料内容	提案の 要否	雛形頁番号	提案書頁番号
大項目	中項目	小項目				
6 添付資料						
	6.1.	組織の概要・事業内容等	会社又は法人としての概要(組織の概要、事業内容が分かるパンフレット等)	必須	11	
	6.2.	用語解説等の補足説明	事業に係る専門的な用語の説明等	必須	12	
	6.3.	事業実施に係る工数	実施に必要な工数の明細	必須	13	
	6.4.	情報セキュリティの確保	受託業務に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制	必須	14	

令和 6 年度～令和 1 1 年度原子力施設等防
災対策等委託費（環境放射線データベース
等に係るシステム更改及び運用・管理業
務）事業

評価手順書(加算方式)

令和 5 年 1 2 月
原子力規制庁

本書は、令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業に係る評価手順を取りまとめたものである。落札方式、評価の手続き及び提案の配点基準を以下に記す。

第1章 落札方式及び得点配分

1.1 落札方式

次の要件をともに満たしている者のうち、「1.2 総合評価点の計算」によって得られた数値の最も高い者を落札者とする。

- ①入札価格が予定価格の範囲内であること。
- ②別添「評価項目一覧」に記載される要件のうち必須とされた項目を、全て満たしていること。

1.2 総合評価点の計算

$$\text{総合評価点} = \text{技術点} + \text{価格点}$$

技術点 = 基礎点 + 加点

価格点 = 価格点の配分(※) × (1 - 入札価格 ÷ 予定価格)

※技術点及び価格点は小数点第4位以下切り捨てとする。

1.3 得点配分

※技術点の配分と価格点の配分は、2 : 1 とする。

技術点	100点
価格点	50点

第2章 評価の手続き

2.1 一次評価

まず、以下の基準により一次判定を行う。

- ①別添「評価項目一覧－遵守確認事項－」の「遵守確認」欄に全て「○」が記入されている。
- ②別添「評価項目一覧－提案要求事項一覧（項番1～5）」の、評価項目が必須の「提案書頁番号」欄に提案書の頁番号が記入されている。
- ③別添「評価項目一覧－添付資料（項番6）」の、提案の要否が必須の「提案書頁番号」欄に提案書の頁番号が記入されている。

一次評価で合格した提案書について、「2.2 二次評価」を行う。

2.2 二次評価

「2.1 一次評価」にて合格した提案書に対し、「第3章 評価項目の加点方法」にて記す評価基準に基づき採点を行う。この際、別添「評価項目一覧」に記載される、「提案要求事項(項番 1~5)」のうち必須とされた項目について基礎点の得点が0となった場合、その応募者を不合格とする。

複数の評価者が評価を行うため、各評価者の評価結果(加点部分の点数)を合計し、それを平均して基礎点と合計したものを技術点とする。

2.3 総合評価点の算出

以下を合計し、総合評価点を算出する。

- ①「2.2 二次評価」により与えられる技術点
- ②入札価格から、「1.2 総合評価点の計算」に記した式より算出した価格点

第3章 評価項目の加点方法

3.1 評価項目得点構成

評価項目の得点は基礎点と加点の二種類に分かれており、その合計にて提案要求事項毎の得点が決定される。(評価項目毎の基礎点、加点の得点配分は「評価項目一覧 - 提案要求事項一覧 -」の「得点配分」欄を参照)

3.2 基礎点評価

基礎点は、提案要求事項の評価区分が必須である事項にのみ設定されている。評価の際には提案要求事項の要件を充足している場合には配分された点数が与えられ、充足していない場合は0点となる。提案者は、提案書にて基礎点の対象となる要件を全て充足することを示さなければならない。一つでも要件が充足できないとみなされた場合は、その応募者は不合格となる。なお、各提案要求事項の基礎点を評価する際の観点、別添「提案書雛形」にて「基礎点評価の観点」として示している。

3.3 加点評価

加点は、全ての提案要求事項について設定されており、各提案要求事項の加点を評価する際の観点に沿って評価を行う。各提案要求事項の加点を評価する際の観点は、別添「提案書雛形」にて「加点評価の観点」として示している。

評価基準と配点は下表のとおり。

評価基準と配点

評価	基準	配点比率 (※1)
優	提案内容に具体性や実現性がある、又は要求仕様を上回る追加の提案がなされており、本業務の遂行において特筆すべき有益性が認められる。	100%
良	提案内容が具体性や実現性がある、又は要求仕様を上回る追加の提案がなされており、本業務の遂行において一定の有益性が認められる。	60%
可	提案内容が具体性や実現性がある、又は要求仕様を上回る追加の提案がなされており、本業務の遂行において若干の有益性が認められる。	20%
加点なし	提案内容は調達仕様書や要件定義書で定める要件は満たしているが、具体性や実現性がなく、本業務の遂行に有益性は認められない。	0%

※1 別添3「評価項目一覧」の提案要求事項に記載の評価項目の配点が10点、評価が「良」の場合、技術点の加点は「6点」となる。

令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業に関する委託契約書

支出負担行為担当官 原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 名（以下「甲」という。）と、相手方名称 代表者氏名（以下「乙」という。）とは、令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業について、以下により委託契約を締結する。

目 的	甲は、令和6年度～令和11年度原子力施設等防災対策等委託費（環境放射線データベース等に係るシステム更改及び運用・管理業務）事業（以下「委託業務」という。）の実施を乙に委託し、乙はこれを受託する。
委 託 金	委託業務の実施に要した経費の額。ただし、 〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 （消費税及び地方消費税額〇, 〇〇〇, 〇〇〇円を含む。） を上限とする。
契 約 期 間	令和6年4月1日～令和12年3月31日
実績報告書の提出 期限	委託業務完了の日の翌日から10日以内の日
納 入 物	委託業務成果報告書3部並びに本事業で収集・作成したデータ及び同報告書を格納した電子媒体（CD-R又はDVD-R）
納 入 場 所	指示の場所
そ の 他	約定のとおり

この契約を証するため、本契約書を2通作成し、双方記名押印の上、甲、乙それぞれ1通を保有する。

年月日

甲 東京都港区六本木一丁目9番9号
支出負担行為担当官
原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 名

乙 [所在地]
[相手方名称]
[代表者氏名]

(実施計画書(仕様書)の遵守)

第1条 乙は、別紙1の実施計画書(仕様書)に従って委託業務を実施しなければならない。

(納入物の提出)

第2条 乙は、委託業務についての納入物(以下単に「納入物」という。)を完了期限までに甲に提出しなければならない。

2 乙は、納入物を文書で作成する場合は、国等による環境物品等の調達に関する法律(平成12年法律第100号。以下「グリーン購入法」という。)第6条第1項の規定に基づき定められた環境物品等の調達の推進に関する基本方針(閣議決定)による紙類の印刷用紙及び役務の印刷の基準を満たすこととし、様式第1により作成した印刷物基準実績報告書を納入物とともに甲に提出しなければならない。

(契約保証金)

第3条 甲は、本契約に係る乙が納付すべき契約保証金の納付を全額免除する。

(知的財産等の使用)

第4条 乙は、知的財産権その他第三者の権利の対象になっているもの(以下「知的財産権等」という。)を使用するときは、その使用に関する一切の責任を負わなければならない。

(計画変更等)

第5条 乙は、実施計画を変更しようとするとき(事業内容の軽微な変更の場合及び支出計画の区分経費の10パーセント以内の流用(人件費への流用及び一般管理費への流用を除く。))の場合を除く。)は、あらかじめ様式第2により作成した計画変更承認申請書を甲に提出し、その承認を受けなければならない。

2 甲は、前項の承認をする場合には、条件を付することができる。

(全部再委託の禁止)

第6条 乙は、委託業務の全部を第三者に委託してはならない。

(再委託)

第7条 乙は、再委託(委託業務の一部を第三者に委託することをいい、外注、請負、その他の形式を問わない。以下同じ。)してはならない。ただし、当該再委託が次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

(1) 本契約の締結時における別紙2の履行体制図に定めるものである場合。

(2) 甲の承認を得たものである場合。

(3) 別紙3の条件に該当する第三者に対するものである場合。

(4) 別紙4の軽微な再委託に該当する場合。

2 乙は、前項第2号の承認を受けようとする場合(再委託先の変更を含む。)には、あらかじめ様式第3により作成した再委託に係る承認申請書を甲に提出しなければならない。

3 乙は、再委託(特定の再委託、軽微な再委託を含むすべての再委託。以下同じ。)する場合には、当該再委託に係る再委託先の行為について、甲に対し全ての責任を負う。本項に基づく乙の責任は本契約終了後も有効に存続する。

- 4 乙は、再委託する場合には、乙が本契約を遵守するために必要な事項について再委託先と書面で約定しなければならない。また、乙は、甲から当該書面の写しの提出を求められたときは、遅滞なく、これを甲に提出しなければならない。

(履行体制)

第8条 乙は、別紙2の履行体制図に従って委託業務を実施しなければならない。

- 2 乙は、別紙2の履行体制図に変更が生じる場合には、速やかに様式第4により作成した履行体制図変更届出書を甲に提出しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

(1) 委託業務の実施に参加する事業者（以下「事業参加者」という。）の名称変更又は住所移転の場合。

(2) 事業参加者との契約における契約金額の変更のみの場合。

(3) 別紙4の軽微な再委託に該当する場合。

- 3 甲は、前項の場合において、本契約の適正な履行の確保のため必要があると認めるときは、乙に対して変更の理由等の説明を求めることができる。

(再委託に係る承認申請等の特例)

第9条 第7条第2項の再委託に係る承認申請又は前条第2項の履行体制図変更届出を要する事実が、第5条第1項の実施計画の変更に伴って生じる場合は、第5条第1項の計画変更承認申請にこれを含めることができる。この場合、その承認された範囲内において、再委託に関する承認を得た又は履行体制図変更届出を行ったものとみなす。

- 2 第7条第2項の再委託の承認を得た場合は、その承認された範囲内において、履行体制図変更届出を行ったものとみなす。

(債権譲渡の禁止)

第10条 乙は、本契約によって生じる権利の全部又は一部を甲の承諾を得ずに、第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、信用保証協会、資産の流動化に関する法律（平成10年法律第105号）第2条第3項に規定する特定目的会社又は中小企業信用保険法施行令（昭和25年政令第350号）第1条の3に規定する金融機関に対して債権を譲渡する場合にあっては、この限りでない。

- 2 乙が本契約により行うこととされた全ての給付を完了する前に、乙が前項ただし書に基づいて債権の譲渡を行い、乙が甲に対し、民法（明治29年法律第89号）第467条又は動産及び債権の譲渡の対抗要件に関する民法の特例等に関する法律（平成10年法律第104号。以下「債権譲渡特例法」という。）第4条第2項に規定する通知又は承諾の依頼を行う場合には、甲は次の各号に掲げる事項を主張する権利を留保し又は次の各号に掲げる抗弁を留保するものとする。また、乙から債権を譲り受けた者（以下「丙」という。）が甲に対し、債権譲渡特例法第4条第2項に規定する通知若しくは民法第467条又は債権譲渡特例法第4条第2項に規定する承諾の依頼を行う場合についても同様とする。

(1) 甲は、承諾のときにおいて本契約上乙に対して有する一切の抗弁について留保すること。

(2) 丙は、譲渡対象債権について、前項ただし書に掲げる者以外の者への譲渡又は質権の設定その他債権の帰属又は行使を害することを行わないこと。

(3) 甲は、乙による債権譲渡後も、乙との協議のみにより、納地の変更、契約金額の変更その他契約内容の変更を行うことがあり、この場合、丙は抗弁を主張しないも

のとし、当該契約の変更により、譲渡対象債権の内容に影響が及ぶ場合の対応については、専ら乙と丙の間の協議により決定されなければならないこと。

- 3 第1項ただし書に基づいて乙が第三者に債権の譲渡を行った場合においては、甲が行う弁済の効力は、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第42条の2の規定に基づき、甲が同令第1条第3号に規定するセンター支出官に対して支出の決定の通知を行ったときに生ずるものとする。

（監督等）

第11条 乙は、甲が定める監督職員の指示に従うとともに、その職務に協力しなければならない。

- 2 甲は、いつでも乙に対し契約上の義務の履行に関し報告を求めることができ、また必要がある場合には、乙の事業所において契約上の義務の履行状況を調査することができる。

（委託業務完了報告書の提出）

第12条 乙は、委託業務が完了したときは、直ちに、様式第5により作成した委託業務完了報告書を甲に提出しなければならない。

（委託業務完了の検査）

第13条 甲は、前条の委託業務完了報告書を受領した日から10日以内の日（当該期間の末日が休日（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項各号に掲げる日をいう。）に当たるときは、当該末日の翌日を当該期間の末日とする。）又は委託業務の完了期限の末日の属する年度の3月31日のいずれか早い日までに、完了した委託業務が本契約の内容に適合するものであるかどうかを検査し、委託業務の完了を確認しなければならない。

- 2 甲は、前項の確認を行った後に、乙が納入物の引渡しを申し出たときは、直ちに当該納入物の引渡しを受けなければならない。
- 3 甲は、前項の規定による引渡しの前においても、納入物の全部又は一部を乙の承諾を得て使用することができる。

（実績報告書の提出）

第14条 乙は、様式第6により作成した実績報告書を約定期限（当該期間の末日が休日（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項各号に掲げる日をいう。）に当たるときは、当該末日の前日を当該期間の末日とする。）までに甲に提出しなければならない。

（支払うべき金額の確定）

第15条 甲は、第13条第1項の確認及び納入物の引渡しを受けた後、前条の規定により提出された実績報告書の内容の審査及び必要に応じて現地調査を行い、委託業務の実施に要した経費の証ひょう、帳簿等の調査により支払うべき金額を確定し、これを乙に通知しなければならない。支払うべき金額を修正すべき事由が判明した場合も、同様とする。

（支払）

第16条 乙は、前条の通知を受けた後に、様式第7により作成した精算払請求書を提出

する。この場合において、甲は、乙から適法な精算払請求書を受領した日から30日以内の日（当該期間の末日が銀行等の休日に当たるときは、当該末日の前日を当該期間の末日とする。）までの期間（以下「約定期間」という。）内に支払を行わなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、概算払財務大臣協議が整ったときは、乙は委託業務の完了前に委託業務に必要な経費として様式第8により作成した概算払請求書を提出することができる。この場合において、甲は、当該請求に対し支払うことが適当であると判断したときは、支払を行うことができる。

（遅延利息）

第17条 甲は、約定期間に支払を行わない場合には、遅延利息として、約定期間満了の日の翌日から支払をする日までの日数に応じ、当該未払金額に対し、政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和24年法律第256号）第8条第1項に規定する財務大臣が銀行の一般貸付利率を勘案して決定する率（以下「財務大臣が決定する率」という。）を乗じて計算した金額を乙に支払わなければならない。

（差額の返還又は支払）

第18条 乙が第16条第2項の規定により概算払を受領している場合であって、当該概算払の合計額が確定額を超えている場合には、乙は、甲の指示により、その超える額を甲に返還しなければならない。

- 2 乙が第16条第2項の規定により概算払を受領している場合であって、当該概算払の合計額が確定額に満たない場合には、第16条第1項を準用する。

（違約金）

第19条 乙が次の各号のいずれかに該当するときは、甲は、違約金として次の各号に定める額を徴収することができる。

- (1) 乙が天災その他不可抗力の原因によらないで、完了期限までに納入物の引渡しを終わらないとき 延引日数1日につき契約金額の1,000分の1に相当する額
- (2) 乙が天災その他不可抗力の原因によらないで、完了期限までに納入物の引渡しを終わる見込みがないと甲が認めたとき 契約金額の100分の10に相当する額
- (3) 乙が正当な事由なく解約を申出たとき 契約金額の100分の10に相当する額
- (4) 甲が本契約締結後に保全を要するとして指定した情報（以下「保全情報」という。）が乙の責任に帰すべき事由により乙以外の者（乙の親会社、地域統括会社等含む。以下同じ。ただし、第29条第1項の規定により甲が個別に許可した者を除く。）に漏洩したとき 契約金額の100分の10に相当する額
- (5) 本契約の履行に関し、乙又はその使用人等に不正の行為があったとき 契約金額の100分の10に相当する額
- (6) 前各号に定めるもののほか、乙が本契約の規定に違反したとき 契約金額の100分の10に相当する額

- 2 乙が前項の違約金を甲の指定する期間内に支払わないときは、乙は、当該期間を経過した日から支払いをする日までの日数に応じ、年3パーセントの割合で計算した額の遅延利息を甲に支払わなければならない。

（契約の解除等）

第19条の2 甲は、乙が前条第1項各号のいずれかに該当するときは、催告を要さず本

契約を直ちに解除することができる。この場合、甲は乙に対して委託金その他これまでに履行された委託業務の対価及び費用を支払う義務を負わない。

- 2 甲は、前項の規定により本契約を解除した場合において、委託金の全部又は一部を乙に支払っているときは、その全部又は一部を期限を定めて返還させることができる。

(延滞金)

第20条 乙は、第18条第1項の規定により甲に確定額を超える額を返納告知のあった期限までに返納しないときは、その期限の翌日からこれを国に返納する日までの期間に応じ、当該未返納金額に対し、財務大臣が決定する率を乗じて計算した金額を支払わなければならない。

- 2 乙は前条第2項の規定により甲に委託金の全部若しくは一部を返還する場合であって、甲の定めた期限までに甲に返還しなかったときは、その期限の翌日から支払をする日までの日数に応じ、年3パーセントの割合により計算した延滞金を支払わなければならない。

(帳簿等の整備)

第21条 乙は、委託金について、その収支を明らかにした帳簿等を備え、かつ、全ての証拠書類を整備しなければならない。

- 2 乙は、委託業務に従事した時間等を明らかにするため、次の各号の帳簿等を日々作成しなければならない。

(1) 委託業務に従事した者の出勤状況を証明するに足る帳簿等

(2) 前号の者ごとにおいて実際に委託業務に従事した時間を証明するに足る帳簿等

- 3 乙は、前二項の帳簿等を委託業務の完了の日の属する年度終了後5年間保存しておかななければならない。

(財産の管理)

第22条 乙は、この委託業務を実施するに当たって委託費により財産を取得した場合は、第12条の規定による報告書を提出するまで又は甲が提出を求めたときに、様式第9により取得財産報告書を甲に届けなければならない。

- 2 乙は、委託費により取得した財産（以下「取得財産」という。）について、取得財産管理台帳を備えるとともに、善良なる管理者の注意をもって管理しなければならない。

- 3 取得財産の所有権（取得財産に係るその他の権利を設定した場合は、これらの権利を含む。以下同じ。）については、委託業務が完了（乙が、複数年度にわたり実施することを前提としている場合には、最終年度に当たる委託業務が完了するときとする。以下同じ。）又はこの契約を解除するまでの間、乙に帰属させるものとする。

- 4 乙は、第1項の取得財産のうち甲が指定するものについて、委託事業を完了し若しくはこの契約を解除又は甲が返還を求めたときは、甲の指示に従い、これを甲に返還しなければならない。この場合において、所有権は乙から甲に移転するものとする。それまでの間、乙は引き続き善良なる管理者の注意をもって取得財産を管理し、委託業務と関連のある業務に使用することができる。

- 5 甲は、前項の移転を行う前であっても、第1項の取得財産のうち甲が指定するものについて、乙の同意を得たときは、他者に貸し付けできるものとする。

(財産に係る費用の負担等)

第23条 乙は委託業務の完了の時期までの間、取得財産の維持、保管等に係る費用を負

担するとともに、当該財産に起因する事故によって当該財産を所有する乙以外の第三者が損害を受けた場合には、その責任を負わなければならない。

(現地調査等)

第24条 甲は、委託業務の実施状況の調査及び支払うべき金額の確定のために必要と認めるときは、乙に対し報告をさせ、又は所属の職員に乙の事務所、事業場等において委託業務に関する帳簿類その他の物件を調査させ、若しくは関係者に質問させることができる。

(故意又は重過失による過払いがある場合の措置)

第25条 甲は、乙の故意又は重過失により委託金の過払いが発生していると認めるときは、乙に対してその事実関係の説明や資料の提出を求める等、事実関係の調査を行うことができる。

2 前項に基づく調査の結果、甲が乙の故意又は重過失に起因する過払いがあると判断したときは、乙は、甲の要求に従い、甲が指定する期日までに甲に対して委託業務についての修正実績報告書を提出しなければならない。

3 甲は、必要と認める場合には、第1項の調査の結果及び前項の修正実績報告書を踏まえて甲が過払いと認める金額につき、乙に対して直ちに返還するよう求めることができる。この場合、甲は、当該過払い額につき、乙がこれを受領した日の翌日から過払い額の納付の日までの日数に応じ、年3パーセントの割合により計算した利息を付すことができる。

(乙による公表の禁止)

第26条 乙は、甲の許可を得ないで委託業務の内容を公表してはならない。

(個人情報の取扱い)

第27条 乙は、甲から預託された個人情報(生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述又は個人別に付された番号、記号その他の符号により当該個人を識別できるもの(当該情報のみでは識別できないが、他の情報と容易に照合することができ、それにより当該個人を識別できるものを含む。)をいう。以下同じ。)については、善良なる管理者の注意をもって取り扱わなければならない。

2 乙は、甲から預託された個人情報を取り扱わせる業務を第三者に再委託(再委託先が委託先の子会社(会社法(平成17年法律第86号)第2条第1項第3号に規定する子会社をいう。)である場合も含む。)する場合は、本条に定める、甲が乙に求めた個人情報の適切な管理のために必要な措置と同様の措置を当該第三者に求め、かつ当該第三者がそれを遵守することにつき約定しなければならない。

3 乙は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。ただし、事前に甲の承認を得た場合は、この限りでない。

(1) 甲から預託された個人情報を第三者(前項に該当する場合を除く。)に提供し、又はその内容を知らせること。

(2) 甲から預託された個人情報について、本契約の目的の範囲を超えて使用し、複製し、又は改変すること。

4 乙は、甲から預託された個人情報を取り扱う場合には、責任者等の管理体制、個人情報の管理の状況についての検査に関する事項等の安全管理に必要な事項について定めた書面を甲に提出するとともに、個人情報の漏えい、滅失、毀損の防止その他の個人情報

報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

- 5 甲は、必要があると認めるときは、所属の職員に、乙の事務所、事業場等において、甲が預託した個人情報の管理が適切に行われているか等について調査をさせ、乙に対し必要な指示をさせることができる。
- 6 乙は、委託業務を完了し、又は解除したときは、甲から預託された個人情報を速やかに甲に返還するとともに、各種媒体に保管されている個人情報については、直ちに復元又は判読不可能な方法により当該情報の消去又は廃棄しなければならない。ただし、甲が別に指示したときは、乙はその指示に従わなければならない。
- 7 乙は、甲から預託された個人情報について漏えい、滅失、毀損、その他本条に係る違反等の事実を認識した場合には、直ちに被害の拡大防止等のため必要な措置を講ずるとともに、甲に当該事実が発生した旨、被害状況、復旧等の措置及び本人（個人情報により識別されることとなる特定の個人）への対応等について直ちに報告しなければならない。また、甲から更なる指示を受けた場合には、乙は甲の指示に従わなければならない。
- 8 乙は、甲から預託された個人情報以外に、委託業務に関して自ら収集又は作成した個人情報については、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）に基づいて取り扱うこととし、甲が別に指示した場合はそれに従わなければならない。
- 9 第1項及び第3項の規定については、委託業務を完了し、又は解除した後であっても、なおその効力を有する。

（著作権等の帰属）

- 第28条 乙は、納入物に係る著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第27条及び第28条の権利を含む。）その他の知的財産権等及び所有権（乙、乙以外の事業参加者及び第三者の権利の対象となっているものを除く。）を甲に無償で引き渡すものとし、その引渡しは、甲が乙から納入物の引渡しを受けたときに行われたものとみなす。乙は、甲が求める場合には、譲渡証の作成等、譲渡を証する書面の作成に協力しなければならない。
- 2 乙は、納入物に関して著作者人格権を行使しないことに同意する。また、乙は、当該著作物の著作者が乙以外の者であるときは、当該著作者が著作者人格権を行使しないように必要な措置をとるものとする。

（保全情報の取扱い）

- 第29条 乙は、保全情報を乙以外の者に提供してはならない。ただし、甲が個別に許可した場合はこの限りではない。
- 2 乙は、委託業務を完了し、又は解除したときは、保全情報を甲が指示する方法により、速やかに返却又は削除しなければならない。
 - 3 乙は、保全情報が乙以外の者（ただし、第1項の規定により甲が個別に許可した者を除く。）に漏洩した疑いが生じた場合には、直ちに甲に連絡しなければならない。また、保全情報の漏洩に関する甲の調査に協力するものとする。
 - 4 乙は、本契約終了後においても前項の調査に協力するものとする。

（秘密の保持）

- 第30条 前条に定めるほか、乙は、本契約による作業の一切（甲より開示された資料や情報を含む。）について、秘密の保持に留意し、漏えい防止の責任を負う。
- 2 乙は、本契約終了後においても前項の責任を負う。

(甲による契約の公表)

第31条 乙は、本契約の名称、概要、委託金額、乙の氏名又は名称及び住所等を甲が公表することに同意する。

2 乙は、第7条に基づき再委託する場合には、再委託先の氏名又は名称及び再委託における契約金額等を甲が公表することについて、再委託先が同意するように必要な措置をとるものとする。

(契約書の解釈)

第32条 本契約に関する一切の事項については、甲、乙協議の上、書面の合意にていつでも変更することができる。

2 本契約の規定について解釈上疑義を生じた場合、又は契約に定めのない事項については、甲、乙協議の上決定する。

3 本契約に関する訴えの第一審は、甲の所在地を管轄する地方裁判所の管轄に専属する。

特記事項

【特記事項1】

(談合等の不正行為による契約の解除)

第1条 甲は、次の各号のいずれかに該当したときは、契約を解除することができる。

(1) 本契約に関し、乙が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。）第3条又は第8条第1号の規定に違反する行為を行ったことにより、次のイからハまでのいずれかに該当することとなったとき

イ 独占禁止法第49条に規定する排除措置命令が確定したとき

ロ 独占禁止法第62条第1項に規定する課徴金納付命令が確定したとき

ハ 独占禁止法第7条の4第7項又は第7条の7第3項の課徴金納付命令を命じない旨の通知があったとき

(2) 本契約に関し、乙の独占禁止法第89条第1項又は第95条第1項第1号に規定する刑が確定したとき

(3) 本契約に関し、乙（法人の場合にあっては、その役員又は使用人を含む。）の刑法（明治40年法律第45号）第96条の6又は第198条に規定する刑が確定したとき

(談合等の不正行為に係る通知文書の写しの提出)

第2条 乙は、前条第1号イからハまでのいずれかに該当することとなったときは、速やかに、次の各号の文書のいずれかの写しを甲に提出しなければならない。

(1) 独占禁止法第61条第1項の排除措置命令書

(2) 独占禁止法第62条第1項の課徴金納付命令書

(3) 独占禁止法第7条の4第7項又は第7条の7第3項の課徴金納付命令を命じない旨の通知文書

(談合等の不正行為による損害の賠償)

第3条 乙が、本契約に関し、第1条の各号のいずれかに該当したときは、甲が本契約を解除するか否かにかかわらず、かつ、甲が損害の発生及び損害額を立証することを要することなく、乙は、契約金額（本契約締結後、契約金額の変更があった場合には、変更後の契約金額）の100分の10に相当する金額（その金額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）を違約金として甲の指定する期間内に支払わなければならない。

2 前項の規定は、本契約による履行が完了した後も適用するものとする。

3 第1項に規定する場合において、乙が事業者団体であり、既に解散しているときは、甲は、乙の代表者であった者又は構成員であった者に違約金の支払を請求することができる。この場合において、乙の代表者であった者及び構成員であった者は、連帯して支払わなければならない。

4 第1項の規定は、甲に生じた実際の損害額が同項に規定する違約金の金額を超える場合において、甲がその超える分について乙に対し損害賠償金を請求することを妨げるものではない。

5 乙が、第1項の違約金及び前項の損害賠償金を甲が指定する期間内に支払わないときは、乙は、当該期間を経過した日から支払をする日までの日数に応じ、年3パーセントの割合で計算した金額の遅延利息を甲に支払わなければならない。

【特記事項 2】

(暴力団関与の属性要件に基づく契約解除)

第4条 甲は、乙が次の各号の一に該当すると認められるときは、何らの催告を要せず、本契約を解除することができる。

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）であるとき又は法人等の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき

(下請負契約等に関する契約解除)

第5条 乙は、本契約に関する下請負人等（下請負人（下請が数次にわたるときは、すべての下請負人を含む。）及び再受任者（再委任以降のすべての受任者を含む。）並びに自己、下請負人又は再受任者が当該契約に関連して第三者と何らかの個別契約を締結する場合の当該第三者をいう。以下同じ。）が解除対象者（前条に規定する要件に該当する者をいう。以下同じ。）であることが判明したときは、直ちに当該下請負人等との契約を解除し、又は下請負人等に対し解除対象者との契約を解除させるようにしなければならない。

- 2 甲は、乙が下請負人等が解除対象者であることを知りながら契約し、若しくは下請負人等の契約を承認したとき、又は正当な理由がないのに前項の規定に反して当該下請負人等との契約を解除せず、若しくは下請負人等に対し契約を解除させるための措置を講じないときは、本契約を解除することができる。

(損害賠償)

第6条 甲は、第4条又は前条第2項の規定により本契約を解除した場合は、これにより乙に生じた損害について、何ら賠償ないし補償することは要しない。

- 2 乙は、甲が第4条又は前条第2項の規定により本契約を解除した場合において、甲に損害が生じたときは、その損害を賠償するものとする。
- 3 乙が、本契約に関し、第4条又は前条第2項の規定に該当したときは、甲が本契約を解除するか否かにかかわらず、かつ、甲が損害の発生及び損害額を立証することを要することなく、乙は、契約金額（本契約締結後、契約金額の変更があった場合には、変更後の契約金額）の100分の10に相当する金額（その金額に100円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）を違約金として甲の指定する期間内に支払わなければならない。
- 4 前項の規定は、本契約による履行が完了した後も適用するものとする。

- 5 第2項に規定する場合において、乙が事業者団体であり、既に解散しているときは、甲は、乙の代表者であった者又は構成員であった者に違約金の支払を請求することができる。この場合において、乙の代表者であった者及び構成員であった者は、連帯して支払わなければならない。
- 6 第3項の規定は、甲に生じた実際の損害額が同項に規定する違約金の金額を超える場合において、甲がその超える分について乙に対し損害賠償金を請求することを妨げるものではない。
- 7 乙が、第3項の違約金及び前項の損害賠償金を甲が指定する期間内に支払わないときは、乙は、当該期間を経過した日から支払をする日までの日数に応じ、年3パーセントの割合で計算した金額の遅延利息を甲に支払わなければならない。

(不当介入に関する通報・報告)

第7条 乙は、本契約に関して、自ら又は下請負人等が、暴力団、暴力団員、暴力団関係者等の反社会的勢力から不当要求又は業務妨害等の不当介入(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、これを拒否し、又は下請負人等をして、これを拒否させるとともに、速やかに不当介入の事実を甲に報告するとともに警察への通報及び捜査上必要な協力を行うものとする。

(様式第1)

記 号 番 号
令和 年 月 日

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住 所
名 称
代 表 者 氏 名

印刷物基準実績報告書

契約件名等

契約締結日	契約締結時の記号番号
契約件名	

品名 ()

1. 印刷用紙 (塗工されていないもの及び塗工されているもの)

基 準	実 績	基準を満たせなかった理由
① 次のいずれかの要件を満たすこと。 ア. 塗工されていないものにあつては、古紙パルプ配合率、森林認証材パルプ利用割合、間伐材等パルプ利用割合、その他の持続可能性を目指した原料の調達方針に基づいて使用するパルプ利用割合及び白色度を記載要領4の算定式により総合的に評価した総合評価値が80以上であること。 イ. 塗工されているものにあつては、古紙パルプ配合率、森林認証材パルプ利用割合、間伐材等パルプ利用割合、その他の持続可能性を目指した原料の調達方針に基づいて使用するパルプ利用割合及び塗工量を記載要領4の算定式により総合的に評価した総合評価値が80以上であること。	総合評価値 ()	
② バージンパルプが使用される場合にあつては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。		

③ 製品の総合評価値及びその内訳（指標項目ごとの、指標値又は加算値、及び評価値（記載要領4を参照））がウェブサイト等で容易に確認できること。		
④ 再生利用しにくい加工が施されていないこと。（プラスチックをラミネート又はコーティングされていない等。）		

2. 印刷

基準	実績	基準を満たせなかった理由
① 印刷・情報用紙に係る判断の基準（上記参照）を満たす用紙が使用されていること。（ただし、冊子形状のものについては、表紙を除く。）		
② 表1に示されたB、C及びDランクの紙へのリサイクルにおいて阻害要因となる材料が使用されていないこと。ただし、印刷物の用途・目的から使用する場合は、使用部位、廃棄又はリサイクル方法を印刷物に記載すること。		
③ 印刷物へリサイクル適性を表示すること。		
④ 印刷の各工程において、表2に示された環境配慮のための措置が講じられていること。		
⑤ オフセット印刷 ア. 植物由来の油を含有したインキであって、かつ、芳香族成分が1%未満の溶剤のみを用いるインキが使用されていること。 イ. インキの化学安全性が確認されていること。		
⑥ デジタル印刷 ア. 電子写真方式（乾式トナーに限る。）にあつては、トナーカートリッジの化学安全性に係る判断の基準（環境物品等の調達に関する基本方針5-6カートリッジ等の品目「トナーカートリッジ」参照。）を満たすトナーが使用されていること。 イ. 電子写真方式（湿式トナーに限る。）又はインクジェット方式にあつては、トナー又はインクの化学安全性が確認されていること。		

担当者等連絡先

部署名：
責任者名：
担当者名：
TEL：
E-mail：

<記載要領>

1. 品名欄には「調査報告書」、「パンフレット」、「チラシ」、「ポスター」等印刷物の種類を記載し、別葉に作成のこと。
2. 「パンフレット」、「チラシ」、「ポスター」等については、委託先から当省以外に普及広報等のために作成・配布されたものも対象とすること。
3. 「実績」欄について1. ①は数値（使用されている印刷用紙が複数種類ある場合は全てに対応するページ数を実績欄に〈 〉書で記載のこと。）を、その他については○又は×（実績のない部分については斜線）を記載のこと。

4. 総合評価値、評価値、指標値、加算値は以下の式による。

- ・ 「総合評価値」とは以下に示される Y_1 又は Y_2 の値をいう。
- ・ 「指標項目」とは、古紙パルプ配合率、森林認証材パルプ利用割合、間伐材等パルプ利用割合、その他の持続可能性を目指したパルプ利用割合、白色度及び塗工量をいう。
また、「その他の持続可能性を目指したパルプ利用割合」とは、森林認証材パルプ利用割合及び間伐材等パルプ利用割合に数量計上したものを除く持続可能性を目指した原料の調達方針に基づいて使用するパルプをいう。
- ・ 「指標値」とは、以下に示される x_1, x_2, x_3, x_4 の指標項目ごとの値をいう。
- ・ 「加算値」とは、以下に示される x_5, x_6 の指標項目ごとの値をいう。
- ・ 「評価値」とは、以下の y_1, y_2, y_3, y_4, y_5 について示される式により算出された数値又は定められた数値をいう。

$$Y_1 = (y_1 + y_2 + y_3) + y_4$$

$$Y_2 = (y_1 + y_2 + y_3) + y_5$$

$$y_1 = x_1 - 10 \quad (60 \leq x_1 \leq 100)$$

$$y_2 = x_2 + x_3 \quad (0 \leq x_2 + x_3 \leq 40)$$

$$y_3 = 0.5 \times x_4 \quad (0 \leq x_4 \leq 40)$$

$$y_4 = -x_5 + 75 \quad (60 \leq x_5 \leq 75, x_5 < 60 \rightarrow x_5 = 60, x_5 > 75 \rightarrow x_5 = 75)$$

$$y_5 = -0.5x_6 + 20 \quad (0 < x_6 \leq 10 \rightarrow x_6 = 10, 10 < x_6 \leq 20 \rightarrow x_6 = 20, 20 < x_6 \leq 30 \rightarrow x_6 = 30, x_6 > 30 \rightarrow x_6 = 40)$$

Y_1, Y_2 及び $y_1, y_2, y_3, y_4, y_5, x_1, x_2, x_3, x_4, x_5, x_6$ は次の数値を表す。

Y_1 （塗工されていない印刷用紙に係る総合評価値）： y_1, y_2, y_3, y_4 の合計値を算出し小数点以下を切り捨てた数値

Y_2 （塗工されている印刷用紙に係る総合評価値）： y_1, y_2, y_3, y_5 の合計値を算出し小数点以下を切り捨てた数値

y_1 ：古紙パルプ配合率に係る評価値を算出し小数点第二位を四捨五入した数値

y_2 ：森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計利用割合に係る評価値を算出し小数点第二位を四捨五入した数値

y_3 ：その他の持続可能性を目指したパルプ利用割合に係る評価値を算出し小数点第二位を四捨五入した数値

y_4 ：白色度に係る加算値を算出し小数点第二位を四捨五入した数値（ファンシーペーパー又は抄色紙（色上質紙及び染料を使用した色紙一般を含む。）には適用しない。）

ファンシーペーパー又は抄色紙であって、表1に示されたAランク（紙へのリサイクルにおいて阻害とならないもの）の紙である場合は5、それ以外の紙である場合は0

y_5 ：塗工量に係る加算値を算出し小数点第二位を四捨五入した数値

x_1 ：最低保証の古紙パルプ配合率（%）

x_2 ：森林認証材パルプ利用割合（%）

$$x_2 = (\text{森林認証材パルプ} / \text{バージンパルプ}) \times (100 - x_1)$$

x_3 ：間伐材等パルプ利用割合（%）

$$x_3 = (\text{間伐材等パルプ} / \text{バージンパルプ}) \times (100 - x_1)$$

x_4 ：その他の持続可能性を目指したパルプ利用割合（%）

$$x_4 = (\text{その他の持続可能性を目指したパルプ} / \text{バージンパルプ}) \times (100 - x_1)$$

x_5 ：白色度（%）

白色度は生産時の製品ロットごとの管理標準値とし、管理標準値±3%の範囲内については許容する。ただし、ロットごとの色合わせの調整以外に着色された場合（意図的に白色度を下げる場合）は加算対象とならない。

x_6 : 塗工量 (g/m²)

塗工量 (両面への塗布量) は、生産時の製品ロットごとの管理標準値とする。

5. 使用している用紙が複数種類混在している場合については、ページ数の大部分が「基準」を満たす用紙を使用している場合には「基準」を満たしたこととする。
6. 「基準を満たせなかった理由」欄については、該当する場合に各欄に記載のこと。
7. 印刷物作製の発注に当たっては、表3の資材確認票に基づき、使用される資材等について確認を行い、リサイクル対応型印刷物の作製に努め、表3の資材確認票(写しでも可)を納入物とともに提出すること。
8. オフセット印刷の場合は、表4のオフセット印刷の工程における環境配慮チェックリスト(写しでも可)を納入物とともに提出すること。

※1. ①の「持続可能性を目指した原料の調達方針に基づいて使用するパルプ」とは、次のいずれかをいう。
ア. 森林の有する多面的機能を維持し、森林を劣化させず、森林面積を減少させないようにするなど森林資源を循環的・持続的に利用する観点から経営され、かつ、生物多様性の保全等の環境的優位性、労働者の健康や安全への配慮等の社会的優位性の確保について配慮された森林から産出された木材に限って調達するとの方針に基づいて使用するパルプ
イ. 資源の有効活用となる再・未利用木材(廃木材、建設発生木材、低位利用木材(林地残材、かん木、木の根、病虫獣害・災害などを受けた丸太から得られる木材、曲がり材、小径材などの木材)及び廃植物繊維)を調達するとの方針に基づいて使用するパルプ
また、「間伐材等」とは、間伐材又は竹をいう。

※1. ②の、紙の原料となる原木についての合法性及び持続可能な森林経営が営まれている森林からの産出に係る確認を行う場合には、木材関連事業者にとっては、「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(平成28年法律第48号。以下「クリーンウッド法」という。)」に則するとともに、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日)」に準拠して行うものとする。また、木材関連事業者以外にとっては、同ガイドラインに準拠して行うものとする。

※2. ②及び③の印刷物リサイクル適性の表示等については、古紙再生促進センター作成、日本印刷産業連合会運用の「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」を参考とすること。
なお、表示を印刷する箇所については甲と協議の上、決定すること。

※2. ③の「リサイクル適性の表示」は、次の表現とすること。

なお、表示方法については、「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」の見直しが行われた場合は、それを踏まえること。

ア. 「Aランクの材料のみ使用する場合」又は「A又はBランクの材料のみ使用する場合」は「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」に掲載の識別表示を参照

(http://www.jfpi.or.jp/recycle/print_recycle/data.html)

イ. C又はDランクの材料を使用する場合は「この印刷物は、〇〇にリサイクルに適さない資材を使用しています」(下線部は、「表紙」、「付録」、「とじこみ」等、該当箇所を簡潔に示す表現とする。)

※2. ⑤の「植物由来の油を含有したインキ」とは、植物由来の油含有量の比率が、インキの種類ごとに下表のとおり定める要件を満たすものをいう。

インキの種類	植物由来の油含有量比率
新聞オフ輪インキ	30%以上
ノンヒートオフ輪インキ	30%以上
枚葉インキ (ただし、金、銀、パール、白インキ)	20%以上 (10%以上)
ビジネスフォームインキ	20%以上
ヒートセットオフ輪インキ	7%以上
各種UVインキ	7%以上

また、「芳香族成分」とは、日本工業規格K2536に規定されている石油製品の成分試験法をインキ溶剤に準用して検出される芳香族炭化水素化合物をいう。

表1 古紙リサイクル適性ランクリスト

	【Aランク】	【Bランク】	【Cランク】	【Dランク】
	紙、板紙へのリサイクルにおいて阻害にならない	紙へのリサイクルには阻害となるが、板紙へのリサイクルには阻害と ならない	紙、板紙へのリサイクル において阻害になる	微量の混入でも除去 することができない ため、紙、板紙へのリ サイクルが不可能に なる
① 紙	【普通紙】 アート紙／コート紙／ 上質紙／中質紙／更紙	—	—	—
	【加工紙】 抄色紙(A)*／ファン シーペーパー(A)*／ 樹脂含浸紙（水溶性の もの）	【加工紙】 抄色紙(B)*／ファンシ ーペーパー(B)*／ポリ エチレン等樹脂コーテ ィング紙／ポリエチレ ン等樹脂ラミネート紙 ／グラシンペーパー／ インディアペーパー	【加工紙】 抄色紙(C)*／ファンシ ーペーパー(C)*／樹脂 含浸紙（水溶性のもの を除く）／硫酸紙／ター ポリン紙／ロウ紙／セロ ハン／合成紙／カーボ ン紙／ノーカーボン紙 ／感熱紙／圧着紙	【加工紙】 捺染紙、昇華転写紙／ 感熱性発泡紙／芳香 紙
② イン キ類	【通常インキ】 凸版インキ／平版インキ （オフセットインキ）／ 溶剤型グラビアインキ／ 溶剤型フレキソインキ／ スクリーンインキ	【通常インキ】 水性グラビアインキ／ 水性フレキソインキ	—	—
	【特殊インキ】 リサイクル対応型UVイ ンキ☆／オフセット用 金・銀インキ／パール インキ／OCRインキ（油 性）	【特殊インキ】 UVインキ／グラビア 用金・銀インキ／OCR UVインキ／EBイン キ／蛍光インキ	【特殊インキ】 感熱インキ／減感イン キ／磁性インキ	【特殊インキ】 昇華性インキ／発泡 インキ／芳香インキ
	【特殊加工】 OPニス	—	—	—
	【デジタル印刷インキ 類】 リサイクル対応型ドライ トナー☆	【デジタル印刷インキ 類】 ドライトナー		
③ 加工 資材	【製本加工】 製本用針金／ホチキス等 ／難細裂化EVA系ホッ トメルト☆／PUR系ホ ットメルト☆／水溶性の り	【製本加工】 製本用糸／EVA系ホ ットメルト	【製本加工】 クロス貼り（布クロス、 紙クロス）	—
	【表面加工】 光沢コート（ニス引き、プ レスコート）	【表面加工】 光沢ラミネート（PP貼 り）／UVコート、UV ラミコート／箔押し	—	—
	【その他加工】 リサイクル対応型シール （全離解可能粘着紙）☆	【その他加工】 シール（リサイクル対応 型を除く）	【その他加工】 立体印刷物（レンチキュ ラーレンズ使用）	—
④ その 他	—	【異物】 粘着テープ（リサイクル 対応型）	【異物】 石／ガラス／金物（製本 用ホチキス、針金等除 く）／土砂／木片／プラ スチック類／布類／建 材（石こうボード等）／ 不織布／粘着テープ（リ サイクル対応型を除く）	【異物】 芳香付録品（芳香剤、 香水、口紅等）

注1：☆印の資材（難細裂化EVA系ホットメルト、PUR系ホットメルト、リサイクル対応型UVインキ、リサイクル対応型シール、リサイクル対応型ドライトナー）は、日本印刷産業連合会の「リサイクル対応型印刷資材データベース」に掲載されていることを確認すること。

(http://www.jfpi.or.jp/recycle/print_recycle_material/)

注2：* 印の資材（抄色紙、ファンシーペーパー）は、環境省の「グリーン購入法.net」に掲載されている各製品のリサイクル適性を確認すること。

(http://www.jfpi.or.jp/recycle/print_recycle/data.html)

表2 オフセット印刷又はデジタル印刷に関連する印刷の各工程における環境配慮項目及び基準

工程	項目	基準	
製版	デジタル化	工程のデジタル化（DTP化）率が50%以上であること。	
	廃液及び製版フィルムからの銀回収	製版フィルムを使用する工程において、廃液及び製版フィルムから銀の回収を行っていること。	
刷版	印刷版の再使用又はリサイクル	印刷版（アルミ基材のもの）の再使用又はリサイクルを行っていること。	
印刷	オフセット	VOCの発生抑制	廃ウェス容器や洗浄剤容器に蓋をする等のVOCの発生抑制策を講じていること。 輪転印刷工程の熱風乾燥印刷の場合にあっては、VOC処理装置を設置し、適切に運転管理していること。
		製紙原料へのリサイクル	損紙等（印刷工程から発生する損紙、残紙）の製紙原料へのリサイクル率が80%以上であること。
	デジタル	印刷機の環境負荷低減	省電力機能の活用、未使用時の電源切断など、省エネルギー活動を行っていること。
		製紙原料等へのリサイクル	損紙等（印刷工程から発生する損紙、残紙）の製紙原料等へのリサイクル率が80%以上であること。
表面加工	VOCの発生抑制	アルコール類を濃度30%未満で使用していること。	
	製紙原料等へのリサイクル	損紙等（光沢加工工程から発生する損紙、残紙、残フィルム）の製紙原料等へのリサイクル率が80%以上であること。	
製本加工	騒音・振動抑制	窓、ドアの開放を禁止する等の騒音・振動の抑制策を講じていること。	
	製紙原料へのリサイクル	損紙等（製本工程から発生する損紙）の製紙原料へのリサイクル率が70%以上であること。	

注1：本基準は、印刷役務の元請、下請を問わず、印刷役務の主たる工程を行う者に適用するものとし、オフセット印刷又はデジタル印刷に関連する印刷役務の一部の工程を行う者には適用しない。

注2：製版工程においては、「デジタル化」又は「廃液及び製版フィルムからの銀回収」のいずれかを満たせばよいこととする。

注3：製版工程の「銀の回収」とは、銀回収システムを導入している又は銀回収システムを有するリサイクル事業者、廃棄物回収業者に引き渡すことをいう。

なお、廃液及び製版フィルムからの銀の回収は、技術的に不可能な場合を除き、実施しなければならない。

注4：刷版工程の印刷版の再使用又はリサイクル（印刷版に再生するものであって、その品質が低下しないリサイクルを含む）は、技術的に不可能な場合を除き、実施しなければならない。

注5：オフセット印刷工程における「VOCの発生抑制」、デジタル印刷工程における「印刷機の環境負荷低減」及び製本加工工程における「騒音・振動抑制」については、当該対策を実施するための手順書等を作成・運用している場合に適合しているものとみなす。

注6：デジタル印刷工程、表面加工工程の「製紙原料等へのリサイクル」には、製紙原料へのリサイクル以外のリサイクル（RPFへの加工やエネルギー回収等）を含む。

表3 資材確認票（記入例）

御中		作成年月日： 年 月 日				
件名： _____						
資材確認票						
〇〇印刷株式会社						
印刷資材（注1）		使用有無	リサイクル適性ランク	資材の種類	製造元・銘柄名	備考
用紙	本文	○	A	上質紙	〇〇製紙／〇〇	
	表紙	○	A	コート紙	〇〇製紙／〇〇	
	見返し	○	A	上質紙	〇〇製紙／〇〇	
	カバー	—	—			
インキ類		○	A	平版インキ	〇〇インキ／〇〇	
加工	製本加工	○	A	PUR系ホットメルト	〇〇化学／〇〇	
	表面加工	○	A	OPニス	〇〇化学／〇〇	
	その他加工	—	—			
その他						

使用資材	リサイクル適性	判別（注2）
Aランクの資材のみ使用	印刷用の紙にリサイクルできます	○
A又はBランクの資材のみ使用	板紙にリサイクルできます	
C又はDランクの資材を使用	リサイクルに適さない資材を使用しています	

注1：資材確認票に記入する印刷資材は、『印刷物資材「古紙リサイクル適性ランクリスト」規格』に掲載の「古紙リサイクル適性ランクリスト」を参照すること。

http://www.jfpi.or.jp/recycle/print_recycle/data.html

注2：上記の記入例は、「リサイクル適性ランク」が全て「A」のため、この場合は「Aランクの資材のみ使用」に「○」を付すこと。このうち、Bランクの資材が一部でも使用されている場合は、「A又はBランクの資材のみ使用」に「○」を付すこと。ただし、C又はDランクの材料が一部でも使用されている場合は「C又はDランクの資材を使用」に「○」を付すこと。

注3：納入物とともに提出すること。

表4 オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト様式（例）

御中		作成年月日： 年 月 日	
オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト			
〇〇印刷株式会社			
工程	実 現	基 準（要求内容）	
製版	はい/いいえ	①次のA又はBのいずれかを満たしている。 A 工程のデジタル化（DTP化）率が50%以上である。 B 製版フィルムを使用する工程において、廃液及び製版フィルムから銀の回収を行っている。	
刷版	はい/いいえ	②印刷版（アルミ基材のもの）の再使用又はリサイクルを行っている。	
印 刷	オ フ セ ッ ト	はい/いいえ	③廃ウェス容器や洗浄剤容器に蓋をする等のVOCの発生抑制策を講じている。
		はい/いいえ	④輪転印刷工程の熱風乾燥印刷の場合にあっては、VOC処理装置を設置し、適切に運転管理している。
		はい/いいえ	⑤損紙等（印刷工程から発生する損紙、残紙）の製紙原料へのリサイクル率が80%以上である。
	デ ジ タ ル	はい/いいえ	⑥省電力機能の活用、未使用時の電源切断など、省エネルギー活動を行っている。
		はい/いいえ	⑦損紙等（印刷工程から発生する損紙、残紙）の製紙原料等へのリサイクル率が80%以上である。
表 面 加 工	はい/いいえ	⑧アルコール類を濃度30%未満で使用している。	
	はい/いいえ	⑨損紙等（光沢加工工程から発生する損紙、残紙、残フィルム）の製紙原料等へのリサイクル率が80%以上である。	
製 本 加 工	はい/いいえ	⑩窓、ドアの開放を禁止する等の騒音・振動の抑制策を講じている。	
	はい/いいえ	⑪損紙等（製本工程から発生する損紙）の製紙原料へのリサイクル率が70%以上である。	

注1：内容に関する問合せに当たって必要となる項目や押印等の要否については、様式の変更等を行うことができる。

注2：納入物とともに提出すること。

(様式第2)

記 号 番 号
令和 年 月 日

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住 所
名 称
代 表 者 氏 名

計画変更承認申請書

契約書第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 契約件名

契約締結日		契約締結時の記号番号	
契約件名			

2. 委託金額（委託金額の変更を伴う場合は、新旧対比で記載すること。）

委託金額	
------	--

3. 業務の進捗状況（業務内容ごとに、簡潔に記載すること。）

業務の進捗状況	
---------	--

4. 計画変更の内容・理由及び計画変更が業務に及ぼす影響（詳細に記載すること。また、支出計画の変更を申請する場合は、別葉にて新旧対比で作成すること。）

計画変更の内容・理由	
計画変更が業務に及ぼす影響	

5. 再委託内容（複数ある場合は再委託先ごとに記載することとし、再委託先の変更の場合は新旧対比すること。）

再委託先の氏名又は名称及び住所	
再委託先が業務を終了すべき時期	
再委託する（又は再委託先を変更する）理由	

6. 履行体制図（契約書別紙2に準じ、作成すること。）

変更前	変更後

※必要に応じ、別葉を作成すること。

担当者等連絡先

部署名：

責任者名：

担当者名：

T E L：

E-mail：

（この申請書の提出時期：計画変更を行う前。）

(様式第3)

記 号 番 号
令和 年 月 日

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住 所
名 称
代 表 者 氏 名

再委託に係る承認申請書

契約書第7条第2項の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 契約件名等

契約締結日		契約締結時の記号番号	
契約件名			

2. 再委託内容（複数ある場合は再委託先ごとに記載することとし、再委託先の変更の場合は新旧対比すること。）

再委託先の氏名又は名称及び住所	
再委託先が業務を終了すべき時期	
再委託する（又は再委託先を変更する）理由	
再委託先の選定方法	

3. 履行体制図（契約書別紙2に準じ、作成すること。）

変更前	変更後

4. 誓約事項

再委託する場合には、契約書第7条第3項の規定に基づき、当該再委託に係る再委託先の行為について、甲に対し全ての責任を負うとともに、同条第4項の規定に基づき、本契約を遵守するために必要な事項について再委託先と書面で約定します。また、甲から当該書面の写しの提出を求められたときは、遅滞なく、これを甲に提出します。

※必要に応じ、別葉を作成すること。

担当者等連絡先

部署名：

責任者名：

担当者名：

T E L：

E-mail：

(この申請書の提出時期：再委託を行う前。)

(様式第4)

記 号 番 号
令和 年 月 日

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住 所
名 称
代 表 者 氏 名

履行体制図変更届出書

契約書第8条第2項の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1. 契約件名等

契約締結日		契約締結時の記号番号	
契約件名			

2. 履行体制図（契約書別紙2に準じ、作成すること。）

変更前	変更後

※必要に応じ、別葉を作成すること。

担当者等連絡先 部署名： 責任者名： 担当者名： TEL： E-mail：
--

(この届出書の提出時期：履行体制変更の意思決定後、速やかに。)

(様式第5)

記 号 番 号
令和 年 月 日

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住 所
名 称
代 表 者 氏 名

委託業務完了報告書

契約書第12条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 契約件名等

契約締結日		契約締結時の記号番号	
契約件名			

2. 委託金額

委託金額	
------	--

3. 委託業務完了期限

委託業務完了期限	
----------	--

4. 委託業務完了年月日

委託業務完了年月日	
-----------	--

担当者等連絡先

部署名：
責任者名：
担当者名：
TEL：
E-mail：

(この報告書の提出時期：委託業務が完了した後、直ちに。)

(様式第6)

記 号 番 号
令和 年 月 日

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住 所
名 称
代 表 者 氏 名

実績報告書

契約書第14条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 契約件名等

契約締結日		契約締結時の記号番号	
契約件名			

2. 委託金額

委託金額	
------	--

3. 実施した委託業務の概要

委託業務の概要	
---------	--

4. 委託業務実施期間中の進捗管理状況

日程	対応者	連絡事項

※記載方法は、記載要領（注1）を参照のこと

5. 委託業務に要した経費

(1) 総括表

(単位：円)

区分	委託金額	流用額	消費税等 組入額	流用等後額	支出実績額	受けるべき 委託金の額
合計						

※記載方法は、記載要領（注2）を参照のこと

(2) 支出内訳表

(単位：円)

区分	委託金額	流用額	消費税等 組入額	流用等後額	支出実績額	受けるべき 委託金の額
合計						

※記載方法は、記載要領（注2）を参照のこと

担当者等連絡先 部署名： 責任者名： 担当者名： TEL： E-mail：
--

(この報告書の提出時期：約定期限まで。)

< 記載要領 >

(注1) : 「4. 委託業務実施期間中の進捗管理状況」は、以下の記入例のように記載する。

日程	対応者	連絡事項
○年○月○日	・原子力規制庁○○部○○課○○課長補佐 ・○○株式会社○○部長	・○○○○○事業の中間報告 ・今後のスケジュール
○年×月×日	・原子力規制庁××部××課××係長 ・××株式会社××課長	・×××××調査に係る出張報告 ・今後のスケジュール

(注2) : 「5. 委託業務に要した経費」は、以下のとおり記載する。

- ・区分 : 支出計画中の区分経費の名称を記載する。(区分経費とは、人件費、事業費、再委託費、一般管理費の単位をいう。)
- ・委託金額 : 区分経費ごとに、支出計画における委託金額(計画変更の承認を行った場合は当該変更後の額)を記載する。(支出内訳表には支出計画の区分経費の内訳ごとに記載する。)
- ・流用額 : 支出計画の区分経費の10パーセント以内の流用を行う場合は、区分経費ごとにその額を記載する。(人件費及び一般管理費への流用増額は不可。また、区分経費毎に10パーセント以内の増減であること。)
- ・消費税等組入額 : 区分経費ごとに、消費税及び地方消費税相当額を記載する。(円未満の端数処理は、原則、端数の大きい順に切り上げて、合計額が一致するようにする。)
- ・流用等後額 : 委託金額、流用額及び消費税等組入額の合計を区分経費ごとに記載する。
- ・支出実績額 : 委託業務に要した経費を区分経費ごとに記載する。
なお、一般管理費の額は、支出計画において一般管理費の算出基礎とした経費に対応する支出実績額の合計額に、支出計画における一般管理費の実質率(計画変更の承認を行った場合は当該変更後の実質率)を乗じて得た額とする。(円未満の端数は切り捨て。)
- ・受けるべき委託金の額 : 区分経費ごとに、流用後額と支出実績額のいずれか少ない額を記載する。

(1) 総括表(記入例)

(単位:円)

区分経費	委託金額	流用額	消費税等組入額	流用等後額	支出実績額	受けるべき委託金の額
1. 人件費	5,000,000	-500,000	450,000	4,950,000	4,832,010	4,832,010
2. 事業費	9,000,000	500,000	950,000	10,450,000	10,475,750	10,450,000
3. 再委託費	1,000,000		100,000	1,100,000	1,000,000	1,000,000
4. 一般管理費	1,400,000		140,000	1,540,000	1,530,776	1,528,201
小計	16,400,000		1,640,000	18,040,000	17,838,536	17,810,211
消費税相当額	1,640,000		-1,640,000			
合計	18,040,000		0	18,040,000	17,838,536	17,810,211

(2) 支出内訳表 (記入例)

(単位:円)

区分経費	委託金額	流用額	消費税等 組入額	流用等後額	支出実績額	受けるべき委 託金の額
I. 人件費	5,000,000	-500,000	450,000	4,950,000	4,832,010	4,832,010
〇〇研究員	2,500,000	-250,000			2,374,624	
△△研究員	2,500,000	-250,000			2,457,386	
II. 事業費	9,000,000	500,000	950,000	10,450,000	10,475,750	10,450,000
1. 設備備品費	2,000,000	2,500,000	450,000	4,950,000	4,994,100	
2. 消耗品費	1,000,000	-500,000	50,000	550,000	863,387	
3. 謝金	1,000,000	-500,000	50,000	550,000	415,000	
4. 旅費	1,000,000	-500,000	50,000	550,000	839,246	
5. 外注費	2,000,000	0	200,000	2,200,000	2,180,700	
6. 印刷製本費	1,000,000	-500,000	50,000	550,000	330,000	
7. 会議費	500,000	0	50,000	550,000	450,000	
8. 通信運搬費	200,000	0	20,000	220,000	189,728	
9. 光熱水料	200,000	0	20,000	220,000	141,589	
10. その他	100,000	0	10,000	110,000	72,000	
3. 再委託費	1,000,000		100,000	1,100,000	1,000,000	1,000,000
4. 一般管理費	1,400,000		100,000	1,550,000	1,530,776	1,528,201
小計	16,400,000		1,400,000	18,050,000	17,838,536	17,810,211
消費税相当額	1,640,000		-1,400,000			
合計	18,040,000		0	18,050,000	17,838,536	17,810,211

※「支出実績額」に消費税及び地方消費税相当額が含まれていない場合(人件費、謝金及び海外旅費等)は、支出実績額に消費税及び地方消費税相当額を加算した額を記載(免税事業者を除く)

【参 考】

＜支出実績額における一般管理費＞

支出計画における一般管理費額が、一般管理費算出基礎経費×基準一般管理費率の円未満切り捨てとなっている場合は、支出実績額における一般管理費の算出方法においても、一般管理費算出基礎経費×基準一般管理費率の円未満切り捨てとしてよいものとする。

※支出実績額の一般管理費の計算例(総括表記入例の金額より)

支出計画における一般管理費算出基礎経費は、人件費+事業費の14,000,000円・・・A

支出計画における一般管理費は、1,400,000円・・・B

基準一般管理費率は、10.00%・・・C

支出計画における一般管理費の実質率は、10,000,000分の1,000,000・・・D

支出計画における一般管理費算出基礎経費に対応する支出実績合計額は、

$$4,832,010 + 10,475,750 = 15,307,760 \text{円} \dots E$$

①基本の計算方法： $E \times D = 15,307,760 \times 1,000,000 \div 10,000,000 = 1,530,776 \text{円}$ (円未満切り捨て)

②上記参考に記載の計算方法

支出計画において、 $A \times C = B$ (円未満切り捨て)となっているため、 $E \times C = 15,307,760 \times 10.00\% = 1,530,776 \text{円}$ (円未満切り捨て)とする計算方法も可

(様式第7)

記 号 番 号
令和 年 月 日

官署支出官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住 所
名 称
代 表 者 氏 名

精算払請求書

契約書第16条第1項の規定に基づき、精算払を下記のとおり請求します。

記

1. 契約件名等

契約締結日		契約締結時の記号番号	
契約件名			

2. 請求金額 (単位は円とし、算用数字を用いること。)

請求金額	
------	--

3. 振込先金融機関名等

振込先金融機関名	
支店名	
預金の種別	
口座番号	
口座の名義人	

担当者等連絡先

部署名：
責任者名：
担当者名：
TEL：
E-mail：

(この請求書の提出時期：契約書第15条の通知を受けた後。)

(様式第8)

記 号 番 号
令和 年 月 日

官署支出官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住 所
名 称
代 表 者 氏 名

概算払請求書

契約書第16条第2項の規定に基づき、概算払を下記のとおり請求します。

記

1. 契約件名等

契約締結日		契約締結時の記号番号	
契約件名			

2. 請求金額 (単位は円とし、算用数字を用いること。)

請求金額	
------	--

3. 概算払を必要とする理由

概算払を必要とする理由	
-------------	--

4. 振込先金融機関名等

振込先金融機関名	
支店名	
預金の種別	
口座番号	
口座の名義人	

※この請求書には、別紙「概算払請求内訳書」を添付すること。

担当者等連絡先 部署名： 責任者名： 担当者名： TEL： E-mail：
--

(この請求書の提出時期：概算払財務大臣協議が整い、概算払を受けることを希望するとき。)

(別 紙)

概算払請求内訳書

(単位：円)

区分	委託金額 (a)	流用額 (b)	消費税等 組入額 (c)	流用等 後額 (d) = (a)+(b)+(c)	支出 実績額 (e)	支出 見込額 (f)	合計額 (g) = (e)+(f)	既受 領額 (h)	請求額 (i)	残額 (j) = (d)-(h)-(i)
合計										

< 概算払請求内訳書の記載要領 >

- ・区分、委託金額、流用額、消費税等組入額、流用等後額については、「実績報告書」の記載要領に同じ。
- ・支出実績額は、概算払請求書を提出する時点での前月分までの実績額を記載。
- ・支出見込額は、支出実績額に記載した月の翌月から事業終了までの見込額を記載。
- ・請求額は、原則、〔支出実績額－既受領額〕 ≤ 〔請求額〕 であること。

必要により支出見込額を含めて概算払を請求しようとするときは、原子力規制庁担当者と相談の上、最小限度の請求金額とすること。この場合、概算払を必要とする見込額分については、金額とその理由が分かるように表示すること。(例：支出見込額欄に上段括弧書きで金額を表示、欄外にその理由を表示など。)

(注) 概算払請求に当たっては、財務大臣協議が整っていること、また、その協議内容に沿った請求時期及び金額以内であること。

< 記載例 > (単位：円)

	委託金額 (a)	流用額(b)	消費税等 組入額 (c)	流用等 後額 (d) = (a)+(b)+(c)	支出 実績額 (e)	支出 見込額 (f)	合計額(g) = (e)+(f)	既受領額 (h)	請求額(i)	残額 (j) = (d)-(h)-(i)
1. 人件費	5,000,000	△500,000	450,000	4,950,000	0	5,500,000	5,500,000	0	5,500,000	0
2. 事業費	9,000,000	500,000	950,000	10,450,000	0	3,311,000	3,311,000	0	3,311,000	0
3. 再委託費	1,000,000	0	100,000	1,100,000	0	550,000	550,000	0	550,000	0
4. 一般管理費	1,400,000	0	150,100	1,550,000	0	881,100	881,100	0	881,100	-0
5. 消費税相当額	1,650,000		△1,650,100	-	-	-	-	-	-	-
合計	18,150,000	0	0	18,150,000	0	10,242,100	10,242,100	0	10,242,100	0

(様式第9)

記 号 番 号
令和 年 月 日

支出負担行為担当官

原子力規制委員会原子力規制庁長官官房参事官 殿

住 所
名 称
代 表 者 氏 名

取得財産報告書

契約書第22条第1項の規定に基づき、取得財産を下記のとおり報告します。

記

1. 契約件名等

契約締結日		契約締結時の記号番号	
契約件名			

2. 取得財産の内訳

取得年月日	財産種別	財産名	規格等	数量	取得単価 (円：税込)	取得価格 (円：税込)	保管場所	備考

担当者等連絡先

部署名：
責任者名：
担当者名：
TEL：
E-mail：

(この報告書の提出時期：委託業務完了報告書の提出時。また、甲から別に指示があったとき。)

<記載要領>

1. この様式の対象となる取得財産は、取得価格の単価が消費税及び地方消費税込みで20万円以上の財産（附帯費用（運搬費、基礎工事費、試運転費等）は除く。）とする。ただし、複数の機器等から構成される取得財産は、取得価格の総額が消費税及び地方消費税込みで20万円以上とする。
2. 取得年月日は、受託者が取得財産の検収を行った年月日を記載すること。
3. 財産種別は、次のような種別を記載。
 - ・有体財産・・・機械・装置、工具・器具、機材（器材）、書籍・図書、など。
 - ・無体財産・・・ライセンス財産（ソフトウェア等）、ノウハウ財産、産業財産権、など。
4. 規格等は、型式などその財産のスペック等の参考になるものを記載すること。
5. 数量は、同一規格等であれば、一括して記載して差し支えない。単価が異なる場合は、分割して記載すること。なお、単位も記載すること。（例：1個、1台、一式、など。）

注：一式として記載した場合は、内訳が分かる資料（見積書の内訳書など。）を取得財産報告書に添付して提出すること。

6. 単価及び金額は、附帯費用（運搬費、基礎工事費、試運転費等）を除く金額を記載すること。
7. 保管場所は、住所及び保管場所を記載すること。
8. 備考は、財産の状態など特記すべき事項があれば記載すること。

特記すべき事項の例

- ・ライセンス財産（使用許諾権の移転の可否及び使用許諾期間の終了時期 等）
- ・〇〇部分は、事業実施過程において消耗してしまったため、継続使用には交換の必要がある。

<記載例>

取得年月日	財産種別	財産名	規格等	数量	取得単価 (円:税込)	取得価格 (円:税込)	保管場所	備考
令和元年 10月1日	機械・ 装置	〇〇〇器	GP-1XXX	1台	540,000	540,000	東京都〇〇区 〇〇x-x-x 〇〇検査所内 倉庫	〇〇部分は、事業実施過程において消耗してしまったため、継続使用には交換の必要がある。
令和元年 10月1日	ソフト ウェア	□□□□	AZ-9XXX	1 ライセンス	216,000	216,000	東京都〇〇区 〇〇x-x-x 〇〇検査所内 倉庫	使用許諾期間の終了時期：令和2年9月30日

実施計画書（仕様書）

【参考例1】

1. 事業内容

※入札公告時の仕様書の内容を記載。

2. 支出計画

別添支出計画書のとおり。

※支出計画書は、落札決定後に落札者から提出された支出計画を基に作成し、実施計画書の別添として添付する。

3. その他

詳細は提案書による。

※一般競争入札（総合評価落札方式）を行った場合のみ。実施計画書の一部として、落札者の提案書を添付する。

【参考例2】

1. 事業内容

2. 実施体制及び事業スケジュール

※1及び2については、一般競争入札（総合評価落札方式）を行った場合は、入札公告時の仕様書の内容に落札者の提案内容を加えて作成する。

3. 納入物（または成果物）

※納入させるものを記載（契約書の成果物と一致させておく）。

例：調査報告書〇〇部及び電子媒体（CD-ROM等）〇式

4. 事業実施期間

委託契約締結日から令和〇年〇月〇日まで

5. 支出計画

別添支出計画書のとおり。

※支出計画書は、落札決定後に落札者から提出された支出計画を基に作成し、実施計画書の別添として添付する。

支出計画書

【参考例】

区分	内訳	金額	積算内訳
1. 人件費	主席研究員 主任研究員 研究員	000,000,000 z, zzz, zzz z, zzz, zzz z, zzz, zzz	@ xx, xxx * yy時間 = z, zzz, zzz @ xx, xxx * yy時間 = z, zzz, zzz @ xx, xxx * yy時間 = z, zzz, zzz
2. 事業費	委員会費 委員謝金 委員交通費 会場借料	000,000 zzz, zzz fff, fff ccc, ccc	@ xx, xxx * yy人 = zzz, zzz 工程：〇〇～〇〇 @ a, aaa * bb時間 *100/110 = ccc, ccc (注1：消費税及び地方消費税は別掲のため、単価に含まれている場合、除外のうえ、計上のこと。)
3. 再委託費	〇〇〇業務	000,000,000 xxx, xxx, xxx	株式会社××× xxx, xxx, xxx
4. 一般管理費		00,000,000	(1. 人件費+2. 事業費)×一般管理費率 (注2：一般管理費率は10%又は委託事業者の損益計算書等から算出した一般管理費率のどちらか低い方。小数点以下切り捨て)
5. 小計		000,000,000	(注3：落札金額と一致)
6. 消費税及び地方消費税		000,000,000	5. 小計(※)×10% (注4：小数点以下切り捨て)
7. 合計		000,000,000	

※消費税及び地方消費税にかかる免税事業者にあつては、課税売上げにかかる消費税及び地方消費税については、計上することは出来ない。

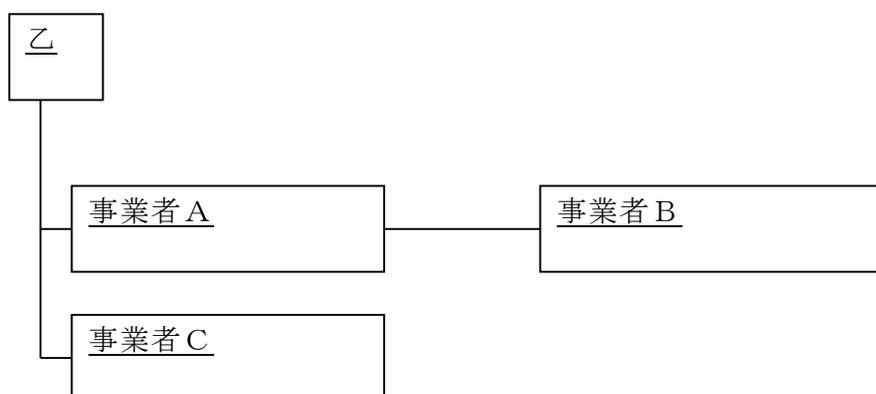
【履行体制図に記載すべき事項】

- ・各事業参加者の事業者名及び住所
- ・契約金額（乙が再委託する事業者のみ記載のこと。）
- ・各事業参加者の行う業務の範囲
- ・業務の分担関係を示すもの

ただし、契約書第7条第1項第4号（バイドール契約及びコンテンツ契約の場合は、第6条第1項第4号。）に規定する軽微な再委託先に係る再委託先については記入の必要はない。

【履行体制図の記載例】

事業者名	住所	契約金額 (税込)	業務の範囲
A	東京都〇〇区・・・・・・・・	XXX, XXX, XXX 円	
B	東京都〇〇区・・・・・・・・	円	
C	東京都〇〇区・・・・・・・・	XXX, XXX, XXX 円	



特定の再委託先^(※)を決定するに当たっての条件

【条件の記載例】

- (1) 再委託の必要性及び妥当性の観点から次の条件に該当すること。
委託業務を行う事業者自身が再委託する業務を行う能力を有していないこと、又は再委託を行うことにより委託事業において効率化が図られると見込まれること。
- (2) 事業者の事業執行能力の観点から次のいずれにも該当すること。
- ① 再委託を受ける事業者が当該再委託契約を履行する能力を有し、委託事業の確実な履行が確保されること。
 - ② 再委託を受ける事業者が債務超過又はそれに類する状態にないこと。
なお、「債務超過に類する状態」とは、例えば、自己資本比率が著しく低い状態を指す。
 - ③ 再委託を受ける事業者が、原子力規制委員会からの補助金交付等停止措置又は指名停止措置が講じられている者ではないこと。

【再委託を行わない場合の記載例】

- ・条件による再委託先決定は行わない。

※「特定の再委託先」とは、別紙2の履行体制図において「未定」となっている再委託先をいう。

軽微な再委託

軽微な再委託とは以下のいずれかのものをいう。ただし、甲の機密情報を取り扱うものを除く。

1. 金100万円（消費税含む）未満の再委託
2. 委託事業の実施に伴い付随的に生じる印刷費、会場借料（会場提供者からの付帯設備を含む。）、翻訳費その他これに類するもの